夕刊 滿洲日報 七月十四日

北方聯合政府は八月初めに成立 主席は結局閻錫山氏

【北平十三日發電通】北方政府基礎母體たる中央黨部の成立に依り南京遷都以來沈み切つた北平に一道の光明を與へ恰もカンフル注射の効果あらんとしてゐる、但し擴大正式會議は汪精衞氏の來平を第一條件とするのでそれ迄談話會を開いて諸般の基礎準備を重ぬべく華やかな各派聯合政府の成立は八月初めの豫定である、而して政府主席は結局閻氏に收まり汪精衞氏は黨務、軍事は馮氏に分擔さるゝものと見らる

政府樹立案協議 けふから三日に亘り

【北平十三日發電通】擴大會議開會式終了後出席各委員連名で汪精衞、閻錫山、馮玉祥、張學良その他各地缺席委員に會議成立を告げ速かに來平して正式會議に參加せんことを乞ふ旨打電した、同時に全線各將士に對しても深甚なる慰勞の電報を發した、尚明日より三日間談話會を開き政府基礎問題を討議する筈で本日より十五日迄を記念日とし各戸に青天白日旗を揭揚せしむることゝなつた

兩軍戰ひ疲れて戰局は發展せず 西北軍追擊力無し

【天津特電十四日發】西北軍は隴海線の防禦に成功したが彈藥の缺乏に加ふるに周口、太康方面の南軍に牽制され、蔣介石氏を追擊する力なく鄭大章氏の騎兵隊をして僅に活躍せしむる外土匪の土匪軍を懷柔して南軍の後方を攪亂せしめてゐる、蔣介石氏は隴海線の正面に對く現狀を維持し武漢方面から輸送した夏斗寅、金漢鼎、毛炳文等の各軍の主力を以て陳調元、馬鴻逵軍を援け津浦線から來た山西軍を一擧に殲滅する作戰を立てたもの如く頻りに準備を急いでゐる、山西軍は一部を驅復渠軍の爲め膠濟線へ向けてゐるので傅作義、李生達軍の兵力では袞州攻擊さへ困難視され若し南軍にしてこれを驅逐せば戰局には意外な變化を來すものとしてこの方面の戰ひは非常に注目されてゐるが兩軍の勝敗は容易に決せず今や豫備隊までを動員してゐるのに徹し依然交綏狀態のまゝ何等かの發展を求めてゐるに過ぎない

改組少壯派に諒解を求む

【北平特電十四日發】北平の中央黨部組織に關し汪精衞派の下級黨員就中青年間には右黨部に多少の疑惑を抱き擴大委員會が果して革命性を充分に表現してゐるかどうかとて幹部に不滿の意を表示する向もある爲め陳公博氏らは近くこれ等の分子並びに大同盟、孫文主義學會、三民學社等の青年を招き今回の會議の結果を報告して諒解を求め擴大會議を一期擁護するやう希望することになつてゐるが、たゞさへ汪派を共産黨視してゐる北方の黨外の人はこの下級黨員の動きに頗る注意を拂つてゐる

膠濟沿線の邦人糧食缺乏に惱む 領事館に應急策陳情

【濟南十三日發電通】張店、周村居留の邦人は濟南總領事館に代表を送り膠濟線道の交通々信杜絕八日間に及び戰線近くの百餘名の邦人危機に瀕し糧食の缺乏甚しく御配慮を乞ふ旨を申し出た

罷業海關員復職要求 天津海關は强硬

【天津特電十三日發】天津税務司ベル氏は過般家族同伴上海へ引揚げたが氏と行動を共にした支那職員は漸く地位の不安を感じ復業を要求したがシンプソン氏は去月二十日の事件當時「三日以内に復職せざれば免職する」と布告した以上採用するとは出來ないと拒絕し同時に山西當局はこれ等職員に對し治安擾害罪で刑事處分に附せやうと頑張いてゐるが實際問題としては新に採用した海關員は事務不慣れのため税關收入はその他の理由もあらうが大減收を來してゐるので閻錫山氏は葛監督と協議の上近くこれ等の罷業員で、就業を希望する者は試驗の上採用する方針を取るらしい

閻錫山氏はさらに郵政局乘取り計畫 蔣氏が遂に郵貯を軍費に流用 支那全く南北に分裂

【天津特電十四日發】凡ゆる北方の機關が反蔣派に收められ中華民國は完全に南北に分裂して了つたがモウ一つ技術と國際關係から統一の下に事務を取扱つてゐるものに郵政局がある、長引く戰爭に追ひ詰められた蔣介石氏も漸く軍費に不足を告げたものか交通部をして北方各郵政局の郵便貯金を南京政府へ送らしめこれを軍費に流用し始めた、これを知つた閻錫山氏も大狼狽で直ちに監視員を管理局に派し調査せしめてゐる、が近く天津海關と同一手段で南方系局員を罷免し反蔣派の手に乘取るべく目下準備を進めてゐるが實現の曉は完全に總ての機關が南北に分裂する次第だが事は國際郵便にも關係し又複雜な問題が發生するであらうとて注目されてゐる、一方郵便貯金を軍費に失敬するのは未曾有のことで蔣介石氏の亂暴さには各方面が呆れてゐるが氣の毒なのは支那の中產階級で零細な貯金が軍費にスツ飛んで了ひ果して拂戻しが出來るかどうか疑問となつたことである

兵力量御諮詢は一方だけで可い 岡田參議官車中談

【東京十四日發電通】大湊要港部特命檢閲を終へた岡田啓介大將は十四日午前七時上野驛着歸京したが車中左の如く語る

今日は財部海相と谷口軍令部長に會見するがそれは特命檢閲の事に關する打ち合せの爲めである、所謂四巨頭會議が今日あるかどうかは未だ聞いてゐない明日は午前中に葉山に赴きこの度の檢閲情況を上奏しその後宮中で軍事參議官の方々に報告する事になつてゐる數日間東京を留守にしてゐたので海軍に關する時局問題がどうなつてゐるか知らぬ、だから條約兵力量の御諮詢を元帥府に奏請するか軍事參議官に奏請するかは判らぬ右の中何れか一方に御諮詢すれば足り又何れでも差支へないと思ふ目下ロンドンに居る安保大將に財部海相が召電を發したかどうかは知らぬが時局が時局だから安保大將も急いで歸國する必要はあらう

陸海兩巨頭意見交換 兵力量問題で

【東京十四日發電通】谷口軍令部長は午前十時參謀本部に金谷參謀總長を訪問し海軍條約兵力量が陸軍にも關係するか否かにつき兩者の間に意見を交換し更に元帥會、軍事參議會に關し參謀總長の意見を聽し右會見の結果を齎し谷口部長は直ちに麴町の私邸に東鄉元帥を訪問した

四巨頭會議 けふ海相官邸で

【東京十四日發電通】財部、谷口、岡田、加藤四大將の第四次海軍巨頭會議は午後一時海相官邸に開會された

鐵道會議初顏合せ （九日首相官邸に開き仙石總裁も出席）

製鋼所問題もけふ一日で決定すまい 理事の增員說など信ぜられぬ 大平滿鐵副總裁談

木村氏の理事内定は事實だ、滿鐵本社にも内定の通知だけはあつた譯だと思つてる、正式任命の辭令は勿論歸朝後になる、伍堂十河兩氏の理事就任で缺員理事は全部の補充が出來滿鐵の

新陣容は 此處に全く整つた譯である、理事一名の增員說は自分にも判らぬが若し增員するとすれば十河氏任命と一しよに發表になつてもよさそうに思つたがその發表のないところを見ると總裁が留任の增員のお話でも持ち出されるやうになるかも知れぬ、然し自分には全然增員說など判らない

昭和製鋼所問題は今日東京で會議が開催されるが今日一日では決定することはあるまい、關稅問題が最も重大問題となつてゐるので敷地が鞍山か新義州かは何れにも豫想を許さない、總裁も決して鞍山を固持してゐられる譯ではない、

歸連期は 本月末の豫定であつたが矢張八月にならう、九月東京における鐵道會議が開催されると鐵道委員になつてゐるので九月上旬また上京されるかも知れぬがそれはまだハツキリ判らない、若し九月の上京がなければ目下業務調査委員會で審議してゐる給與改正問題を決定し大汽、滿洲ドツク、旅館會社その他の滿鐵傍系會社を整理後沿線視察に出向かれることにならう、次長の部長昇進かそれも一二はあらう、新任理事の擔任部は十河氏が販賣、用度の部長、木村氏が交涉部長、伍堂氏が鞍山、撫順の部長に決定する

神鞭理事は經理部長專任

新任滿鐵理事十河信二氏は十四日附を以て販賣部長兼用度部長を命ぜられ同時に神鞭理事は右兩部長を免ぜられ經理部長專任となつた

スターリン氏書記長に再選す 右翼派も支持を誓約

【モスコー十三日發電通】共產黨大會においてスターリン氏は再び共產黨書記長に選擧された斯くて氏はソヴエート政府最高の職に就くだらうとの風說は實現されなかつた譯である尚右翼反對派の領袖ルイコフ、トムスキー、ブハーリンの三氏はその節を變改してスターリン氏支持を誓約した後中央委員に再選された尚トムスキー氏は中央委員會政治部員を辭したがルイコフ氏は依然政治部員に留まつてゐる【寫眞はスターリン氏】

木村公使歸朝の途に就く

【東京十四日發電通】滿鐵理事に内定せる木村チエコスロヴアキヤ公使は十二日發歸朝の途に就いた

東北政務委員大會

【奉天特電十四日發】東北政務委員會では十六日頃政務委員大會を開き左記諸事項につき協議をなす

一、國權回收問題
二、東三省地方自治機關回復問題
三、東北財政救濟問題
四、對露會議善後策

柳樹屯部隊送別會 廿二日彌生校で

柳樹屯駐在步兵第十九聯隊及び廿聯隊は愈々來る二十二日内地歸還に定まつたが大連市では同聯隊員多年の勤勞を犒ふ意味で市役所主催、民政署、兩公議會、大連、滿日兩新聞社發起で來る十七日午後零時半から彌生高女講堂にて送別午餐會を開催するが會費は一圓五十錢、一般多數官民の來會を希望する

歐洲の貴金屬類從來よりも速く到着 小荷物の直通開始て

【ハルビン特電十三日發】第五回歐亞連絡會議にて小荷物の直通連絡が協定されたが東鐵商業部の發表によると通過國家の税關檢査は行はず發着地點にて行ふとあり、若しこれが實現すれば大成功で日本と獨、佛歐洲との小荷物による取引は一層進展するだらうとこれによると歐洲からの貴重品は僅に二週間でハルビンに到着しドイツの藥品及び衞生器具、貴金屬、フランスの貴重な香水の滿洲進出は今後一段の活躍振を示すだらうと期待されてゐる

松黑航行權交涉 專門委員會を設けて

【ハルビン特電十四日發】モスクワの露支正式會議に支那側は昨年の露支事件に於て赤軍のために抑留された松花江航行の汽船返還問題を提案してみるが、松黑航行權に就いては本會議において單に露支大綱協定に基く原則的範圍に止め專門的細則交涉に關しては黑河道尹張壽增氏が代表となり黑河に露支專門委員會を組織し折衝中であるといはれ紛糾の解決案としてはソウエート汽船が松花江上流ハルビンまで航行しこれによつて支那側東北汽船は露領アムール河にとるニコラエフスク市に至る双務的のものである幸ひ今回の會議によつて航行權が決定すれば赤旗を揭揚したソウエートの汽船がハルビンの埠頭に現はれるであらう

滿鐵（其十） 走馬燈 荻川

滿鐵が野戰時代を承けて、其營業を始めし時を思ふと、露國の事業、之が侵略のものでありしだけ、思ひ切つて金を撒いた、それで滿鐵は之を繼ぐので、餘計な金も要る、それに滿洲當時の狀態は、邦人を迎ふるとしては、餘りに天然物の慰安が乏しかつた、餘りに社會的の恩惠が乏しかつた、それで從業員の給與にも、之を補はんとして、おのづから豐なるものなりしに相違なく、此點とて露國に倣似いた嫌もある。

◇

併し滿洲の世態が今日の如くに變ると、もうそれに及ばぬ、そこで滿鐵は、一般の世態にも鑑み、亦滿洲の此世態に應じ、緖めるばかりではないが、經費の節約は、年から年にと、考へられもし行はれもしてゐる、之は斯うして進むのである、一たび定めた經費の節約ほど、困難なものはない、そこには漸進主義を探るべしで、唯其進路が換はらねば好い、そうすると此頃のような世界的不景氣に會したとて、そりや經費節約とうろたへる要はない。

◇

そこで斯る漸進不斷の經費節約は、啻に重役、幹部のみならず全從業員に此精神が徹底し居らねば駄目じやが、幸ひに之も次第に行屆けるが如く、過去從業員が、其自己に對する會社の施設待遇に不滿足を訴へ、局外からすると、此等從業員は、膏血で得た滿洲の特權を快樂に消費せんとするかの感も起りしが、現在にさることとなし、是れ自己の欲する施設待遇の整ひしにあらず、自覺が之を夫に持つて來たと觀ねばなるまい、慶喜ばしからずや。

◇

さあこれからは事業への精進である、尤も過去とて決して事業に不精進ではなかつた、露國から譲いだものを、これまでに仕上げた功績は、充分に認めねばならぬが、それが時潮に乘り過ぎた、それで從業員に前記の我儘も起つたのか、されど滿鐵が常に此時潮に乘つて行けるとは考へられない、それには此頃の世界的不景氣を觀ねばならず、亦此不景氣も一時の變調と觀て濟まされようか、こゝで云ふは之を考へての、事業精進である

地方事務所異動 係長並びに社會主事

滿鐵は今回左の如く地方事務所係長及び社會主事の異動を行つた

本溪湖庶務係長 高根長男 總務部人事課勤務を命ず
長春地方係長 平尾康雄 炭礦、庶務課勤務を命ず
安東勸業係長 門間堅一 奉天地事勸業係長を命ず
鞍山勸業係長 阿比留乾一 安東地事勸業係長を命ず
瓦房店經理係長 鈴木七八 鞍山地事庶務係長兼經理係長を命ず
鞍山經理係長 足立三郎 瓦房店地事經理係長を命ず
炭礦部庶務課勤務 竹中學文字 長春地事地方係長を命ず
遼陽地方係長 石岡武 地方部庶務課勤務を命ず
地方部地方課 中村俊夫 遼陽地事地方係長を命ず
安東社會主事 山本憲一 本溪湖地事庶務係長を命ず
營口地方係長 蒲生濱二 地方部地方課勤務を命ず
鐵嶺庶務係長 山内敬二 營口地事地方係長を命ず
長春社會主事 久永重男 鐵嶺地事社會主事を命ず
公主嶺社會主事 瀧谷彌五郎 長春地事社會主事を命ず
公主嶺庶務係長 片岡榮 社會主事兼務を命ず

諸名士を乘せてけふ香港丸船出 見送りで賑つた埠頭

十四日出帆の香港丸——内閣資源局長官宇佐美勝夫氏一行、拓務次官小坂順造氏の一行、それに滿洲には馴染深い前滿鐵理事小日山直登氏の一家、この日埠頭はこれらの大官連を送るもので滿され、滿鐵より大平副總裁を初め部課長、關東廳より中谷警務、三浦内務兩局長を初め各課長連並びに神田民政署長、田中市長等々、これに各夫人連の華やかな色彩を添へ殊に小日山氏を送るべく滿洲青年聯盟代表が聯盟旗を振りかざして別れを惜んでゐるのは目をひいた

在滿中の交情感謝 小日山直登氏談

滿洲は非常になつかしい土地でした、昭和二年の初秋理事に任命され爾來鐵道運輸方面の仕事を見て來ましたが在任中大過なかつた事をよろこびます、とりあえず郷里に歸りますが何れ上京するつもりでゐます、在滿中の皆樣の御厚情を意深謝する旨を皆樣にお傳へ下さい

貴い資料を多く獲た 長官次官語る

宇佐美資源局長官並に小坂拓務次官は共に一緒に歸る事になつたが時節柄今度の旅行は非常に有望であつて在滿人の抱負だとか、意見をあらゆる方面から聽取る事が出來たのをよろこんでゐる歸つたら早速報告するが貴紙を通じ滯滿中の御好誼を謝す

滿鐵社員會の幹事長選擧

滿鐵社員會は曩に保々幹事長が辭任したので新幹事長選擧を行ふことゝなり十四日各支部に選擧用紙を發送したので來る二十五日までに本部市川選擧長の手許に屆くやう郵送して貰ひたいと

貨物主任會議

滿鐵々道部では八月十五、六兩日第六回貨物主任者會議を本部において開催するが各所からの提出議案は明十五日までに本部へ取纏める筈

鎭守府用地檢閲

佐世保鎭守府司令長官は同鎭守府管轄用地定期檢閲のため八月中旬來連すると

人事

▲宇佐美勝夫氏（内閣資源局長官）十四日出帆香港丸で内地へ
▲堀三也氏 同上
▲積村甲午郎氏 同上
▲小坂順造氏（拓務次官） 同上
▲市村信宏氏（同屬） 同上
▲高橋進太郎氏（同上） 同上
▲稻田周一氏（事務員） 同上
▲小日山直登氏（前滿鐵理事） 同上

大觀小觀

◇デヴイスカツプ歐洲ゾーン戰、敗れたりと雖も決勝戰まで頑張つた太田、國民の名において謝す。
◇共產黨大會でスターリン書記長に再選、鐵腕いよ／＼冴ゆ。
◇北方聯合政府、八月初旬成立說、聯合即烏合にならぬやうに。
◇北平、昔の首都氣分甦へる。まだ天下分目の戰ひ了らぬに、聯か氣が早い。
◇閻蔣兩氏、民衆の零細な郵便貯金までも、軍費に流用せんとす、それでは三民主義が泣かう。

天氣豫報

十五日（南の風）晴後曇

各地溫度	十一時	昨日最高
大連	二七・八	三一・三
旅順	二七・八	二九・八
營口	三一・一	三〇・五
奉天	三〇・〇	三一・三
長春	二八・九	三一・六

滿潮（午前零時五分 午後零時三十分）
干潮（午前五時四十五分 午後七時十分）

盂蘭盆の夜眠る愛兒を絞殺して母子の心中
早く來て下さいと夫へ遺書
山縣通の家庭悲劇

盂蘭盆の夜、スヤく眠る愛兒を絞殺し「あなたも早く來て下さい」……と斷ち切れぬ夫への思慕の情を書き置いて藥自殺を遂げた人妻があつた――十四日午前四時ごろ市内山縣通四六番地共保生命保險株式會社大連支店の集金人猪田喜代太郎(三五)の内縁の妻平田タシヨ(三〇)は社宅奥四疊半でスヤスヤ眠る庶子保(三)の頸部に木綿布を卷つけて絞殺し、枕頭に香を焚いて愛兒の冥福を祈つてから、自分はリゾール一瓶を嚥下、自殺を企て苦悶してゐるを午前五時十五分宿直から歸宅した夫喜代太郎が發見し、部屋に飛込んで見れば妻の横に愛兒保が冷たきむくろとなつてゐるのに二度吃驚、子煩惱の喜代太郎は保を抱えて山縣通今井小兒科醫院に驅けつけ應急手當を加へたが既に死後三時間を經過してをり施す術もなかつた、一方苦悶中のタシヨは大連醫院收容、手當を加へたが今朝六時絶命した

夫婦喧嘩で前夜に別れ話
母親はリゾール嚥下

急報により大連署藤井司法主任は香坂警察醫を伴ひ現場に急行、池内檢察官立會ひの下に檢視を遂げた、喜代太郎とタシヨは大正十二年青島で内縁關係を結び十三年七月來連、共保生命大連支店の小使に雇はれ最近集金人を兼ねてゐたが、タシヨは極度のヒステリーで家庭には風波の絶え間がなかつた事件の前夜も夫婦喧嘩を初め妻から別れ話を持ちかけたが喜代太郎は妻を宥めて寢かし午後九時三十分ごろ會社の宿直で家を出た、午前四時頃タシヨは寢られぬ儘に起きたり立つたり、いつそ愛兒を道連れに死を覺悟し、拙き鉛筆の走書きで

お先に參ります、お墓をとつて置きます、あなたも早く來て下さい、保はつれてゆきます(原文後略)

と夫に宛て遺書を殘し保を絞殺してから劇藥リゾールを嚥下したものらしく、直接原因はヒステリーと見られてゐるが裏面には相當混み入つた事情があるらしい

支店長宅の貰ひ風呂で指輪が紛失し嫌疑
悲劇の裏に潜む哀話

我子を道連れ自殺を圖つた家庭悲劇の裏面に潜む哀話――事件の直接原因は極度のヒステリーから發作的兇行と見られてゐるが、探聞するに今から二ケ月前、タシヨは日頃から貰ひ風呂にゆく支店長の家で夫人の指輪が風呂場で紛失したことがあり、その際盜んだ者はタシヨといふことになつて支店長夫人との間に面白からぬ感情が流れ初め、最近では口も利かぬ不仲となつてゐた、當時嫌疑をかけられたタシヨは「貧乏だと思つて人を馬鹿にする」と憤慨し以來ヒステリーが昂じたが、夫喜代太郎は支店長夫人と妻とが口も利かぬ不仲であることが自分の立場上困るからと妻に對し反省を促してゐたが、それが原因で一層家庭は險惡な空氣に滿されてゐた、更に興黙せるタシヨは老年の夫に對し性的不滿を感じヒステリーは募る一方であつたところ十三日夜の夫婦喧嘩でカツとなり斯る家庭悲劇を惹き起したものである

十日ほど前から恐ろしい形相
ヒステリーが昂じて兇行か 精神病系を苦にした

兇行の演ぜられた山縣通り四十六共保生命保險會社支店に猪田千代太郎氏方を訪へば混雜に取りまぎれて猪田は留守坂本支店長は語る

猪田は當支店傭人として六年餘も實直に勤續し、最近は特別手當として月給外に十七、八圓の別收入もあり生活苦と云ふ樣な事は考へられません、猪田の妻女は強度の近眼の上に、ヒステリーが昂じ、十日程前から眦が吊り上つて一見普通人とは思はれない形相で、本人は常に精神病の系統があるから厭だくと口癖に云つて居ました、兇行の前夜はヒドク氣分が良さそうで殺された保さんを連れて私方の湯へ入りスツカリはしやいで居たのでコンナ事にならうとは思ひませんでした

母子心中のあつた山縣通の惨劇の家

現職巡査の詐欺事件
起訴公判へ

現職巡査が渦中にあつて關東廳高官の名を騙り僞造ベンゾリンで五萬餘圓の詐欺を働いた新納豐壽一味は大連地方法院檢察局高井檢察官係取調中のところ十四日左の罪名で起訴公判に廻された

詐欺、痲醉劑取締規則違反 天津在住齒科技工 新納豐壽
同罪名 旅順在住元看守 中谷由松
同 旅順在住元旅順署巡査 塚田治七
同 大連在住自轉車修繕業 山内金衛
痲醉劑取締規則違反 天津在住齒科醫師 池上兼治

三歳で富士登山

【御殿場十四日發電通】靜岡縣大宮町旅館梅月の長男登(三)は十三日母のキエ子さん等と富士登山御鉢廻りをなして下山したが、富士始まつて以來の最年少レコードである

中南米酷暑
百度を越し死亡者百名

【ニューヨーク十三日發電通】一週間前からアメリカの南部中部を惱ましてゐた酷暑は死者百名を出すに至つたミゾリー州では華氏百二十二度に達する處あり其の他も百度に超ゆる處非常に多く從つて農作物の被害甚大であるアイオア州では一千の牛が暑さの爲めに斃れた外牛馬の斃れるものが非常に夥しいカンサス州の農家では日中野良仕事を休み夜になつてから麥の收穫を遣つてゐる

魔の山東高角沖合で又も汽船衝突沈沒
今曉濃霧中松浦汽船の廣發丸

ノルエー汽船のダムプト號沈沒の報がまだ耳新らしい折柄又々十四日未明、魔の航路、山東高角と南島角において當地置籍船松浦靜雄所有の廣發丸が英國汽船と濃霧中にて衝突、廣發丸は不幸沈沒の厄に遇ひ乘組員中コック一名の生命を失ひさらぬだにガス中の航行の危險を繰り返し航海業者の神經は針の如く尖鋭化し各船會社にても警戒に努めてゐる

第一報
相手は英船

十四日午前四時十五分當地無線電信所への入報によると大連加賀町三十番地松浦汽船會社所有廣發丸(千七百七十四噸六四、船長石井榮氏)が威海衛にて鹽二千五百噸を積込み十三日午後十一時同港を拔錨釜山へ向つたが折柄ガスシーズンの事とて山東角一帶は濃度の霧に襲はれなやまされつゝ航行中上海より威海衛に向け航行中であつた英國汽船バタフールド船會社所所有太沽洋行扱エネアース號(船長ウオーレス氏)と稱する一萬五十八噸の船と北緯卅七度十八分東經百廿二度五十一分、即ちさきに奉天丸、ダムプト號の衝突箇所附近において打つかり廣發丸は濃霧中瞬間に沈沒した

第二報

同じく午前中に入つた第二報によると廣發丸乘組員中コック一名(氏名不詳)は行方不明となりその他は全部救助されしかして廣發丸は全く船體を沒してしまつたと

乘組員は救助さる
威海衛に入港

英船エネアースにては直ちに廣發丸船員を救助に努力を拂ひ乘組員船長初め四十一名を救ひあげ取敢ず威海衛に向ひ十四日午前九時威海衛に到着したと

保險金は十萬圓
松浦汽船談

松浦汽船廣發丸はさきに阿片船として世間を惹起したものでその方では有名な船であるが、加賀町松浦汽船では社員加藤氏は悲痛な面持で語る

私の方は今朝七時に無電局から通知を受けましたあの船は一昨々年ブラジルから購入した船で保險は帝國海上に十萬圓掛けてあります、今も保險會社にそう通知をしておいたところです、何だか一名死んだ樣に知らせがあつたが氣の毒でなりません、名前も判明しないが只コツクとある丈けですから多分支那人だと思ひますが何れにしても困つたものです、多分明日大連入港の船で威海衛から皆來連するものと思ひますが本社ではその上でよく當時の事情を調査しやうと思つてゐます乘組員は石井船長初め高級船員七名支那人三十五名だつたと記憶してゐます

霧笛信號を賴つて集り椿事
何とか對策を講究する 岡本海務局長談

再度同樣事故の突發に當地海務局においても年來緊張してゐるが、岡本海務局長に今後の當局の方針を尋ねると

矢張り原因はガスらしいですね、どうもあそこは各地から來る船が自分の船の位置を知らうと山東角の霧笛信號を賴りに集つてくるので非常に危險視されてゐるところです、從つて常に同じ樣な場合同じ樣な事故が生じるのです、當局でも奉天丸の事件後各船會社燈臺等に注意はしておいたが何分ガスの中の事でどうも出來なかつたんでせう、これも木村裸事の手で調査の上やがて海事審判に廻されるでせうが乘組員が來連したら取敢ず當時の事情を聽取する事となるでせう、大體あそこの燈臺は支那の交通部の主管するもので支那のものとしては評判の好い方だつたのです、まあ今後も何か霧中における適當な對策を講ぜねばなりますまい

葉山海岸で御水泳
御避暑中の聖上陛下

【東京十四日發電通】葉山に御避暑中の天皇、皇后兩陛下には連日の炎暑に拘らず御機嫌殊の外麗しく十三日の日曜には午前十時半御照樣御同伴海岸に出でさせ長者ケ崎からモーターボートにて森戸沖の鮫島に成らせられ三時間に亘り島内御巡覽の上海草類を御採集遊ばされ午後一時四十分御歸還あらせられたが、更に聖上陛下は一時五十五分海水着を召され二時半迄御水泳を遊ばされた

新興の意氣あがる全滿鐵體育ボール大會
八月廿四日に奉天で本社主催
大會規定發表さる

本社主催滿鐵體育係主管の全滿鐵體育ボール大會の第一度報ぜらるゝや各課所等に於て同大會目指しての猛練習を開始して居たが、折惡しくも滿鐵職制改革に依り社員異動多く練習中のチームも分離するの狀態となつた本社は體育係も交渉の結果新組織のチームの練習の便をはかるためすでに發表の大會期日七月二十日を八月二十四日に變更し同時に左記大會規定を發表することになつた

▲期日 八月二十四日午前八時半
▲場所 奉天(コートは追て發表)
▲出場資格 滿鐵社員
チーム組織の制限は左の如し
▲總務部、計畫部、交渉部、經理部、炭礦部、工事部、用度部は各課所單位
▲鐵道部は各課、所、場、驛、[illegible]、檢車列車機關保線保安の各區埠頭は各係別大連甘井子埠頭鐵道工場は係場別單位
▲製鐵販賣部は各課單位
▲殖産部は各課所場館別單位
▲地方部は課、所醫院各學校(たゞし學生々徒はのぞく)圖書館研所別單位
▲出場チーム制限なし(男女混合男女別のチームをも認むたゞし同一人で二チームに出場することを許さず)
▲申込方法 出場チーム名及び選手名を明記の上代表者名により滿洲日報事業部宛八月十五日までに申込みのこと
▲旅費滯在費一切自辨
▲試合方法 出場チームを數組に分け各組四回以上宛のゲームを行ひ勝者を定む
▲使用ルール 體育係發表體育ホールルール使用
▲注意 不明の箇所は本社運動會に問合せられたし

單葉飛行機で大圈コースへ
プ中尉の太平洋橫斷

【タコマ十二日發電通】再三のタコマ、東京間太平洋橫斷飛行計畫の失敗にも屈せず着々第四回目の飛行準備中であつたハロルド、ブロムレー中尉は新單葉飛行機にて加州ロスアンゼルス附近のグレンデール飛行場から橫斷飛行の出發點たる當タコマに無着陸飛行にて今十二日夜到着した、新機はロスアンゼルスよりの飛行中も極めて良好な成績を示したが尚發動機を馴らす必要あるため十三日より試驗飛行を行ふ筈である、ブロムレー中尉は橫斷飛行のコースに關し次の如く語つた

タコマより東京への太平洋橫斷コースとして余は大圈コースを採る筈で先づアリユーシヤン群島の北を掠め次でアツー島附近より南下して太平洋上に出づる計畫で此の飛行距離は四千七百七十九哩である

因にブロムレー中尉と太平洋橫斷一番乘競爭者ロバート、ワーク氏はプ中尉を迎へ挨拶を交換した

三對二の成績でイタリーに敗る
デ盃歐洲ゾーン決勝戰

【東京特電十四日發】日本對イタリー、デビス、カツプ歐洲ゾーン決勝戰最終日のシングルス試合は十三日イタリーゼノアで開始された先づ原田は輕くステフアニをストレートで一蹴して二對二の同點となり愈々最後の勝敗を決する太田對モルプルゴ戰に移つたが、太田は日頃の當り出でず慘敗し、歐洲ゾーンの覇權は遂に三對二の成績で伊太利の得るところとなつた、かくて伊太利はアメリカゾーンの優勝者アメリカ合衆國と對戰する權利を得た

原田 六―二、七―五、七―五 ステフアニ
モルプルゴ 六―〇、六―二、六―一 太田

試合經過

△原田對ステフアニ 今日の原田の試合振は實に目覺ましいものであつた、夏の炎天を物ともせず集まつた六千の觀衆は彼の鮮やかなプレーに魅せられてしまつた、原田のショットは自由自在な變化に富みベースラインを衝く深いドライブでステフアニをしてコーナーからコーナーへ走らせ應酬に暇なからしめた驚嘆すべき球速により、ステフアニの弱いサービスを返し、しばしば得點した、またネツトワークにても遙かに敵を凌ぎ遂にストレートで敵を破る(總得點原田百二十一、ステフアニ百二)

△モルプルゴ對太田 太田いつもの調子全く出ず、ベツクコートのプレーヤーとして有名なモルプルゴに對し全く試合を變化せしむることが出來なかつた、老巧なるモルプルゴは正確堅實なプレーで太田のミスを待つ消極的作戰に出で、太田のドライブはすぐれてゐたがネツトやアウト多く自滅した(總得點モルプルゴ九五、太田五八)

自動自轉車穴へ轉落
瀕死の重傷

市内山縣通り三一六田中有二(三〇)は十三日午後八時半ごろオートバイにて星ケ浦より歸途旅大道路富士根櫨東端で約二間の深さに掘下げてゐる警戒線を突破してオートバイ諸共眞逆樣に其穴の中に轉落し頭骨を折り、その他全身に裂傷を負ひ直ちに唐澤醫院に收容したが生命危篤

藝妓の逃亡

市内平和街六五番地料理店數島樓抱へ藝妓八千代こと芝田ユキエ(一八)は十二日午前十時ごろ外出したまゝ行方不明となつたが、ユキエは最近まで奉天にて稼業してをり當時の情夫と共に逃走した形跡があるので十四日樓主より小崗子署へ搜査願を出した

大連神社月次祭

十五日の大連神社の月次祭には氏子代參當番町區域町區の氏子役員等參列の上午前十時より月次祭典を執行する

艶色生膽秘譚 (172)

伊藤松雄作　河原塚龜太郎畫

哀別（八）

内濠の石垣下へぴつたりと吸ひついた三つの人影。

云はずと知れた左近、亮之助、三藏、その肩口には猿の太夫がチョコナンとうづくまつてゐる。いづれも合羽様のものをぬぎすてると下は水畜の輕快なる姿。

「ではよいか」

亮之助は得意の潜術身體に捲きつけた太綱を、まづ對岸の石垣へ縛びつける大役。

「氣をつけてまいれよ」

「心得た」

言葉が終るか終らぬ間である。

胸いつぱいに氣を吸ひこむと、脊もなくスーツと水面から消し去つた。滿々と湛へた濠水些のゆらぎも見せぬに、その底を鯉魚の如く泳ぎゆく。これが潛術。對岸に達すれば身體を垂直にして浮身となり掌先より始めておもむろに首から肩先を水上に現ずる。

フーツと溜息一時に洩らして亮之助、背から脇腹へかけて廻した太綱を石垣の中途に根を張つた老松の幹へ縛びつけた。

ピンと張られた太綱、それをたぐるが如く傳つて、正に水面へ滑れんとする邊を三藏は火藥袋を背に負ひ猿の太夫を左手の肘にかいきスル／＼と濺る。

左近は瘦める眸に蹤身を感じて、後備へとなつて警めの眼を見張る。

對岸へわたつた三藏、うかつに聲は掛けぬから手眞似で用を足す緊張。

亮之助は背いた。

「時刻こそよけれ！」

警備役人がひき鳴らしゆく金棒の音、遠く去つたをキツカケに老松の枝張つた幹股から猿の太夫に示したは天守の大やぐら。

太夫はうなづくと火藥袋を摑んでいつもの如くパツと地上へおりたつや暗の夜空めがけてスル／＼と攀つていつた。

「はてうまくいつてくれゝばよいがなア！」

左近はおいつと眼を据へたが眼界に入りくる影だに摑めぬいらだたしさ。

「待つ身になると長いものよ喃、まだかな」

ひとり呟いてゐる。

と、この間に三度四度やぐらの要所へ火藥袋を運び終つた太夫は導火線を一つ所に集め納めた三藏の肩へヒヨイと攫まつたが、何思ひけん、またもや肩先はなれてスル／＼と石垣づたひその姿を消した。

「あツ、これ！」

うつかり聲を出しかけてハツとした三藏、

「えゝ、お猿や五重塔たアちいつと譯がちがつてゐたつけ、冗談ぢやアねえ」

かう思つて亮之助を顧みれば、手眞似で急いでゐるらしい。

「心得たり」

そつとかくしもつた火打道具。

「カチリ、カチリ」

忍びやかにうつたが、恰らこの大事を城中へ報せの鐘でもつくやうな心持。

「太夫めどうしおつたか」

邊りを見廻しても戻つてくる氣配はない。

「えゝ、まゝよ。不愍だが仕方アねえ」

思ひきつた三藏パツと導火線へ火を點ずると、シユクシユツと鳴るを見定め、パツと身をひるがへして老松の幹をはなれた。

「では三藏よいか」

亮之助は再び水中ふかく沒し去つた。

再び潛術で戻るつもりであらう三藏は太綱わたつてもとの岸へはおつてゐた。

やつと辿りついた瞬間である。はや亮之助は水面の上へ合羽を……

「あゝ太夫めが……」

「や、太夫はどうした」

左近までが氣が氣でない。

併しいまや正に導火線をつたふ火は大やぐらの屋根をめがけてスル／＼とのぼつてゆく……。

本社劇を中心に 河部五郎の實演

神戸を打揚げて明日乘船 十八日初日で開演

舞踊王河部五郎來るの報一度び本紙に傳へらるゝや忽ちにして旅大ファン間に白熱的前人氣の焦點となり滿洲劇壇の要望を喚起し當地劇壇今春以來稀有の好前景況を以て迎へ待たれつゝあるが、一座は愈々現に公演中の神戸市の興行を本日限り打揚げ十五日神戸出帆はるぴん丸に乘船十八日來連の上即日歌舞伎座に蓋をあける事となつたが上演狂言の内一部の變更を見て本社の艶色生膽秘譚を中心として總ての配役場割等の編成替を見たが、何れも大衆演劇の急先鋒を躍進する河部五郎の得意の初陣壇上に相應しき一目見たゞけにヒヤリとする涼味と興味の渦巻く大旋風的名篇誇りで斯界の第一線上に多大の賞讃を博して全國のファンを熱狂せしめたものである【寫眞は河部五郎の妙法院勘八】

キネマと演藝

山の王者

◇巨匠エルンスト・ルビッチ監督の手に成ると云ふこと、バリモアへの興味は勿論、ドイツの名花カミラ・ホルンとメキシコで見出されたモナリコの二女優とが、何れだけの働きを爲してゐるかに期待がかゝる。愛し合ひ乍らふとした誤解から、愛し得ぬ者となつた結婚した男女が、幾月かを忍從の生活に送るが遂に忍び得ずして不義の名の下に村人に追はれ乍ら、白皚々たる山路をたどり雪崩の中に抱き合つて死すと云ふ、原名「永遠の愛」の示すが如きストーリーの映畫

◇ルビッチは山の神秘と、其の山に生る王者と、彼に配する聖女の如き愛人、惡魔の如き女、心弱き惡人の男等を出現させ、神と惡魔、自然と人との爭ひを、しかも彼一流の思ひ切つた、新しいエロチシズムの筆法で美しく描き上げてゐる。雪を頂く險崖、山中の孤村を描くキヤメラもうるみを持つて美しい

◇バリモアは……フランソワ・バイロンの彼を再び見るやうな氣がする。潑剌として酒を呑み、輕々とと跳び歩き、目に淚を宿し……名畫「吾れ若し王者なりせば」を思ひ出す。カミラ、ホルンの戀人はスイス娘らしい氣品と思ひつめての熱情とを特有のドイツ娘の濃い線で見せる。又バンプ役のモナリコもメキシコ人であり乍らデル・リオとは又變つた魅力を見せてゐる。其の他ヴイクター・ノヴアルマンも助演してゐるが、バリモアと一騎討の演技では格段の相違をはつきり見せつけられる

……物語りは雪の山脈を背景に雄大なところを見せ、ラストは大がかりな雪崩に終つてゐる。輕いタツチで描かれてゐる感銘深い戀愛哀話であるから時節柄すゞしく快く見られる映畫である【帝國館上映中】

軍師の小笠原ライオン、儂は何も知らぬといふ尻から▲橘天櫻が來たらと劇館で意氣込んでゐるから却々面白いよと矢張り軍師だけある▲帝國館はけふから愈々ジヨンバリの「山の王者」をあげるが▲引續き館員總動員奉仕週間で割引券を出して「山の王者」を三十錢で見せるなんて夏枯とは言へ大英斷である▲大日活に近くパ社トーキー「踊る人生」が上映されるらしい▲常盤座は次週コーリン・ムアの「ライラック、タイム」を發聲版で上映する▲浪速町の納涼園でジンタ、連鎖商店の納涼園で比律賓人のジャズ▲河部五郎一座の道具師が明日のあめりか丸で來連▲花柳界をはじめ映畫ファン、愛劇家の期待裡に愈々開演の日が近づいた

大連棋院臨時稽古碁戰

四段　都筑米子女史
五子　鳴尾直人氏

○一四一ヌ一　●一四二チ二　○一四三ワ四　●一四四ツ三
○一四五ツ五　●一四六ソ三　○一四七ワ九　●一四八ワ十
○一四九カ九　●一五〇チ十　○一五一ト十　●一五二タ六
○一五三タ七　●一五四レ五　○一五五ソ七　●一五六ヘ十九
○一五七ソ十四　●一五八リ十八　○一五九リ十七　●一六〇チ十九

—【8】—

ラヂオ

大連 JQAK

七月十五日午後七時三十分

▲ラヂオ體操
▲支那語講座（初等科第六課）滿鐵學務課秩父固太郎
▲講話（カルトン及ドウナツ製造法）山城惠照
▲ピアノトリオ（一）カンゾネツタ（一）チマイコフスキー作（二）ボレロモスコウスキー作ヤマトホテル管絃團ピアノ木村遼次ヴアイオリン岩崎寛セロスカルスキー
▲清元（助六）（唄）多波羅（三味線）清元延榮龍（上調子）多波羅夫人
▲支那劇（烏盆計）連東倶樂部々員
▲料理獻立
▲天氣豫報

東京 JOAK

七月十五日午後六時二十五分

▲趣味講座（シャーロツクホルムスの作者）江戸川亂歩
▲散歩レヴユウ（東京をめぐる）（序曲）和洋合奏（鈴鳥森）新内織娘若八丈（目黒）清元比翼塚（代々木）洋樂構寫曲觀兵式（新宿）常磐津臼糸主水（高田の馬場）映畫物語舞部安兵衛（飛鳥山）浪花節國安太平記（千住）義太夫お静禮三（隅田川）長唄鷺娘（砂町）聲色四谷怪談（終曲）洋樂（出演者）富士松富士廣、清元美都枝（同三和次）常磐津文字鶴喜、其社中、鈴木梅龍、要川燕燕、竹本綾満、櫻川國龍、岡安茂登、其社中、櫻川長壽、其他合奏音樂（司會者）德川夢聲

◎應募期間

昭和五年五月十五日より七月二十五日迄（但し七月二十五日の消印あり七月三十一日迄に到着のものは有効とす）

◎當選發表

正解者には正解答案總數を抽籤で入賞者と等級を定む
抽籤は八月上旬弊社にて警察官及び新聞社員御立會の上嚴正公平に行ふ

◎賞品發送

八月上旬抽籤執行後間もなく滿洲日報、大連新聞、泰東日報、滿洲報、中華藥報の五新聞に發表
入賞者には送料弊社負擔で當選決定後直ちに發送します

◎賞品

等級	金額	賞品	人數
一等	金參百圓	商品券金三十圓一枚宛	十名
二等	金二百圓	商品券金二十圓一枚宛	十名
三等	金一百圓	商品券金十圓一枚宛	十名
四等	金一百圓	カトール半磅入定價金一圓一罐宛	百名
五等	金三百圓	カトール大平罐定價金廿五錢一罐宛	千二百名
合計	金一千圓		千三百三十名

後援　製造元　大阪市西淀川區大仁西　株式會社　安住大藥房

主催　滿洲總代理店　大連市浪速町一四七　日本賣藥株式會社大連支店　電話六一三九・振替口座大連

日満貿易振興策と見本市批判會

十日 本社主催で開催

（一）

生産、交換、消費の各過程を通じ所謂合理化運動より國民經濟建直しへの緊要が今日ほど強く輿論化され今日ほど尖鋭に具體化されたことはない、この秋に當り日満貿易の取引改善を大眼目とする綜合満洲大見本市が生れたことは満洲經濟史上極めて意義のあることである、満洲見本市の發達を冀ふが故にこの機會に我社においてこれが批判乃至は日満貿易振興策につき關係有力方面の隔意なき所見を聽き、汎く紹介することは時宜を得たものと信ずる、かくて十日午後ヤマトホテルにおいて本社主催の「日満貿易振興策と満洲見本市批判會」を開催したが、會々同日午前中、團長會議を開かれたゝめ各團長とも殘務繁務に急迫され所期の如く出席を得なかつた、萬障を繰合せて出席の榮を得た下記各位に謝意を表すると共に記者が接した缺席者中數氏の意見をも併せて紹介することを諒とせられたい（缺席者の意見は姓氏に圏點を附す）

出席者 △主催者及後援者より 神成（聯合會）壽田（同）石塚（民政署）小川（満鐵）篠崎（商議）山口（郵船）岡崎（國際）須賀川（商船）
△各地團長側より 鶴田（大連）玉林（奉天）野尻（同）宮田（旅順）早瀬（遼陽）坂本（鞍山）中村（安東）久米（長春）横田（哈爾賓）堀井（吉林）小林（大石橋）佐々木（營口）中原（撫順）下山（鐵嶺）小松（公主嶺）津下（青島）由解（大阪）高柳本社長、佐藤同編輯局長、鵜木廣告部長、經濟部員

高柳（本社） 満洲における從來の箇別的見本市が満洲見本市の名において綜合統制され、その將來を大いに期待されることは多年の要望が達成された譯でお喜びに堪えない、そこで關係各位にお集りを願つて御高見を拜聽するつもりであつたが連日不眠不休の活動で御疲れのことであるし、それに午前中の團長會議でも見本市につき種々お打合せがあつた模樣であるから、それらと重複する煩を避け、聊かなりとも御意見をお洩らし願つて汎く紹介したい

佐藤（本社）（進行掛に推され）豫じめ差上げたプログラムによらず簡單に御意見なり御希望なりを拜聽したい

山口（郵船） 満洲見本市が商品の紹介により日満貿易上貢獻するところ少くないのを信じて疑はぬ、昨日の報告會にて承るところによれば約定金額においては餘り期待をかけられぬやうだが件數においては頗る廣汎多數に上つたとのことであるからこれだけでも既に十分目的を達したものと思ふ、即ち今回は固より回を重ねるに從ひ、優秀な日本商品の紹介が行はれるのは極めて意義のあることで、我々海運業に從事するものも運賃の低減が見本市の發達を多少でも資くるところあればこれにつき考慮を拂ふのを惜まない、次に今回の見本市を參觀するに取引者以外のものが多數入場してゐるのは如何がなものかと思つた、一面に於て豫期しなかつた優秀な國產品が外國品より餘程安く見せられるのは門外漢の見點を廣めることゝなり結構なことであるが、見本市の本質から見て取引人以外を入れないのと一般教育とは兩立しないのであるからこの點を充分研究して兩者の目的とも達するやう對策を講じたいものである、最後に見本市の宣傳ビラや廣告を見るに支那人方面へのものゝ中には日本文式のものが少くなかつた、これは相談所如きものを設けて安く又は無料で文案を作らせてはどうかと思ふ、また日本の廣告やレッテル類は最近大いに進步し、英語、支那語初めその他の外國語の印刷や圖案でも外國に遜色ないものが出來るのであるから商議や文化協會、満日社あたりで支那人の專門家を囑託すればリファインされたものが出來るであらう

横田（哈爾賓） 見本市の效果について述ぶれば僅かの會期間に成立した表面の取引件數や金高により成績を云々するのは早計である、我々は關係方面の參加者に對しても商品を研究し、取引方法を改善することを主眼とされたいと豫じめ希望した次第であつて、安いから一時的の取引をするといふのでは何にもならぬ、永久的のよりよき取引關係を結ぶところに金でかへられぬ利益があるのを忘れてならない、賣手、買手側とも中には餘り約定が成立した向が少くないがこの意味における無形の收穫は見逃せないと信ずる

津下（青島）（青島の經濟事情を縷述して見本市批判に入らんとしたが時間の都合上主催者より簡單にと希望したので本論に入らず中止された）

夾雜物程度檢査 九月から實施す

落花生、棉實は除外 けふも協議會續行

製油原料の取引條件を統一すべく內地側代表と當地委員との聯合協議會は十二日午後における第三日の會議を以て所期の目的を達し無事終了を告げた、第一日の會議では內地側と満洲側とは各々その立場上利害相反して容易に意見の一致を見ず相當難色があり、此の儘に進めば果して所期の協定を成立し得べき多大の疑問があつたが、第二日に於て双方互讓的態度を以て折衝し各自の意見を尊重して茲に妥協案を成立せしめ、第三日は之が附帶事項を纏めることにより辛うじて協定を見るに至つたものである從つて今十四日は右協定案の字句を修正し關係者の調印を求めることゝなつた、而して協定事項の主要問題であつた蘇子、大麻子、小麻子等の夾雜物の程度檢査は來る九月の新穀出廻り期から満鐵が各主要驛に於て實施する筈である、內地側代表は落花生、棉實についても檢査を求めてゐたが、満鐵側の容るゝ所とならず、適用されぬことゝなつた、但し落花生に對する檢査は普蘭店に於ける落花生同業組合が行ふことになるらしい、尚內地側の希望する棉實の檢査については他の方法を案出すべく主催者側から遼陽四平街方面の關係者に電報を發して出連を求め、十四日午後一時より更に協議すると

釐金税の撤廢 準備着々進捗す

各省の責任者上海に參集 種々折衝を重ね

（下）

◇………◇

乙、特種消費税改辦の原則
一、國貨に屬するもの
イ、釐金撤廢により特税消費税と改めるものはその税率は現在の税率より高率たるべからず、但し奢侈品はこの限りにあらず
ロ、特種消費税に收める時努めて箇々卡を設くるを避け又重徴留難等の弊を重ねるを得ず
ハ、特種消費税の徴收方法は財政當局により先づ實業團體の意見を徴す
ニ、若し獎勵或は保育の必要ある物品は財政、工商兩部が實業團體代表と協議し別に獎勵保育方法を規定す
ホ、國民生活日常の必要品、即ち米麥、土布、木炭等は免税とすべし
ヘ、農業用肥料も免税とすべし
ト、農業所用の各種機械も免税とすべし
チ、機械製品は免税とすべし
リ、教育用品及文化發揚品は免税とすべし
ヌ、生產高多からざる諸雜品は投税とすべし
二、外國品に屬するもの
イ、關税自主前、國貨税貨物と同樣の物品は日本の例に倣つて海陸新關輸入税を課し且つ消費税を徴す
ロ、關税自主後、一物一税の制度に倣ひ一税を徴收後は更に課税せず、或は前項の方法に照して隨時酌定す

◇………◇

丙、特種消費税改辦の種類
一、財政部によつて擧辦する消費税三種
イ、糧類税
ロ、織物税
ハ、出廠税

まづ麵粉より始め次いで生糸綿糸の三税に及ぶ、右三税を擧辦する際は財政部より省財政廳に通告し劃分を商定すその元來財政廳により釐金範圍內において徴收する各税にして財政部に歸收するものはその實數を調査し財政廳に照會す、この三種中の某種が財政部において未だ擧辦せざる以前にあつては各省財政廳に代辦を委託するを得、その歸納の生糸、綿糸出廠税は織物税を納入の際その税票で抵補するを得
ニ、左記各種税中の若干種は財政部により暫時各省財政廳特種消費税の擧辦を委託す
イ、油類 ロ、茶類 ハ、紙 ニ、錫箔 ホ、海產物 ヘ、木植 ト、陶磁器 チ、牲畜（耕種所用の牲畜及び家畜を除く） リ、藥材 ヌ、漆 ル、皮毛 ヲ、皮毛（皮革皮裘及毛羽に限る） ワ、大宗礦產物（礦物に對して徴收） カ、繭（生糸税を納入した時拂戻す） ヨ、生糸（絹織物税を納入した時拂戻す） タ、黄豆（油税を納入した時拂戻す） レ、棉花（綿糸税を納入した時拂戻す）
右各種の消費税徴收額は各省財政廳が各地方の情形によりそれぞれ選定し財政部の許可を受くるものとすその原則左の如し
一、右各種税は出產地において徴税した後は全國いづれの埠を通過すると雖も再び如何なる消税をも徴收されず
二、凡そ所屬境內の大宗出產品にあらざるものは徴するを得ず
三、各省財政廳の特種消費税擧辦は財政廳この事務を統理し同一性質の貨品は合併して局を設け經費を節減す

豆粕界沈滯

思惑を除いては約定も出來ぬ

大連油房聯合會最近の豆粕生產高は一日平均三萬枚を出でず愈々夏枯氣分を濃厚ならしめ上旬の生產高も二十九萬四百五十枚で各方面の需要減退に伴ひ一段と不振を醸してゐる、併し前年度の同期の十六萬九千枚に比すれば十二萬一千五百枚の増加であるが右は輸出期が例年より遲れたことに起因して居る、かくて豆粕、豆油の引合は生產狀態が右の如き事情にあるために商談の成るもの又漸減するを免れざると共に積極的に取引を開始することも困難となつて居る只思惑筋に於て多少は手を出しつゝある模樣で幾分の取引を見てゐるが結局は十一月もの十二月もの等先物の約定に專念するの外なく七八、九の三ヶ月は全く無味閑散に推移するであらう

預金貸出し共に減少

早い夏枯氣分

六月末における大連組合銀行の預金貸出高は金勘定において預金八千三百九十四萬三千圓、貸出高九千四百九十六萬七千圓で、前月末より預金九百四萬六千圓、貸出四百三十七萬七千圓を共に減少し、前年同月より預金六百四十九萬圓貸出二百二十一萬圓を共に減少してゐる、銀勘定においては預金一千四百四十九萬二千圓、貸出七百三十四萬七千圓にして前月より預金三百五十七萬五千圓、貸出四十五萬四千圓を共に著るしく減じ、前年同月に比すれば預金は二百三十九萬五千圓を激減したが貸出は却つて七十八萬八千圓を増加してゐる、而して金融界の大勢は例年の如く需要が漸次減少する時期に入つてゐるので自然各銀行も資金が相當ダブついてゐる有樣であるなほ本年は土建界が著るしく不振を極めてゐるので六月に入り早く夏枯氣分を呈してゐるのを見逃せない（千圓單位）

▼金勘定	預金	貸出
六月末	八三、九四三	九四、九六七
前月末	九二、九八九	九九、三四五
前年同月末	九〇、四三三	九七、一七七

▼銀勘定	預金	貸出
六月末	一四、四九一	七、三四四
前月末	一八、〇六七	七、八〇一
前年同月	一六、八八七	六、五五九

豆油賣買にまた紛糾

改善意見愈よ濃厚となる

大連取引所に於ける豆油の賣買は相對賣買で保證金なくその爲に受渡しの度に問題を惹起しつゝあつたので既報の如く取引人組合ではこれが改善方法につき寄々相談中であつたが、又もや七月十四日限の受渡の際に懸念されてゐた慶來東は差損金七千百八十六圓餘りが支拂不能となつたので相手方たる三菱始め十四軒の取引人は十二日直ちに組合に參集し引續き十四日午前中まで協議を重ねた結果、相手方十四軒は自分が受取るべき金額を慶來東へ一時貸借の形式を以て貸し今回の受渡しは表面上無事に決濟が終つたが最近は受渡しの度びに何等か紛糾を起すので組合では最近この對策につき具體的案を練り豆油取引方法に改善を與へる模樣である、これにつき取引人組合書記長萩原氏は左の如く語る

實に困つた問題です、今回は幸ひに表面無事に解決出來たもの、かゝる不祥事が起れば安心して豆油の賣買が出來ないことになるから可及的速に何等かの對策を講ぜねばならないと思つてゐる

尚慶來東は來月廿四日迄に二千圓を九月十四日に全金を支拂ふ契約となつてゐる

普蘭店に於ける落花生事情

米印支が世界の三大市場

（二） 今年は印度の豐作に影響さる

ロ、市價及取引狀況 落花生は世界的商品にして米國印度、支那の三大生產地の作柄によりて影響され殊に印度は年產額二百萬噸と稱せられ（満洲は五萬噸）來年は印度の作柄良好なりし爲め世界中に影響したと云はれてゐる、當地の相場は大體廣東及び青島の相場に追從し仁は百斤につき青島よりも七八十錢安、皮付は殆ど同樣である、仁は普蘭店より大連迄の運賃諸掛四十錢を要すると仕向地が主として南支又は歐洲なる關係上船運賃の影響である、皮付は主として日本向なれば同樣である（青島、相場ない）

◇…商人間の取引きは總て鈔票建（百斤單位）にして商人と農家との間は小洋である（建値は一石單位）昭和四年十一月頃出廻り當時には仁九圓三十五錢に始まり、十二月中、下旬九圓二十錢一月中旬八圓九十錢、下旬八圓五十錢迄で下落したが舊正月明けてより現在にては十圓七十錢反撥した

◇…皮付選別は十一月中、下旬迄で七圓より七圓二十錢 [illegible] たが舊年末に金融關係で七圓八九十錢に下落した [illegible] 月の交に至り歐米輸出 [illegible] れ銀價下落と相俟ち今 [illegible] 百斤十二圓內外の暴騰 [illegible] 至つた、而して當地內 [illegible] 家より原貨を小洋錢に [illegible] 一石上等品八圓三十錢 [illegible] 八圓十錢下等品七圓五 [illegible] 購入しては平均五分內 [illegible] を見た狀況である、之 [illegible] 九、十月頃端境期に於 [illegible] の高騰（約仁百人に付 [illegible] 錢高であつた）買進ん [illegible] ある、之の買進みの原 [illegible] 人は信用を利用し歳末 [illegible] にて農家へは僅少の手 [illegible] は全然交付せざるもの [illegible] 渡して荷受けを爲すを得る爲め思惑を爲する便なに爲めである

發達せしむべき満洲の重要工業

紡績、製麻、毛織、柞蠶の分 經調小委員會答申書

（七）

五、特種工業銀行の創立低利資金の供給を要望す

【説明】満洲に於ける金融機關は其の體系に於て整備せりと雖未だ特に工業家と密接の關係を有する工業專門金融機關を缺ぐ之從來満洲工業發達の過程に鑑み已むを得ざることゝなるべしと雖近時會社の整理著しく進捗し其の內容大に改善せられ更生の機運烝々たる外有望なる新規工業の目論まるゝもの尠からざるものあるに際し、今尚這種金融機關の缺缺は甚だ遺憾の事にして之れが爲め目下の狀態に於ては工業家は原料及半製品を資金化する能はず金融上多大の不便を感じ居るは周知の事實にして之が爲には官邊斡旋の下に工業銀行を創立し叙上の缺陷を補正するの急務なるを認む、而して工業企業の助成に對する圓滑なる資本の供給は絶對必要なる要件なるも從來の如く關東廳若は満鐵か非營利的動機に依り財政上の援助を爲すことは効果尠きのみか反つて產業の圓滿なる發展を阻害する原因となりしは過去の事例に徴して明なるを以て營利事業の助成は同じく營利機關に依つて行はるゝを適當と信ずるが故に満洲に於ける工業の助成を必要なりとせば之に對する特種の銀行を設立し採算を無視することなく叢萃せしむること適切にして關東州及満鐵は在來實行したる補助金又は貸付金等を廢止し代ふるに相當の金額を此の種銀行に投資し之を監督するを適當と認む、同時に豐富なる產業資金の低利融通に付特に官邊の努力を冀ふものなり、即ち本委員會に於て討議せらる纖維工業は他工業に比し利潤極めて菲薄なる上常に其の製品は市場に於て外國品と猛烈なる競爭場裡に晒され常に其の壓迫を被むること甚だしきを以て高率なる金利の負擔は直に製品の原價に響き外國品との競爭を困難ならしめ工業家の苦痛一方ならざるものあり今例を紡績業に假り內地及當地に於ける金利の高低を比較し這の間の事業を明にせむに內地に於ける一二流の紡績會社に對する銀行の商業手形の割引は日步一錢乃至一錢二厘なるに満洲に在りては借入金利子年利八分商業手形の割引利率日步二錢三厘なり、斯くの如く高率なる金利は前記の如く必然的に間接費の嵩張を來し事業の經營上の支障を招致し延いては其の發達を阻害すること大なるを以て之等低利資金の融通に關しては出來得べくんば貴廳に於て中央と折衝し貴廳管理の下に或る程度の產業資金を借り入れ鮮銀、東拓等當地金融業者をして其の代理貸付を爲さしめ以て工業資金利率の低下を圖する等適切なる之が緩和策を講ぜらるゝことの必要あり

黄塵

◇…上半期決算に對する內地銀行の態度は取引先の營業不振の影響が漸次銀行に及んで來るため行內留保を多くしこれに備ふる目的か、株主配當を減ずる傾向にあると傳へらる。

◇…然るに當地においては満銀が配當を復活せんとする意圖にあり正隆も之れが對抗上配當問題には甚だしく苦慮してゐる模樣である。

◇…無論銀行の減配乃至無配は他會社と異り信用上デリケートな關係を生ずるので當事者も苦心の存する所であり更に満銀の如き株主との豫約もあれば時代に逆行して配當を復活せんとするのも止むを得ぬかも知れぬ。

◇…しかしながら冷靜に兩行の內容を檢討するとき而も整理濟の內地有力銀行さへも減配せんとする時代において配當を復活するが如き果して賢明な策であらうか。

◇…尤も某銀行の幹部の如き整理銀行なるにかゝわらず驚くべき高級を食つてゐては不眞面目なる株主の意に迎合せねばならないかも知らないが賢くとも健全なる株主ならば此際一時の苦痛は忍んでも銀行內容の充實を期するを喜ぶべきであらう。

市況

特產 賣氣旺盛に高粱暴落

今朝の市場は一般に賣氣旺盛に一齊に急落を呈し殊に大豆、高粱は暴落を示して大引、今日 [illegible] 產高は六千枚で操業工場 [illegible] ある

〈定期前場〉（銀 [illegible]）

▲大豆（低落） 限月 寄付 高値 安値 大引 [illegible]

▲普通大豆（出來 [illegible]） [illegible]

▲豆粕（軟調） [illegible]

▲豆油（軟 [illegible]） [illegible]

〈現物前場〉 [illegible]

株

休日明けの內地は諸株市も氣配變らず無味閑散な納會相場であつた▲財界安定策も相場はすつかり見縊つた形であるがそれでも極端な不安人氣は幾分緩和された模樣である▲殊に場外カラ賣りの取締りから一般に賣玉の整理を急いでゐるものゝ如く材料としては無風狀態ながらともすれば小騰りな商狀をみせてゐる▲強氣筋はこれを底入れをすまして基礎工事に移りつゝあるものとみてみるやうであるが果してこのまゝすらくと相場が本筋の立直りをみせるかどうか▲買込みの訂正にする昨今の相場振りをみて本筋の立直りと過信すれば却つて底値を深くせしむることになりはしないかと思はれる。

豆

休日明け今朝の市場は氣に低落を呈しとくに大豆は七八兩限は九錢から十錢方、又高粱は八錢から十錢方の各機落を演出した▲目先き差したる買氣もない狀樣であるから依然弱氣配に移推するもの、觀測されてゐる▲豆油賣買には保證金が徴收されてゐないために最近受渡しの度に問題を起してゐる樣だ▲今回も慶來が差損金の支拂不能で不祥事を起した▲しかし慶來は相當信用ある店であるから相手方の好意で無事に解決はしたが▲かゝる問題が起れば豆油取引が懸念され取引が減ずることは當然なことである▲この取引改善につき油坊側では反對してゐるとのことであるが至急に何等かの對策を講ぜねば不況になるに從つて問題が難かしくなるであらう。

銀

海外材料としての銀塊は一齊に低落を呈したが地場鈔票は保合商狀で大引▲銀塊は支那筋は買氣あるが亞米利加は賣氣薄で目先き底意堅りと觀られてゐる▲英米煙草は期近もの五十萬兩の輸入末手當があり又支那人は八、九月もの賣りこし五百萬圓見當ありこれ等の買ひ埋めがすむまでは大巾高保合と觀測されてゐる▲從つて [illegible]

商品 前場

◇麻袋（保合） 鐵青四分の一安、爲替同事、銀票低落と材料不冴へに地場依然として氣乘薄く商內なし

◇綿糸（昂騰） 現物氣配不明なるも定期市場は米棉三十錢尚、大阪三品各限二三圓擱みの昂騰に當市も各限三圓五六十錢高を示した

銘柄	約定期	値段	梱數
福助	十一月限	二九、〇〇	三三〇
同	十二月限	二八、四〇	三二〇
出來高	三百六十梱		

〈現物取引〉（單位錢）

	銀對金	銀對洋	金對洋
九時	五四二〇	一一七三五	二一四五五
十時	五四二〇	一一七四〇	二一五〇五
十一時	五四九五	一一七四〇	二一三六五
十二時	五四八〇	一一七三五	二一二四〇

出來高（銀對金 六八三千圓 銀對洋 九千圓）

〈定期取引〉 [illegible]

株式 無味閑散裡に地場納會

[illegible]

錢鈔 銀塊安乍ら鈔票保合

[illegible]

〈定期喰合高〉 [illegible]

滿鐵株（保合） [illegible]

後場（保合） [illegible]

	定期	現物	合計
株式出來高（十三日）	三八〇枚	四一〇枚	七九〇枚

上海爲替情報

【上海十四日發電】銀塊は引はあと一高支那筋買氣、亞米利加賣氣薄と銀行入電あり金現物四十萬兩税關に差押へられたと傳へられ金志豐永賣り泰興の利喰ひ賣り、滙豐ボンド七月六片十六分の三賣り氣あり、人氣悪かりしところ安値引續き英米煙草の輸入ありて下げ支へらるアト圓昌、源生永、源毛 [illegible]

上海標金 [illegible]

鮮銀（金勘定）爲替相場（十四日正午） [illegible]

市場電報 銀塊及爲替 [illegible]

棉花 [illegible]

大阪株式 [illegible]

東京株式 [illegible]

大阪期米 [illegible]

東京期米 [illegible]

大阪綿糸 [illegible]

大阪棉花 [illegible]

神戸豆粕 [illegible]

横濱生糸 [illegible]

印度麻袋 [illegible]

夕刊 滿洲日報 七月十四日

北方聯合政府は八月初めに成立
主席は結局閻錫山氏

【北平十三日發電通】北方政府基礎母體たる中央黨部の成立に依り南京遷都以來沈み切つた北平に一道の光明を與へ恰もカンフル注射の効果あらんとしてゐる、但し擴大正式會議は汪精衞氏の來平を第一條件とするのでそれ迄懇談話會を開いて諸般の基礎準備を重ぬべく華やかな各派聯合政府の成立は八月初めの豫定である、而して政府主席は結局閻錫山氏に收まり汪精衞氏は黨務、軍事は馮氏に分擔さるゝものと見らる

政府樹立案協議
けふから三日に亘り

【北平十三日發電通】擴大會議開會式終了後出席各委員連名で汪精衞、閻錫山、馮玉祥、張學良その他各缺席委員に會議成立を告げ速かに來平して正式會議に參加せん事を乞ふ旨打電した、同時に各線各將士に對しても深甚なる慰勞の電報を發した、尚明日より三日間談話會を開き政府基礎問題を討議する筈で本日より十五日迄を記念日とし各戶に青天白日旗を揭揚せしむることゝなつた

兩軍戰ひ疲れて戰局は發展せず
西北軍追擊力無し

【天津特電十四日發】西北軍は隴海線の防禦に成功したが彈藥の缺乏に加ふるに周口、太康方面の南軍に牽制され、蔣介石氏を追擊する力なく鄭大章氏の騎兵隊をして徹底に活躍せしむる外土着の土匪軍を懷柔して南軍の後方を攪亂せしめてゐる、蔣介石氏は隴海線の正面に暫く現狀を維持し武漢方面から輸送した夏斗寅、金漢鼎、毛炳文等の各軍の主力を以て陳調元、馬鴻逵軍を援け津浦線から來た山西軍を一擧に擊滅する作戰を立てたものゝ如く頻りに準備を急いでゐる、山西軍は一部を韓復榘軍の爲め膠濟線へ向けてゐるので傅作義、李生達軍の兵力では兗州攻擊さへ困難視され若し南軍にしてこれを擊退せば戰局には意外な變化を來すものとしてこの方面の戰ひは非常に注目されてゐるが兩軍の勝敗は容易に決せず今や豫備隊までを動員してゐるのに徹し依然交綏狀態のまゝ何等かの發展を求めてゐるに過ぎない

膠濟沿線の邦人糧食缺乏に惱む
領事館に應急策陳情

【濟南十三日發電通】張店、周村居留の邦人は濟南總領事館に代表を送り膠濟鐵道の交通々信杜絕八日間に及び戰線近くの百餘名の邦人危機に瀕し糧食の殘り尠く御配慮を乞ふ旨を申し出た

罷業海關員復職要求
天津海關は强硬

【天津特電十三日發】天津稅關こベル氏は過般家族同伴上海へ引揚げたが氏と行動を共にした支那職員は漸く地位の不安を感じ復業を要求したがシンプソン氏は去月二十日の事件當時「三日以內に復業せざれば免職する」と布告した以上採用するとは出來ないと拒絕し同時に山西當局はこれ等職員を治安妨害罪で刑事處分に附せやうと致囲いてゐるが實際問題としては新に採用した海關員は事務不慣れのため稅關收入はその他の理由もあらうが大減收を來してゐるので閻錫山氏は葛監督と協議の上近くこれ等の罷業員で、就業を希望する者は試驗の上採用する方針を取るらしい

鐵道會議初顏合せ (九日首相官邸に開き仙石總裁も出席)

改組少壯派に諒解を求む

【北平特電十四日發】北平の中央黨部組織に關し汪精衞派の下級黨員就中青年間には右黨部に多少の疑惑を抱き擴大委員會が果して革命性を充分に表現してゐるかどうかと幹部に不滿の意を表示する向もある爲め陳公博氏らは近くこれ等の分子並びに大同盟、孫文主義學會、三民學社等の青年を招き今回の會議の結果を報告して諒解を求め擴大會議を一擧擁護するやう希望することになつてゐるが、たゞさへ汪派を共產黨視してゐる北方の黨外の人はこの下級黨員の動きに頗る注意を拂つてゐる

走馬燈
荻川

滿鐵(其十)

滿鐵が野戰時代を拔けて、其營業を始めし時を思ふと、露國の事業、之が侵略のものでありしだけ、思ひ切つて金を撒いた、滿鐵は之を繼ぐので、餘計な金も要る、それに滿洲當時の情態は、邦人を迎ふるとしては、餘りに天然的の慰安が薄かつた、餘りに社會的の恩惠が乏しかつた、それで從業員の給與にも、之を補はんとして、おのづから豐なるものなりしに相違なく、此點とて露國に眞似いた所もある。

◇

併し滿洲の世態が今日の如くに變ると、もうそれに及ばぬ、それで滿鐵は、一般の世態にも鑑み、亦滿洲の此世態に應じ、縮めるばかりではないが、經費の節約は、年から年にと、考へられもし行はれもしてゐる、之は斯うして進むのである、一たび定めた經費の節約ほど、困難なものはない、そこには漸進主義を採るべしで、唯其舞路が換はらねば好い、そうすると此頃のやうな世界的不景氣に會したとて、そりや經費節約とうろたへる要はない。

◇

そこで斯る漸進不斷の經費節約は、當に重役、幹部のみならず全從業員に此精神が徹底し居らねば駄目じやが、幸ひに之も次第に行屆けるが如く、過去從業員が、其自己に對する會社の施設待遇に不滿足を訴へ、局外からすると、此等從業員は、膏血で得た滿洲の特權を快樂に消費せんとするかの感も起りしが、現在にさることとなし、是れ自己の欲する施設待遇の整ひしにあらず、自然が之を夫に持つて來たと觀ねばなるまい、喜ばしからずや。

◇

さあこれからは事業への精進である、尤も過去とて決して事業に仕へ通いだものを、これまでに仕上げた功績は、充分に認めねばならぬが、それが順潮に乘り過ぎた、それで從業員に前記の我儘も起つたのか、されど滿鐵が世界的不景氣を觀ねばならず、常に此順潮に乘つて行けるとは考へられない、それには此頃の亦此不景氣も一時の變調と觀て濟まされようか、こゝで云ふは之を考へての、事業精進である

閻錫山氏はさらに郵政局乘取り計畫
蔣氏が遂に郵貯を軍費に流用
支那全く南北に分裂

【天津特電十四日發】凡ゆる北方の機關が反蔣派に收められ中華民國は完全に南北に分裂して了つたがたゞ一つ技術と國際關係から統一の下に事務を取扱つてゐるものに郵政局がある、長引く戰爭に追はれた蔣介石氏も漸く軍費に不足を告げたものか交通部をして北方各郵政局の郵便貯金を南京政府へ送らしめこれを軍費に流用し始めた、これを知つた閻錫山氏も大狼狽で窃に監視員を管理局に派し調査せしめてゐる、が近く天津海關と同一手段で南方派局員を罷免し反蔣派の手に乘取るべく目下準備を進めてゐるが實現の曉は完全に總ての機關が南北に分裂する次第だが事は國際郵便にも關係し又復面倒な問題が發生するであらうと注目されてゐる、一方郵便貯金を軍費に失敬するのは未曾有のことで蔣介石氏の亂暴さには各方面が呆れてゐるが氣の毒なのは支那の中產階級で零細な貯金が軍費にスツ飛んで了ひ果して拂戾しが出來るかどうか疑問となつたことである

兵力量御諮詢は一方だけで可い
岡田參議官車中談

【東京十四日發電通】大湊要港部特命檢閱を終へた岡田啓介大將は十四日午前七時上野驛着歸京したが車中左の如く語る

今日は財部海相と谷口軍令部長に會見するがそれは特命檢閱の事に關する打ち合せの爲めである、所謂四巨頭會議が今日あるかどうかは未だ聞いてゐない明日は午前中に葉山に赴きこの度の檢閱情況を上奏しその後宮中で軍事參議官の方々に報告する事になつてゐる數日間東京を留守にしてゐたので海軍に關する時局問題がどうなつてゐるか知らぬ、だから條約兵力量の御諮詢を元帥府に奏請するか軍事參議官に奏請するかは判らぬ右の中何れか一方に御諮詢すれば足り又何れでも差支へないと思ふ目下ロンドンに居る安保大將に財部海相が召電を發したかどうかは知らぬが時局が時局だから安保大將も急いで歸國する必要はあらう

陸海兩巨頭意見交換
兵力量問題で

【東京十四日發電通】谷口軍令部長は午前十時參謀本部に金谷參謀總長を訪問し海軍條約兵力量が陸軍にも關係するか否かにつき兩省の間に意見を交換し更に元帥會議軍事參議會に關し參謀總長の意見を聽し右會見の結果を齎し谷口部長は直ちに麴町の私邸に東鄕元帥を訪問した

四巨頭會議
けふ海相官邸で

【東京十四日發電通】財部、谷口、岡田、加藤四大將の第四次海軍巨頭會議は午後一時海相官邸に開會された

製鋼所問題もけふ一日で決定すまい
理事の增員說など信ぜられぬ
大平滿鐵副總裁談

木村氏の理事內定は事實だ、滿鐵本社にも內定の通知だけはあつた筈だと思つてる、正式任命の辭令は勿論歸朝後になる、伍堂十河兩氏の理事就任で缺員理事は全部の補充が出來滿鐵の

新陣容は 此處に全く整つた譯である、理事一名の增員說は自分にも判らぬが若し增員するとすれば十河氏任命と一しよに發表になつてもよさそうに思つたがその發表のないところを見ると總裁が專任の增員のお話でも持ち出されるやうになるかも知れぬ、然し自分には全然增員說など判らない

昭和製鋼所問題は今日東京で會議が開催されるが今日一日では決定することはあるまい、關稅問題が最も重大問題となつてゐるので敷地が鞍山か新義州かは何れにも豫想を許さない、總裁も決して鞍山を固持してゐられる譯ではない、

歸連期は 本月末の豫定であつたが矢張八月にならう、九月になると鐵道委員になつてゐるので九月上旬また上京されるかも知れぬがそれはまだハツキリ判らない、若し九月の上京がなければ目下業務調查委員會で審議してゐる給與改正問題を決定し大汽、滿洲ドツク、旅館會社其の他の滿鐵傍系會社を整理後沿線視察に出向かれることにならう、次長の部長昇進かそれも一二はあらう、新任理事の擔任部は十河氏が販賣、用度の部長、木村氏が交涉部長、伍堂氏が鞍山、撫順の部長に決定する

神鞭理事は經理部長專任

新任滿鐵理事十河信二氏は十四日附を以て販賣部長兼用度部長を命ぜられ同時に神鞭理事は右兩部長を免ぜられ經理部長專任となつた

木村公使歸朝の途に就く

【東京十四日發電通】滿鐵理事に內定せる木村チエコスロヴアキヤ公使は十二日發歸朝の途に就いた

東北政務委員大會

【奉天特電十四日發】東北政務委員會では十六日頃政務委員大會を開き左記諸事項につき協議をなす

一、國權回收問題
二、東三省地方自治機關回復問題
三、東北財政救濟問題
四、對露會議善後策

柳樹屯部隊送別會
廿二日彌生校で

柳樹屯駐在步兵第十九聯隊及び廿聯隊は愈々來る二十二日內地歸還に定まつたが大連市では同聯隊員の多年の勤勞を犒ふ意味で市役所主催、民政署、兩公議會、大連、滿日兩新聞社發起で來る十七日午後零時半から彌生高女講堂にて送別午餐會を開催するが會費は一圓五十錢、一般多數官民の來會を希望する

スターリン氏書記長に再選す
右翼派も支持を誓約

【モスコー十三日發電通】共產黨大會においてスターリン氏は再び共產黨書記長に選擧された斯くて氏はソウエート政府最高の職に就くだらうとの風說は實現されなかつた譯である尙右翼反對派の領袖ルイコフ、トムスキー、ブハーリンの三氏はその節を變改してスターリン氏支持を誓約した尙トムスキー氏は中央委員に再選された後中央委員會政治部員を辭したがルイコフ氏は依然政治部員に留まつてゐる【寫眞はスターリン氏】

歐洲の貴金屬類
從來よりも速く到着
小荷物の直通開始て

【ハルビン特電十三日發】第五回歐亞連絡會議にて小荷物の直通連絡が協定されたが東鐵商業部の發表によると

通過國家の稅關檢查は行はず發箱地點にて行ふとあり、若しこれが實現すれば大成功で日本と獨、佛歐洲との小荷物による取引は一層進展するだらう

とこれによると歐洲からの貴重品は僅に二週間でハルビンに到着しドイツの藥品及び衞生器具、貴金屬、フランスの貴重な香水の滿洲進出は今後一段の活躍振を示すだらうと期待されてゐる

松黑航行權交涉
專門委員會を設けて

【ハルビン特電十四日發】モスクワの露支正式會議に支那側は昨年の露支事件に赤露當局のために抑留された松花江航行の汽船返還問題を提案してゐるが、松黑航行權問題については本會議においては此問題に止め專門的細則交涉に關しては黑河道尹張壽增氏が代表となり黑河に露支專門委員會を組織し折衝中であるといはれ航權の解決案としてはソウエートの汽船が松花江上流ハルビンまで航行しこれによつて支那側東北汽船は露領アムール河によるニコラエフスク市に至る雙務的のものである幸ひ今回の會議によつて航行權が決定すれば赤旗を揭揚したソウエートの汽船がハルビンの埠頭に現はれるであらう

地方事務所異動
係長並びに社會主事

滿鐵は今回左の如く地方事務所係長及び社會主事の異動を行つた

本溪湖庶務係長 高根長男
總務部人事課勤務を命ず
長春地方係長 平尾康雄
炭礦部庶務課勤務を命ず
安東勸業係長 門間堅一
奉天地事勸業係長を命ず
鞍山勸業係長 阿比留乾一
安東地事勸業係長を命ず
瓦房店經理係長 鈴木七八
鞍山地事庶務係長兼經理係長を命ず
鞍山經理係長 足立三郎
瓦房店地事經理係長を命ず
炭礦部庶務課勤務 竹中學文字
長春地事地方係長を命ず
遼陽地方係長 石岡武
地方部庶務課勤務を命ず
地方部地方課 中村俊夫
遼陽地事地方係長を命ず
安東社會主事 山本憲一
本溪湖地事庶務係長を命ず
營口地方係長 蒲生演二
地方部地方課勤務を命ず
鐵嶺庶務係長 山內敏二
營口地事地方係長を命ず
長春社會主事 久永重男
鐵嶺地事社會主事を命ず
公主嶺社會主事 澁谷彌五郎
長春地事社會主事を命ず
公主嶺庶務係長 片岡榮
社會主事兼務を命ず

諸名士を乘せてけふ香港丸船出
見送りて賑つた埠頭

十四日出帆の香港丸――內閣資源局長官宇佐美勝夫氏一行、拓務次官小坂順造氏の一行、それに滿洲には馴染深い前滿鐵理事小日山直登氏の一家、この日埠頭はこれらの大官連を送るもので滿され、滿鐵より大平副總裁を初め部課長、關東廳より中谷警務、三浦內務兩局長を初め各課長連並びに神田民政署長、田中市長等々、これに谷夫人連の華やかな色彩を添へ殊に小日山氏を送るべく滿洲青年聯盟代表が聯盟旗を振りかざして別れを惜んでゐるのは目をひいた

在滿中の交情感謝
小日山直登氏談

滿洲は非常になつかしい土地でした、昭和二年の初秋理事に任命され爾來鐵道運輸方面の仕事を見て來ましたが在任中大過なかつた事をよろこびます、とりあへず鄕里に歸りますが何れ上京するつもりでゐます、在滿中の皆樣の御厚を意深謝する旨を皆樣にお傳へ下さい

貰い資料を多く獲た
長官次官語る

宇佐美資源局長官並に小坂拓務次官は共に一緒に歸る事になつたが時節柄今度の旅行は非常に有望であつて在滿人の抱負だとか、意見をあらゆる方面から聽取る事が出來たのをよろこんでゐる歸つたら早速報告するが貴紙を通じ滯滿中の御好誼を謝す

滿鐵社員會の幹事長選擧

滿鐵社員會は既に保々幹事長が辭任したので新幹事長選擧を行ふこととなり十四日各支部に選擧用紙を發送したので來る二十五日までに本部市川選擧長の手許に屆くやう郵送して貰ひたいと

貨物主任會議

滿鐵々道部では八月十五、六兩日第六回貨物主任者會議を本部において開催するが各所からの提出議案は明十五日までに本部へ取纏める筈

鎭守府用地檢閱

佐世保鎭守府司令長官は同鎭守府管轄用地定期檢閱のため八月中旬來連すると

人事

▲宇佐美勝夫氏(內閣資源局長官) 十四日出帆香港丸で內地へ
▲堀三也氏 同上
▲植村甲午郎氏 同上
▲小坂順造氏(拓務次官) 同上
▲市村信宏氏(同屬) 同上
▲高橋進太郎氏(同上) 同上
▲稻田周一氏(事務員) 同上
▲小日山直登氏(前滿鐵理事) 同上

大觀小觀

◇デヴイスカツプ歐洲ゾーン戰、敗れたりと雖も決勝戰まで頑張つた太田、國民の名において謝す。

◇共產黨大會でスターリン書記長に再選、鐵腕いよ〳〵冴ゆ。

◇北方聯合政府、八月初旬成立說、聯合卽烏合にならぬやうに。

◇北平、昔の首都氣分甦へる。まだ天下分目の戰ひ了らぬに、聊か氣が早い。

◇閻蔣兩氏、民衆の零細な郵便貯金までも、軍費に流用せんとす、それでは三民主義が泣かう。

天氣豫報

十五日(南の風)晴後曇

各地溫度	十一時	昨日最高
大連	二七・八	三一・三
旅順	二七・八	二九・八
營口	三一・一	三〇・五
奉天	三〇・〇	三一・三
長春	二八・九	三一・六

滿潮 午前零時五分 午後零時三十分
干潮 午後五時四十五分 午後七時十分

盂蘭盆の夜眠る愛兒を絞殺して母子の心中
早く來て下さいと夫へ遺書
山縣通の家庭悲劇

盂蘭盆の夜、スヤく眠る愛兒を絞殺し「あなたも早く來て下さい」……と斷ち切れぬ夫への思慕の情を書き置いて劇藥自殺を遂げた人妻があつた——十四日午前四時ごろ市內山縣通四六番地共保生命保險株式會社大連支店の集金人豬田喜代太郎（五〇）の內縁の妻平田タシヨ（三五）は社宅奧四疊半でスヤスヤ眠る庶子保（五つ）の頸部に木綿布を卷つけて絞殺し、枕頭に香を焚いて愛兒の冥福を祈つてから、自分はリゾール一瓶を嚥下、自殺を企て苦悶してゐるを午前五時十五分直宿から歸宅した夫喜代太郎が發見し、部屋に馳込んで見れば妻の横に愛兒保が冷たきむくろとなつてゐるのに二度吃驚、子煩惱の喜代太郎は保を抱えて山縣通今井小兒科醫院に馳けつけ應急手當を加へたが既に死後三時間を經過してをり施す術もなかつた、一方苦悶中のタシヨは大連醫院收容、手當を加へたが今朝六時絶命した

夫婦喧嘩で前夜に別れ話
母親はリゾール嚥下

急報により大連署藤井司法主任は香取警察醫を伴ひ現場に急行、池內檢察官立會ひの下に檢視を遂げた、喜代太郎とタシヨは大正十二年青島で內縁關係を結び十三年七月來連、共保生命大連支店の小使に雇はれ最近集金人を兼ねてゐたが、タシヨは極度のヒステリーで家庭には風波の絶え間がなかつた事件の前夜も夫婦喧嘩を初め妻から別れ話を持ちかけたが喜代太郎は妻を宥めて寢かし午後九時三十分ごろ會社の宿直で家を出た、午前四時頃タシヨは寢られぬ儘に起きたり立つたり、いつそ愛兒を道連れに死を覺悟し、拙き鉛筆の走書きで

お先に參ります、お墓をとつて置きます、あなたも早く來て下さい、保はつれてゆきます（原文後略）

と夫に宛て遺書を殘し保を絞殺してから劇藥リゾールを嚥下したものらしく、直接原因はヒステリーと見られてゐるが裏面には相當混み入つた事情があるらしい

支店長宅の貰ひ風呂で指輪が紛失し嫌疑
悲劇の裏に潜む哀話

我子を道連れ自殺を圖つた家庭悲劇の裏面に潜む哀話——事件の直接原因は極度のヒステリーから發作的兇行と見られてゐるが、探聞するに今から二ヶ月前、タシヨは日頃から貰ひ風呂にゆく支店長の家で夫人の指輪が風呂場で紛失したことがあり、その際盗んだ者はタシヨといふことになつて支店長夫人との間に面白からぬ感情が漲れ初め、最近では口も利かぬ不仲となつてゐた、當時嫌疑をかけられたタシヨは「貧乏だと思つて人を馬鹿にする」と憤慨し以來ヒステリーが昂じたが、夫喜代太郎は支店長夫人と妻とが口も利かぬ不仲であることが自分の立場上困るからと妻に對し反省を促してゐたが、それが原因で一層家庭は險惡な空氣に滿されてゐた、更に驕慢せるタシヨは老年の夫に對し性的不滿を感じヒステリーは募る一方であつたところ十三日夜の夫婦喧嘩でカツとなり斯る家庭悲劇を惹き起したものである

十日ほど前から恐ろしい形相
ヒステリーが昂じて兇行か
精神病系を苦にした

兇行の演ぜられた山縣通り四十六共保生命保險會社支店に豬田千代太郎氏方を訪へば混雜に取りまぎれて豬田は留守坂本支店長は語る

豬田は當支店傭人として六年餘も實直に勤續し、最近は特別手當として月給外に十七、八圓の別收入もあり生活苦と云ふ樣な事は考へられません、豬田の妻女は强度の近眼の上に、ヒステリーが昂じ、十日程前から眦が吊り上つて一見普通人とは思はれない形相で、本人は常に精神病の系統があるから厭だくと口癖に云つて居ました、兇行の前夜はヒドク氣分が良さそうで殺された保さんを連れて私方の湯へ入りスツカリはしやいで居たのでコンナ事にならうとは思ひませんでした

母子心中のあつた山縣通の慘劇の家

現職巡査の詐欺事件
起訴公判へ

現職巡査が滿中にあつて關東廳高官の名を騙り僞造ペンゾリンで五萬餘圓の詐欺を働いた新納豐壽一味は大連地方法院檢察局高井檢察官係で取調中のところ十四日左の四名で起訴公判に廻された

天津在住齒科技工　新納豐壽
詐欺、麻醉劑取締規則違反　旅順在住元看守　中谷由松
同罪名　旅順在住元旅順署巡査　塚田治七
同　大連在住自轉車修繕業　山內金衛
麻醉劑取締規則違反　天津在住齒科醫師　池上粂治
同

三歳で富士登山

【御殿場十四日發電通】靜岡縣大宮町旅館梅月の長男登（三）は十三日母のキエ子さん等と富士登山御鉢廻りをなして下山したが、富士始まつて以來の最年少レコードである

中南米酷暑
百度を越し死亡者百名

【ニューヨーク十三日發電通】一週間前からアメリカの南部中部を惱ましてゐた酷暑は死者百名を出すに至つたミゾリー州では華氏百二十二度に達する處あり其の他も百度に超ゆる處非常に多く從つて農作物の被害甚大であるアイオワ州では一千の牛が暑さの爲めに斃れた外牛馬の斃れるものが非常に夥しいカンサス州の農家では日中野良仕事を休み夜になつてから麥の收穫を遣つてゐる

魔の山東高角沖合で又も汽船衝突沈沒
今曉濃霧中松浦汽船の廣發丸

ノルエー汽船のダムプト號沈沒の報がまだ耳新らしい折柄又々十四日未明、魔の航路、山東高角と南鳥角において當地置籍船松浦静雄所有の廣發丸が英國汽船と濃霧中にて衝突、廣發丸は不幸沈沒の厄に遇ひ乘組員中コツク一名の生命を失ひさらぬだにガス中の航行の危險を繰り返し航海業者の神經は針の如く尖鋭化し各船會社にても警戒に努めてゐる

第一報
相手は英船

十四日午前四時十五分當地無線電信所への入報によると大連加賀町三十番地松浦汽船會社所有廣發丸（千七百七十四噸六四、船長石井榮氏）が威海衛にて鹽二千五百噸を積込み十三日午後十一時同港を拔錨釜山へ向つたが折柄ガスシーズンの事とて山東角一帶は濃度の霧に襲はれなやまされつゝ航行中上海より威海衛に向け航行中であつた英國汽船バタフールド船會社所有太沽洋行扱エネアース號（船長ウオーレス氏）と稱する一萬五十八噸の船と北緯卅七度十八分東經百卅二度五十一分、即ちさきに奉天丸、ダムプト號の衝突箇所附近において打つかり廣發丸は濃霧中瞬間に沈沒した

第二報

同じく午前中に入つた第二報によると廣發丸乘組員中コツク一名（氏名不詳）は行方不明となりその他は全部救助されしかして廣發丸は全く船體を沒してしまつたと

乘組員は救助さる
威海衛に入港

英船エネアースにては直ちに廣發丸船員を救助に努力を拂ひ乘組員船長初め四十一名を救ひあげ取敢ず威海衛に向ひ十四日午前九時威海衛に到着したと

保險金は十萬圓
松浦汽船談

松浦汽船廣發丸はさきに阿片船として問題を惹起したものでその方では有名な船であるが、加賀町松浦汽船では社員加藤氏は悲痛な面持で語る

私の方は今朝七時に無電局から通知を受けましたあの船は一昨々年ブラジルから購入した船で保險は帝國海上に十萬圓掛けてあります、今も保險會社にそう通知をしておいたところです、何だか一名死んだ樣に知らせがあつたが氣の毒でなりません、名前も判明しないが只コツクとある丈けですから多分支那人だと思ひますが何れにしても困つたものです、多分明日大連入港の船で威海衛から皆來連するものと思ひますが本社ではその上でよく當時の事情を調査しやうと思つてゐます乘組員は石井船長初め高級船員七名支那人三十五名だつたと記憶してゐます

霧笛信號を頼つて集り椿事
何とか對策を講究する
岡本海務局長談

再度同樣事故の突發に當地海務局においても年來緊張してゐるが、岡本海務局長に今後の當局の方針を尋ねると

矢張り原因はガスらしいですね、どうもあそこは各地から來る船が自分の船の位置を知らうと山東角の霧笛信號を頼りに集つてくるので非常に危險視されてゐるところです、從つて常に同じ樣な場合同じ樣な事故が生じるのです、當局でも奉天丸の事件後各船會社燈臺等に注意はしておいたが何分ガスの中の事でどうも出來なかつたんでせう、これも木村理事の手で調査の上やがて海事審判に廻されるでせうが乘組員が來連したら取敢ず當時の事情を聽取する事となるでせう、大體あそこの燈臺は支那の交通部の主管するもので支那のものとしては評判の好い方だつたのです、まあ今後も何か霧中における適當な對策を講ぜねばなりますまい

新興の意氣あがる
全滿鐵體育ボール大會
八月廿四日に奉天で本社主催
大會規定發表さる

本社主催滿鐵體育係主管の全滿鐵體育ボール大會の第一度報ぜらるゝや各課所等に於て同大會目指しての猛練習を開始して居たが、折惡しくも滿鐵職制改革に依り社員異動多く練習中のチームも分離するの狀態となつた本社は體育係も交涉の結果新組織のチームの練習の便をはかるためすでに發表の大會期日七月二十日を八月二十四日に變更し同時に左記大會規定を發表することになつた

▲期日　八月二十四日午前八時半
▲場所　奉天（コートは追て發表）
▲出場資格　滿鐵社員
▲チーム組織の制限は左の如し
▲總務部、計畫部、交涉部、經理部、炭礦部、工事部、用度部は各課所單位
▲鐵道部は各課、所、場、輸送係驛、檢車列車機關保線保安の各區埠頭は各係別大連甘井子埠頭鐵道工場は係場別單位
▲製鐵販賣部は各課單位
▲殖產部は各課所場館別單位
▲地方部は課、所醫院各學校（たゞし學生々徒はのぞく）圖書館研究所別單位
▲出場チーム制限なし（男女混合男女別のチームをも認むたゞし同一人で二チームに出場することを許さず）
▲申込方法　出場チーム名及び選手名を明記の上代表者名により滿洲日報事業部宛八月十五日までに申込みのこと
▲旅費滯在費一切自辨
▲試合方法　出場チームを數組に分け各組四回以上宛のゲームを行ひ勝者を定む
▲使用ルール　體育係發表體育ホールルール使用
▲注意　不明の箇所は本社運動會に問合せられたし

單葉飛行機で大圏コースへ
ブ中尉の太平洋横斷

【タコマ十二日發電通】再三のタコマ、東京間太平洋横斷飛行計畫の失敗にも屈せず着々第四回目の飛行準備中であつたハロルド、ブロムレー中尉は新單葉飛行機にて加州ロスアンゼルス附近のグレンデール飛行場から横斷飛行の出發點たる當タコマに無着陸飛行にて今十二日夜到着した、新機はロスアンゼルスよりの飛行中も極めて良好な成績を示したが尚發動機を馴らす必要あるため十三日より試驗飛行を行ふ筈である、ブロムレー中尉は横斷飛行のコースに關し次の如く語つた

タコマより東京への太平洋横斷コースとして余は大圏コースを採る筈で先づアリユーシヤン群島の北を掠め次でアツー島附近より南下して太平洋上に出づる計畫で此の飛行距離は四千七百七十九哩である

因にブロムレー中尉と太平洋横斷一番乘競爭者ロバート、ワーク氏はブ中尉を迎へ挨拶を交換した

葉山海岸で御水泳
御避暑中の聖上陛下

【東京十四日發電通】葉山に御避暑中の天皇、皇后兩陛下には連日の炎暑に拘らず御機嫌殊の外麗しく十三日の日曜には午前十時半照宮樣御同伴海岸に出でさせ長者ヶ崎からモーターボートにて森戸沖の鯖島に成らせられ三時間に亘り島內御巡覽の上海草類を御採集遊ばされ午後一時四十分御歸還あらせられたが、更に聖上陛下は一時五十五分御水着を召され二時半迄御水泳を遊ばされた

三對二の成績でイタリーに敗る
デ盃歐洲ゾーン決勝戰

【東京特電十四日發】日本對イタリー、デビス、カツプ歐洲ゾーン決勝戰最終日のシングルス試合は十三日イタリーゼノアで開始された先づ原田は輕くステフアニをストレートで一蹴して二對二の同點となり愈々最後の勝敗を決する太田對モルプルゴ戰に移つたが、太田は日頃の當り出でず慘敗し、歐洲ゾーンの聯繋は遂に三對二の成績で伊太利の得るところとなつた、かくて伊太利はアメリカゾーンの優勝者アメリカ合衆國と對戰する權利を得た

試合經過

原田　六―二、七―五、七―五　ステフアニ
モルプルゴ　六―〇、六―二、六―一　太田

△原田對ステフアニ　今日の原田の試合振は實に目覺ましいものであつた、夏の炎天を物ともせず集まつた六千の觀衆は彼の鮮やかなプレーに魅せられてしまつた、原田のショットは自由自在な變化に富みベースラインを衝く深いドライブでステフアニをしてコーナーからコーナーへ走らせ應酬に暇なからしめた驚嘆すべき球速により、ステフアニの弱いサービスを返し、しばく得點した、またネツトワークにても遙かに敵を凌ぎ遂にストレートで敵を破る（總得點原田百二十一、ステフアニ百二）

△モルプルゴ對太田　太田いつもの調子全く出ず、ベツクコートのプレーヤーとして有名なモルプルゴに對し全く試合を變化せしむることが出來なかつた、老巧なるモルプルゴは正確堅實なプレーで太田のミスを待つ消極的作戰に出で、太田のドライブはすぐれてゐたがネツトやアウト多く自滅した（總得點モルプルゴ九五、太田五八）

自動自轉車穴へ轉落
瀕死の重傷

市內山縣通り三一六田中有二（二三）は十三日午後八時半ごろオートバイにて星ヶ浦より歸途旅大道路富士根橋東端で約二間の深さに掘下げてゐる警戒線を突破してオートバイ諸共眞逆樣に其穴の中に轉落し頭骨を折り、その他全身に負傷を負ひ直ちに鷹澤醫院に收容したが生命危篤

藝妓の逃亡

市內平和街六五番地料理店數馬樓抱へ藝妓八千代こと芝山ユキエ（一八）は十二日午前十時ごろ外出したまゝ行方不明となつたが、ユキエは最近まで奉天にて稼業してをり當時の情夫と共に逃走した形跡があるので十四日樓主より小崗子署へ搜査願を出した

大連神社月次祭

十五日の大連神社の月次祭には氏子代參當番町薩摩町區の氏子役員等參列の上午前十時より月次祭典を執行する

艶色生膽秘譚 (172)

伊藤松雄作　河原塚龜太郎畫

哀別(八)

内濠の石垣下へぴつたりと吸ひついた三つの人影。

云はずと知れた左近、亮之助、三藏、その肩口には猿の太夫がチョコナンとうづくまつてゐる。いづれも合羽樣のものをぬぎすてると下は水着の輕快なる姿。

「ではよいか」

亮之助は得意の潜術身體に捲きつけた太綱を、まづ對岸の石垣へ縛びつける大役。

「氣をつけてまいれよ」

「心得た」

言葉が終るか終らぬ間である。臓腑いつぱいに氣を吸ひこむと、音もなくスーッと水面から沒し去つた。滿々と湛へた濠水些のゆらぎも見せぬに、その底を鯉魚の如く泳ぎゆく、これが潜術、對岸に達すれば身體を垂直にして浮身となり掌先より始めておもむろに首から肩先を水上に現ずる。

フーッと藍息一時に洩らして亮之助、背から脇腹へかけて廻した太綱を石垣の中途に根を張つた老松の幹へ結びつけた。

ピンと張られた太綱、それをたぐるが如く傳つて、正に水面へ浸れんとする邊を三藏は火藥袋を背に負ひ猿の太夫を左手の肘にかいきスル／＼と渡る。

左近は縮める脚に臨身を感じてか、後備へとなつて警めの眼を見張る。

對岸へわたつた三藏、うかつに居は利けぬから手眞似で用を足す樣子。

亮之助は肯いた。

「時刻こそよけれ！」

警備役人がひき鳴らしゆく金棒の音、遠く去つたをキッカケに老松の枝張つた幹股から猿の太夫に示したは天守の大やぐら。

太夫はうなづくと火藥袋を攫んでいつもの如くパッと地上へおりたつや暗の夜空めがけてスル／＼と登つていつた。

「はてうまくいつてくれゝばよいがなア！」

左近はぢいつと眼を据へたが眼野に入りくる影だに攫めぬいらだたしさ。

「待つ身になると長いものよ喃、まだかな」

ひとり呟いてゐる。

と、この間に三度四度やぐらの要所へ火藥袋を運び終つた太夫は導火線を一つ所に集め納めた三藏の肩へヒロイと攫まつたが、何思ひけん、またもや肩先はなれてスル／＼と石垣づたひその姿を消した。

「あッ、これ！」

うつかり聲を出しかけてハッとした三藏、

「えゝ、お前や五重塔たアちいつと譯がちがつてゐたつけ、冗談ぢやアねえ」

から思つて亮之助を顧みれば、手眞似で急いでゐるらしい。

「心得たり」

そつとかくしもつた火打道具。

「カチリ、カチリ」

忍びやかにうつたが、恰らこの大事を城中へ報せの鐘でもつくやうな心持。

「太夫めどうしおつたか」

邊りを見廻しても戻つてくる氣配はない。

「えゝ、まゝよ、不愍だが仕方アねえ」

思ひきつた三藏パッと導火線へ火を點ずると、シュクシュッと鳴るを見定め、パッと身をひるがへして老松の幹をはなれた。

「では三藏よいか」

亮之助は再び水中ふかく沒し去つた。

再び潜術で戻るつもりであらう三藏は太綱わたつてもとの岸へ……

やつと辿りついた瞬間である。はや亮之助は水着の上へ合羽をはおつてゐた。

「あゝ太夫めが……」

「や、太夫はどうした」

左近までが氣が氣でない。

併しいまや正に導火線をつたふ火は大やぐらの屋根をめがけてスル／＼とのぼつてゆく……。

河部五郎觀劇大會

「艶色生膽秘譚」五場上演

來る十八日から歌舞伎座で開演

主催　滿洲日報社

本社劇を中心に河部五郎の實演

神戸を打揚げて明日乘船

十八日初日で開演

河部五郎來るの報一度び本紙に傳へらるゝや忽ちにして旅大ファンの間に白熱的前人氣の焦點となり渇仰禮讃の聲漲溢し當地劇壇今春以來稀有の好前況を以て期待されつゝあるが、一座は愈々現に公演中の神戸市の興行を[illegible]打揚げ十五日神戸出帆はる[illegible]丸に乘船十八日來連の上即日歌舞伎座に蓋をあける事となつたが上演狂言の内一部の變更を見て本社劇艶色生膽秘譚を中心として總ての配役場割等の編成替を見たが、何れも大衆演劇の急先鋒を躍進する河部五郎の得意の初陣壇上に相應しき一目見たゞけにヒヤリとする[illegible]

キネマと演藝

山の王者

◇巨匠エルンスト・ルビッチ監督の手に成ると云ふことゝ、勿論、パリモアへの興味は、ドイツの名花カミラホルンとメキシコで見出されたモナリコの二女優とが、何れだけの働きを爲してゐるかに期待がかゝる。愛し合ひ乍らふとした誤解から、愛し得ぬ者とそれ／＼結婚した男女が、幾月かを忍從の生活に送るが遂に忍び得ずして不義の名の下に村人に追はれ乍ら、白皚々たる山路をたどり雪崩の中に抱き合つて死すと云ふ、原名「永遠の愛」の示すが如きストーリーの映畫

◇ルビッチは山の神秘と、其の山に生る王者と、彼に配するに聖女の如き愛人、惡魔の如き女、心弱き惡人の男等を出現させ、神と惡魔、自然と人との爭ひを、しかも彼一流の思ひ切つた、新しいエロチシズムの筆法で美しく描き上げてゐる。雪を頂く險崖、山中の孤村を描くキャメラもるみを持つて美しい

◇パリモアは……フランソワ・パイロンの彼を再び見るやうな氣がする。潑剌として酒を呑み、輕々ととび歩き、目に涙を宿し……名畫「吾れ若し王者なりせば」を思ひ出す。カミラ、ホルンの戀人はスイス娘らしい氣品と思ひつめての熱情とを特有のドイツ娘の濃い線で見せる。又バンプ役のモナリコもメキシコ人であり乍らデル・リオとは又變つた魅力を見せてゐる。其の他ヴイクター・ノヴアルマンも助演してゐるが、パリモアと一騎討の演技では格段の相違をはつきり見せつけられる

◇……物語りは雪の山脈を背景に雄大なところを見せ、ラストは大がかりな雪崩に終つてゐる。輕いタッチで描かれてゐる感銘深い戀愛哀話であるから時節柄すゞしく快く見られる映畫である【帝國館上映中】

る凉味と興味の渦巻く大旋風的名篇評りで斯界の第一線上に多大の賞讃を博して全國のファンを熱狂せしめたものである【寫眞は河部五郎の妙法院勘八】

軍師の小笠原ライオン、俺は何も知らぬといふ尻から▲橘天狗が來たらと實館で意氣込んでゐるから却々面白いよと矢張り軍師だけある▲帝國館はけふから愈々ジョンバリの「山の王者」をあげるが▲引續き館員總動員奉仕週間で割引券を出して「山の王者」を三十錢で見せるなんて夏枯とは言へ大英斷である▲大日活に近くパ社トーキー「躍る人生」が上映されるらしい▲常盤座は次週コーリン・ムアの「ライラック、タイム」を發聲版で上映する▲浪速町の納凉園でジンタ、連鎖商店の納凉園で比律賓人のジャズ▲河部五郎一座の道具師が明日のあめりか丸で來連▲花柳界をはじめ映畫ファン、愛劇家の期待裡に愈々開演の日が近づいた

大連棋院臨時稽古碁戰

四段　都賀米子女史

五子　鳴尾直人氏

一二三四五六七八九十十一十二十三十四十五十六十七十八十九

イロハニホヘトチリヌルヲワカヨタレソツ

○一四一ヌ一　○一四五ツ五　○一四九カ九　○一五三タ七　○一五七ソ十四

●一四二チ二　●一四六ソ三　●一五〇チ十　●一五四レ五　●一五八リ十八

○一四三ツ四　○一四七ワ九　○一五一ト十　○一五五ソ七　○一五九リ十七

●一四四ツ三　●一四八ワ十　●一五二タ六　●一五六ヘ十九　●一六〇チ十九

—【8】—

ラヂオ

大連 JQAK

七月十五日午後七時三十分

▲ラヂオ體操

▲支那語講座(初等科第六課)滿鐵學務課秩父固太郎

▲講話(カルトン及ドウナツ製造法)山城惠照

▲ピアノトリオ(一)カンゾネツタ　チマイコフスキー作(二)ボレロ　モスコウスキー作ヤマトホテル管絃團ピアノ木村遼次ヴアイオリン岩崎寛セロスカルスキー

▲清元(助六)(唄)多波羅(三味線)清元延榮龍(上調子)多波羅夫人

▲支那劇(鳥盆計)連東倶樂部々員

▲料理獻立

▲天氣豫報

東京 JOAK

七月十五日午後六時二十五分

▲趣味講座(シャーロツクホルムスの作者)江戸川亂歩

▲散歩レヴユウ(東京をめぐる)(序曲)和洋合奏(鈴鳥森)新内鰻娘昔八丈(日黒)清元比翼塚(代々木)洋樂備寫曲觀兵式(新宿)常磐津白糸主水(高田の馬場)映畫物語堀部安兵衛(飛鳥山)浪花節慶安太平記(千住)義太夫お静禮三(隅田川)長唄都鳥(砂町)還色四谷怪談(終曲)洋樂(出演者)富士松富士照、清元美都枝(同三和次)常磐津文字理喜、其社中、鈴木梅聽、吉川歌燕、竹本綾洲、豐澤團聽、岡安茂登、其社中、櫻川長壽、其他合奏音樂(司會者)德川夢聲

日滿貿易振興策と見本市批判會

十日 本社主催で開催

（一）

生産、交換、消費の各過程を通じ所謂合理化運動より國民經濟建直しへの緊要が今日ほど強く輿論化され今日ほど具體化されたことはない、この秋に當り日滿貿易の取引改善を大眼目とする綜合滿洲大見本市が生れたことは滿洲經濟史上極めて意義のあることである、滿洲見本市の發達を冀ふが故にこの機會に我社においてこれが批判乃至は日滿貿易振興策につき關係有力方面の隔意なき所見を聽き、汎く紹介することは時宜を得たものと信ずる、かくて十日午後ヤマトホテルにおいて本社主催の「日滿貿易振興策と滿洲見本市批判會」を開催したが、會々同日午前中、團長會議を開かれたゝめ各團長とも殘務整務に急迫され所期の如く出席を得なかつた、萬障を繰合せて出席の榮を得た下記各位に謝意を表すると共に記者が接した缺席者中數氏の意見をも併せて紹介することを諒とせられたい（缺席者の意見は姓氏に圏點を附す）

出席者 △主催者及後援者より神成（聯合會）蒔田（同）石塚（民政署）小川（滿鐵）篠崎（商議）山口（郵船）岡崎（國際）須賀川（商船）

△各地團長側より　鶴田（大連）玉林（奉天）鳴尻（同）宮田（旅順）早瀬（遼陽）坂本（鞍山）中村（安東）久米（長春）横田（哈爾賓）堀井（吉林）小林（大石橋）佐々木（營口）中原（撫順）下山（鐵嶺）小松（公主嶺）津下（青島）由解（大阪）高柳本社長、佐藤同編輯局長、鵜木廣告部長、經濟部員

高柳（本社）　滿洲における從來の箇別的見本市が滿洲見本市の名において綜合統制され、その將來を大いに期待されることは多年の要望が達成された譯でお喜びに堪えない、そこで關係各位にお集りを願つて御高見を拜聽するつもりであつたが連日不眠不休の活動で御疲れのことであるし、それに午前中の團長會議でも見本市につき種々お打合せがあつた模樣であるから、それらと重複する煩を避け、聊かなりとも御意見をお洩らし願つて汎く紹介したい

佐藤（本社）（進行掛に推され）豫じめ差上げたプログラムによらず簡單に御意見なり御希望なりを拜聽したい

山口（郵船）　滿洲見本市が商品の紹介により日滿貿易上貢獻するところ少くないのを信じて疑はぬ、昨日の報告會にて承るところによれば約定金額においては餘り期待をかけられぬやうだが件數においては頗る盛況多數に上つたとのことであるからこれだけでも既に十分目的を達したものと思ふ、即ち今回は固より回を重ねるに從ひ、優秀な日本商品の紹介が行はれるのは極めて意義のあることで、我々海運業に從事するものも運賃の低減が見本市の發達を多少でも資くるところあればこれにつき考慮を拂ふのを惜まない、次に今回の見本市を參觀するに取引者以外のものが多數入場してゐるのは如何なものかと思つた、一面に於て豫期しなかつた優秀な國産品が外國品より餘程安く見せられるのは門外漢の見地を廣めることゝなり結構なことであるが、見本市の本質から見て取引人以外を入れないのと一般教育とは兩立しないのであるからこの點を充分研究して兩者の目的とも達するやう對策を講じたいものである、最後に見本市の宣傳ビラや廣告を見るに日本文式のものが少くなかつた、これは相談所如きものを設けて安く又は無料で文案を作らせてはどうかと思ふ、また日本の廣告やレッテル類は最近大いに進歩し、英語、支那語初めその他の外國語の印刷や圖案でも外國に遜色ないものが出來るのであるから商議や文化協會、滿日社あたりで支那人の專門家を囑託すればリファインされたものが出來るであらう

横田（哈爾賓）　見本市の効果について述ぶれば僅かの會期間に成立した表面の取引件數や金高により成績を云々するのは早計である、我々は關係方面の參加者に對しても商品を研究し、取引方法を改善することを主眼とされたいと豫じめ希望した次第であつて、安いから一時的の取引をするといふのでは何にもならぬ、永久的のよりよき取引關係を結ぶところに金でかへられぬ利益があるのを忘れてならない賣手、買手側とも中には餘り約定が成立した向が少くないがこの意味における無形の收穫は見逃せないと信ずる

津下（青島）（青島の經濟事情を縷述して見本市批判に入らんとしたが時間の都合上主催者より簡單にと希望したので本論に入らず中止された）

夾雜物程度檢査九月から實施す

落花生、棉實は除外　けふも協議會續行

搾油原料の取引條件を統一すべき内地側代表と當地委員との聯合協議會は十二日午後における第三日の會議を以て所期の目的を達し無事終了を告げた、第一日の會議では内地側と滿洲側とは各々その立場上利害相反して容易に意見の一致を見ず相當難色があり、此の儘に進めば果して所期の協定を成立し得べき多大の疑問があつたが、第二日に於て双方互讓的態度を以て折衝し各自の意見を尊重して茲に妥協案を成立せしめ、第三日は之が附帶事項を纏めることにより辛うじて協定を見るに至つたものである從つて今十四日は右協定案の字句を修正し關係者の調印を求めることゝなつた、而して協定事項の主要問題であつた蘇子、大麻子、小麻子等の夾雜物の程度檢査は來る九月の新穀出廻り期から

釐金税の撤廢準備着々進捗す

各省の責任者上海に參集　種々折衝を重ね

（下）

◇……乙、特種消費税改辦の原則……◇

イ、國貨に屬するもの

一、釐金撤廢により特税消費税と改めるものはその税率は現在の税率より高率たるべからず、但し奢侈品はこの限りにあらず

ロ、特種消費税に收める時努めて節々卡を設ぐるを避け又重徴留難等の弊を重ねるを得ず

ハ、特種消費税の徴收方法は財政當局により先づ實業團體の意見を徴す

ニ、若し奬勵或は保育の必要ある物品は財政、工商兩部が實業團體代表と協議し別に奬勵保育方法を規定す

ホ、國民生活日常の必要品、即ち米麥、土布、木炭等は免税とすべし

ヘ、農業用肥料も免税とすべし

ト、農業所用の各種機械も免税とすべし

チ、機械製品は免税とすべし

リ、教育用品及文化發揚品は免税とすべし

ヌ、生産高多からざる諸雜品は投税とすべし

二、外國品に屬するもの

イ、關税自主前、國貨税貨物と同樣の物品は日本の例に倣つて海陸新關輸入税を課し且つ消費税を徴す

ロ、關税自主後、一物一税の制度に倣ひ一税を徴收後は更に課税せず、或は前項の方法に照して臨時酌定す

◇……丙、特種消費税改辦の種類……◇

一、財政部によつて舉辦する消費税三種

イ、糧類税

ロ、織物税

ハ、出廠税

まづ麵粉より始め次いで生糸綿糸の三税に及ぶ、右三税を舉辦する際は財政部より省財政廳に通告し劃分を商定すその元來財政廳により釐金範圍内において徴收するものはその實數を調査し財政廳に照會す、この三種中の某種が財政部において未だ舉辦せざる以前にあつては各省財政廳に代辦を委託するを得、その歸納の生糸、綿糸出廠税は織物税を納入の際その税票で抵補するを得

二、左記各種税中の若干種は財政部により暫時各省財政廳特種消費税の舉辦を委託す

イ、油類　ロ、茶類　ハ、紙　ニ、錫箔　ホ、海產物　ヘ、木植　ト、陶磁器　チ、牲畜（耕種所用の牲畜及び家畜を除く）　リ、藥材　ヌ、漆　ル、皮毛　ヲ、皮毛（皮革皮裘及毛羽に限る）　ワ、大宗礦產物（礦物に對して徴收）

カ、繭（生糸税を納入し戻す）

ヨ、生糸（絹織物税を納入し時拂戻す）

タ、黄豆（油税を納入し戻す）

レ、棉花（綿糸税を納入し拂戻す）

右各種の消費税徴收額は政廳が各地方の情形により選定し財政部の許可を受けるものとすその原則左の如く

一、右各種税は出產地において税した後は全國いづれの處を通過すると雖も再び如何なる税をも徴收されず

二、凡そ所屬境内の大宗出產にあらざるものは徴するを得ず

三、各省財政廳の特種消費税は財政廳との事務を統理し性質の貨品は合併して局……經費を節減す

豆粕界沈滯

思惑を除いては約定も出來ぬ

大連油房聯合會最近の豆粕生產高は一日平均三萬枚を出でず愈々夏枯氣分を濃厚ならしめ上旬の生產高も二十九萬四百五十枚で各方面の需要減退に伴ひ一段と不振を釀してゐる、併し前年度の同期の十六萬九千枚に比すれば十二萬一千五百枚の增加であるが右は輸出期が例年より遲れたことに起因して居る、かくて豆粕、豆油の引合は生產狀態が右の如き事情にあるために商談の成るもの又漸減するを免れざると共に積極的に取引を開始することも困難となつて居る只思惑筋に於て多少は手を出しつゝある模樣で幾分の取引を見てゐるが結局は十一月もの十二月もの等先物の約定に專念するの外なく七八、九の三ケ月は全く無味閑散に推移するであらう

預金貸出し共に減少

早い夏枯氣分

六月末における大連組合銀行の預金貸出高は金勘定において預金八千三百九十四萬三千圓、貸出高九千四百九十六萬七千圓で、前月末より預金九百四十萬六千圓、貸出四百三十七萬七千圓を共に減少し、前年同月より預金六百四十九萬圓貸出二百二十一萬圓を共に減少してゐる、銀勘定においては預金一千四百四十九萬二千圓にし……金三百五十七萬五千圓を共に著……五萬四千圓を前年同月に比すれば……卻つて七十八萬八千……十九萬五千圓を激減してゐる、而して金融界がかゝる不振の如く需要が漸次減……が相當ダブついてゐるので自然……入つてゐるのである……を極めてゐるので六……なは本年は土建界が……夏枯氣分を呈してゐるのを見逃せない（千圓單位）

▼金勘定

	預金	貸出
六月末	八三、九四三	九四、九六七
前月末	九二、九八九	九九、三四五
前年同月末	九〇、四三三	九七、一七七

▼銀勘定

	預金	貸出
六月末	一四、四九一	七、三四四
前月末	一八、〇六七	七、八〇一
前年同月	一六、八八七	六、五五九

豆油賣買にまた紛糾

改善意見愈よ濃厚となる

大連取引所に於ける豆油の賣買は相對賣買で保證金なくその爲に受渡しの度に問題を惹起しつゝあつたので既報の如く取引人組合ではこれが改善方法につき寄々相談中であつたが、又もや七月十四日限の受渡の際に懸念されてゐた慶來東は差損金七千百八十六圓餘りが支拂不能となつたので相手方たる三菱始め十四軒の取引人は十二日直ちに組合に參集し引續き十四日午前中まで協議を重ねた結果、相手方十四軒は自分が受取るべき金額を慶來東へ一時貸借の形式を以て貸今回の受渡しは表面上無事に決濟が終つたが最近は受渡しの度びに何等か紛糾を起すので組合では最近この對策につき具體的案をねり豆油取引方法に改善を與へる模樣である、これにつき取引人組合書記長萩原氏は左の如く語る實に困つた問題です、今回は幸ひに表面無事に解決出來たものゝ、かゝる不祥事が起れば安心して豆油の賣買が出來ないことになるから可及的速に何等かの對策を講ぜねばならないと思つてゐる

尚慶來東は來月廿四日迄に二千圓を九月十四日に全金を支拂ふ契約となつてゐる

普蘭店に於る落花生事情

米印支が世界の三大市場

（二）今年は印度の豐作に影響さる

滿鐵が各主要驛に於て實施する筈である、内地側代表は落花生、棉實についても檢査を求めてゐたが、滿鐵側の容るゝ所とならず、適用されぬことゝなつた、但し落花生に對する檢査は普蘭店に於ける落花生同業組合が行ふことになるらしい、尚内地側の希望する棉實の檢査については他の方法を案出すべく主催者側から遼陽四平街方面の關係者に電報を發して出道を求め、十四日午後一時より更に協議すると

ロ、市價及取引狀況

落花生は世界的商品にして米國印度、支那の三大生產地の作柄によりて影響され殊に印度は年產額二百萬噸と稱せられ（滿洲は五萬噸）來年は印度の作柄良好なりし爲め世界中に影響したと云はれてゐる、當地の相場は大體廣東及び青島の相場に追從し仁は百斤につき青島よりも七八十錢安、皮付は殆ど同樣である、仁は普蘭店より大連迄の運賃諸掛四十錢を要すると仕向地が主として南支又は歐洲なる關係上船運賃の影響である、皮付は主として日本向なれば同樣である（青島、相場ない）

◇…商人間の取引きは總て鈔票建の間は小洋である（建値は一石一（百斤單位）にして商人と農家と單位）昭和四年十一月頃出廻り當時には仁九圓三十五錢に始まり、十二月中、下旬九圓二十錢一月中旬八圓九十錢、下旬八圓五十錢迄で下落したが舊正月明けてより現在にては十圓七十錢反撥した

◇…皮付選別は十一月中、下旬迄で七圓より七圓二十錢位であったが翌年末に金融關係上から圓八九十錢に下落したが、四月の交に至り銀價下落と相俟ち今日……れ銀價下落と相俟ち歐米輸出……百斤十二圓内外の暴騰を……至つた、而して當地内……家より原貨を小洋錢にて……一石上等品八圓三十錢、……八圓十錢下等品七圓五十……購入しては平均五分内外……を見た狀況である、之の……九、十月頃端境期に於け……の高騰（約仁百人に付……錢高であつた）買進ん……ある、之の買進みの原因……人は信用を利用し歲末……にて農家へは僅少の手付……は全然交付せざるもの……渡して荷受けを爲す……思惑を爲する便宜に爲め……

以て之等低利資金の融通……ては出來得べくんば貴團……中央と折衝し貴廳管理の……ス程度の商業資金を借入……銀、東拓等當地金融業者……其の代理貸付を爲さし……業資金利率の低下を圖……切なる之が緩和策を講……ことの必要あり

發達せしむべき滿洲の重要工業

紡績、製麻、毛織、柞蠶の分　經調小委員會答申書

（七）

……行を創立し叙上の缺陷を補正する急務なるを認め……

市況

特產

賣氣旺盛に高粱暴落

株式

無味閑散裡に地場納會

錢鈔

銀塊安を鈔票保合

商品

上海爲替情報

為替相場

市場電報

大阪株式

東京株式

大阪期米

東京期米

大阪綿糸

大阪棉花

横濱生糸

神戸豆粕

印度麻袋

滿洲日報

社説

支那共同管理の聲 有識者反省せよ

陣痛の惱みは新に生れ出でんとするものの免れぬところ、とはいふものの昨今、支那の更生の惱みの如きは、隣邦人として氣の毒に堪へざるを得ぬところである。吾人は支那一日も早く獨自の力を以て、一日も早く革命建設の道程を辿らんことを祈りつつあつたものである。

わが、幣原外相が前々內閣時代に內政不干渉の主義を高調した所以のものは、全く支那が、內部から發展的に更生革命せんことを希望しての聲明に外ならなかつたと思ふ。この對支態度は、今日といへども、また何らの變化を見ぬのである。然るに支那の現狀は如何。

南北相抗爭して寧日なく、しかも南西閥は、全く疲弊困憊、つひに奉天側を自派に抱き込み、以て局面を打開せんものと相互に努力しつつあるやうである。然るに賢明なる奉天側は、徒らに內亂の範圍を擴大せんことを恐れ、嚴正中立を固守して動かず、つひに南京側は窮餘の一策として抱き込みより停戰和平を通電せしめんと策動しつつあるものの如く、張學良氏としては、この際、容易に動かぬ態度を示しつつあるもののやうである。今日の場合、奉天側が動けば支那が平和に傾くとか統制に近づくとかいふならば格別、依然として舊態の支那であるならば、南北兩軍閥の疲れ果るを傍觀するより外に途なく、支那のためには、手も足も出し得ぬ全く困つた現狀といはねばならぬ。

北平にありては閻、馮、汪らの反蔣派要人が策動し、ともかく擴大委員會を開くとか、北方政府を樹立するとかいつてゐるが、それは蔣介石といふ對照物の存在する限り團結するであらうが、共通の目標を失へば直ちに抗爭するものと豫斷して支障なかるべきではあるまいか。而して結局は、蔣氏が下野しさへすれば滿足する程度のものであり、そこには國民もなく、國家もなく、ただ軍閥の抗爭が存するのみである。すなはち北方は蔣氏さへ下野失脚せば滿足するものといふべく、南方は北方の抗爭に自己の勢力を保存せんとするに過ぎぬのである。そこには建設もなく革命も認め得ぬものといはねばならぬ。これ吾人の支那のために、最も遺憾とするところであり、この現實暴露を擴大せんことを隣邦支那のために欲せざるの結果、吾人は從來より、すくなくとも關外なる奉天側が保境安民に徹底し、嚴正なる中立を守らんことを欲したのであつた。而して奉天側は、時に戒ひは野心を關內に走らせ、結局何らの得るところもなくして元に還ること數次であつた。が併し最近は數次の失敗に鑑り、關內への野望を斷ち、專ら關外の治安維持にのみ努力しつつあるが如きは、最も賢明の態度といはねばならぬ。一體、支那の領土の廣大なる、民衆の多數なる、地理上歷史上、今日の文化科學の程度を以てしては、統一とか統制とかいふことは、到底不可能のことと思はねばならぬ。

併しながら吾人は、かかる支那の現實たるにも拘らず、徹頭徹尾支那の自力を以て內發的に、そのいはゆる國民革命なるものを完成せんことを希望するものである。全體時間の上から場合の上から、として支那の建設更生を希望するものであるが、最近、ややもすれば在支那歐米人、しかも比較的眞正面なる歐米人中には親しく支那の現實を目擊し、統一統制に對し殆んど絶望的の嘆聲をもらし、その結論として共同管理論をさへ敢てする大膽者なきにあらざるを、吾人は、むしろ支那のために遺憾と做すものである。勿論、その共管論なるものも、すこぶる抽象的であつて、ただ支那の現實に絶望悲觀の餘り反動的に發せらるるものといふに過ぎぬのであるから、何ら具體的に纏つた案件とては認められぬやうであるけれども、併し、とにかく共同管理といふが如き聲を聞くといふことは、支那のために決して喜ばしき現象といふことは出來ぬのである。吾人は前述の如く、かかる議論に對し、多く耳を傾くるを欲せぬけれども、私利私慾のため、內亂抗爭を年中の行事としてゐるところの新舊大小の軍閥は、多少、眞面目に自國のことを反省することとあつて然るべしと思ふものである。すなはち今日の軍閥は、北方も南方も共に國家的、民衆的の信念なく、ただ鬪爭のために鬪爭してゐるといふ無目的、無理想の狀態にあるのである。而して四億の民衆は苛斂誅求、水深火熱の痛苦に暴露されつつあるとは、由々しき人道問題であるともいふことが出來る。眞面目なる在支那歐米人中に、共管論などの起るのも誠に所以なきにあらずである。勿論吾人は、漠然たる支那の共同管理論などに耳を藉すものではないけれども、これを理由として支那の有識者に覺醒を促さんと欲するものである。

强硬意見を排して政府難關を押切る 暑中前に御諮詢奏請

【東京特電十四日發】海軍巨頭を中心とする條約案の成行に關し政府側にては左の如く觀測して居る 四次海軍巨頭會議においても加藤參議官の主張は、依然强硬で却々諒解を遂げないであらう、しかしこれは今に始まつた事でなく政府が以前から豫想してゐる處でそれが爲めに軍令部長の更迭を行つたのである、しかし財部、岡田、谷口三巨頭の意見は新國防計畫案を以て國防の缺陷を補充し得るとして居るから結局四巨頭會議は加藤參議官の主張を排して押切るであらう

唯、東鄉元帥の周圍の者は依然强硬意見を持しつつあるも元帥が陛下に奉答する場合においては正面から强硬反對意見を奏上しないであらう、先づ十分とはゆかぬ迄も以上の形勢から推してこの難關を切り拔け得られ暑休前御諮詢奏請の手續きを執ることに何等變りは居ない、尤も政府の一部には今少し海軍側の成行を觀るが良いとの議論もあるが、濱口、幣原、江木氏等が强硬一點張りであるから結局豫定方針の下に邁進することにならう

海軍の兵力量は陸軍とは無關係 金谷參謀總長の回答

【東京十四日發電通】谷口軍令部長は十四日午前十時參謀本部に金谷參謀總長を訪問し目下問題になつてゐる海軍條約兵力量は專ら海軍に關するもので陸軍々部には全く關係なきものと思ふが如何と訊す處あり金谷參謀總長は陸軍としても同樣無關係と思考すると答へこれに依つて同問題は陸軍と無關係なる事確定し將來元帥軍事參議官會議を開く場合にも陸軍側は參加せぬ事となつた

四巨頭會議打切 御諮詢奏請の方針は來十八日閣議で決定

【東京十四日發電通】條約兵力量に依る新國防計畫案に對し政府は樞府御諮詢を急いでゐる爲め本日岡田大將の歸京を待ち午後三時より海相官邸に第四次海軍四巨頭會議を開き引續き新國防計畫案に對し意見を鬪はす處あつたが政府は十八日の閣議に軍縮條約諮詢奏請

事が出來ればよし若し一致が出來ないとしてもこれ以上の四巨頭會議はこれを以て打切り改めて軍事參議官會議を開きその席上にて新國防計畫案に對する贊否の意見を取纏めこれを政府に移牒すべく政府はその結果を提げて樞府に臨む事に決してゐる

山下大將意見交換

【東京十四日發電通】豫備海軍大將山下源太郎男は十四日午前中海軍省に財部海相、谷口軍令部長と會見四巨頭會議に臨む態度その他につき意見の交換をなした

軍令部長巨頭訪問

【東京十四日發電通】岡田大將は十四日午前七時大湊より歸京後直ちに海相官邸に入り財部海相谷口軍令部長と會見十八日の閣議にてロンドン條約樞府諮詢奏請手續を附議決定する態度に至つた經過を聽取種々協議したその結果谷口軍令部長は午前十時金谷參謀總長午前十時二十分東鄉元帥を訪問す一時島村永野次長と協議した

批准については西園寺公は樂觀 幣原外相の車中談

【東京十三日發電通】幣原外相は十三日午前八時半坐漁莊に西園寺公を訪問し二時間半に亘りロンドン條約に關するその後の狀勢につき說明諒解を求め午後一時五分江尻發列車で歸京五時十分新橋驛着官邸に入つたが車中上機嫌で語る

ロンドン條約についても十分な話が出來老公からも色々話があり十分諒解を求むる事が出來たと思ふ老公はロンドン條約の最後案回訓前後は心配されてゐた樣だが批准については心配して居られぬ話が餘り長くなつたので「お疲れではありませんか」と尋ねたら「ナニ大丈夫だ悠くり話して行け」とのことで遂に二時間半も御邪魔した條約の樞府御諮詢前に再び私も濱口首相も訪問することはない老公の話題が非常に豐富で色々の話がありし親交のあつた故クレマンソーやマクドナルド氏等の話等もされた

不況打開策として政府に何を望むか 內地實業家の意見

【東京特電十四日發】緊縮政策の轉換を要望する聲は今や與黨內部においても却々激烈なものがあるが、これに對し濱口首相は過日の政府並びに與黨幹部懇談會の席上において、この際所謂政策の轉換は國家の爲め有害無益であり、政府は從來の如く整理緊縮の大道を步むの外なしとハツキリと言明した、しかし流石の政府も滔々たる失業問題の渦卷く、中小產業の苦境には頭を惱まし、どうにかしてその方面から起つて來る社會不安と政府に對する怨言を緩和したい事を望んで居るので、昨今濱口首相は頻々民間實業家を官邸に招いて、財界一般の診斷を聽き對症療法に耳を傾けて居る、其處で彼等實業家側は現在の財界打開策として政府に何を望み、何を爲し居るか、今直接、財界人個々の聲を聽く事とする

產業開發會社必要 鄕誠之助男

わが財界は昨年あたり大整理が一巡して漸く立直らうとした矢先き、經濟事情の變化に依つて實勢力以下に落ちこんだ、故に現下の不況對策もこの經濟事情の變化を除去して落ち込んだだけ引戾せばよいのだ、自分の考へではこの際國內の金融業者をして積極的に產業界援助に乘出させるやう政府がリードして貰ひたい、その爲めには英國のバンカース、インダストリアル、デヴエロツプメント、カンパニーのごとき組織に依り金融業者中心の產業開發會社を設けるがよい

事業會社の合理化 池田成彬氏

不況對策といふ事は永い間の問題で急に名案が湧いて來る筈が無く、依然無策即ち對策といふ處であらう、併し吾々金融業者として先般日銀本店において申合せた事項を着々實行して行く事が最善の方法と信ずる、株式市價の低落防止を攻究するよりも、寧ろソノ病源たる事業會社の經營につき合理化を圖る事が第一だ、尙近き將來において事業會社の內容精査を一層完全にする爲め金融業者の共同調査機關を設置し度い

自然の回復に俟つ外無し 志村源太郎氏

昨今の經濟界打開策實行案は誰が考へても名案は無く結局現政府の遂行しつつある財政經濟策を認むるより外に仕方が無からう、一部には金輸出再禁止の意見もあるが今更ソンナことは出來るものでは無い、マア財界を根本的に立直すには自然の回復を待つより外に無からう

理由なき悲觀人氣を去れ 串田萬藏氏

財界は尙根本的に整理して根本的に立直さねばならぬが、それと併行して考へねばならぬのは國民全般に瀰つてゐる一種の理由なき總悲觀人氣である、何か怪物に脅えたもので、振り返つて正體を見極めれば實は何でもない馬鹿々々しい事であるかも知れぬ

國際經濟會議を開け 中島久萬吉男氏

現在の不景氣は世界的のものである、我國單獨の力ではこれを打開出來ない、故に打開策としては世界的の協調に據る爲めに國際經濟會議を開き、その對策を講ずべきである、そうしなければ根本的原因除去は出來るものでない

銀行減配の傾向 事業會社程打擊はないが 取引先の不況を考慮

【東京十三日發電通】本年上半期の銀行の決算については財界不況の打擊を蒙れることが事業會社程著るしくないのと先年の金融界の動亂を機會に大體の整理が濟んでゐる關係から營業成績に甚だしい缺陷を生じてゐない、然し株式の値下りに依り手持有價證券の銷却を必要とするものが相當あるのと取引先の營業不振の影響が漸次銀行に及んで來る爲めから行內留保を多くしこれに備ふる目的から株主配當を減ずる傾向は地方銀行において特に著るしく縣內同業者の申し合せにより減配を決定せるものは七縣に及び東京大阪の有力銀行にては過般の第一銀行の減配に次いで三十四銀行も一分減配したのみで三井三菱山口三行は据置きとなる模樣で安田住友兩行は目下日和見の態度を執つてゐる

婦人公民權資格制限

【東京十三日發電通】婦人公民權については前議會の安達內相の言明に基き漸進主義に依り先づ市町村の婦人公民權より附與する方針の下に調査中であるが問題となるのは左の二點である

一、年齡制限を男女同樣二十五歲とするか婦人のみ三十歲とするか

二、戶主のみに限るとするか

右につき內務當局でも愼重審議を重ねてゐる

北方の擴大會議成立は南京政府の一敵國 今後の抗爭が見もの

【上海特電十四日發】北方擴大會議の成立について當地各方面における觀測を綜合すると、右は北方各派の團結の基礎を固める上に一步を進めたもので追つて黨部及び政府が設けられるにおいては

南京側に とつては事實上條件を完備せる敵國を意味するものであるといふにあるやうだ、勿論今後の成行についても尙幾多の難關あるものと觀られてゐるが、黨部方面における勢力及び人物の揃つてゐる點等よりして北方政權は漸次改組派の手に掌握されるに至るものと觀られてゐる、而してこれによつて民國十五年三月以來野に在つて苦鬪し續けた汪精衞氏が愈々檜舞臺に乘り出すの機を得て永らく南京政權によつて汪氏等に思ふがままに制裁を加へて來た胡漢民氏との間にそれぞれ南北政權に依據して華々しき對立關係を現出すると共に

孫文主義 の繼承者を以つて自ら任じそれぞれ孫文の後繼者たらんとしてゐる汪、胡兩巨頭が今後黨務的に政治的に如何なる抗爭と手段を發揮するか、今後における南北政爭の展開は軍事的進展と共に重大なる興味を齎すであらうと觀てゐる、なほ西山派の巨頭許崇智氏は右今次の會議には干與せざることに決定した

北方の擴大會議愈よ十三日成立 直に政府樹立を協議

【北平十三日發電通】合法的北方政府組織のため過去半歲に亘り實力派及び左右兩派間に揉み拔かれた擴大會議は本日午後二時豫定の如く開會式を擧行され茲に南京政府を否定する國民黨中央黨部擴大委員會の成立を見た、定刻前陳公博、白雲梯、謝持、鄒魯氏等左右兩派要人及び山西、西北派代表等喜色面に溢れて續々參集し左派の王法勤氏年長の爲め議長席に着き孫文の遺訓を讀み上げ次で汪精衞氏を筆頭に閻錫山氏を第二とし以下年齡順に依る各派聯盟宣言を讀み上げて各自署名をなし三時半式を終る、斯くて北方政府樹立の第一步はこの刹那に確立され署名者は式終了後直ちに談話會を開き政府組織の實際問題の商議に移つた

佛の國防大計畫 十一億フランを投じ

【パリー十三日發電通】國務總理タルヂユ氏は本日ローア州における老兵士の會合にて左の如く演說した

フランスは十一億二千六百萬フランの收入を得て、これを國防補充費に當てるはずである、なほ議會がこの案を拒絕しても政府は內閣令に依つてこの國防補充を實現する

國聯總會支那代表

【南京十三日發電通】十一[illegible]會議にて蔣作賓、伍朝樞、高[illegible]の三名を來る九月ジュネーヴ[illegible]かれる國際聯盟總會支那代表[illegible]て特派することになつた

佛議會難關 諸法案は暑休明まで持越す

【パリー十二日發電通】フランス首相タルヂユ氏は目下フランス議會にて討議中の諸法案に關し議會の形勢は政府に執つて必ずしも安心出來ざる狀態なるを察知し右諸法案の審議を議會夏季休暇明けまで持ち越す事とした尙外務長[illegible]リアン氏が十日下院の外交[illegible]にてフランス政府がイタリ[illegible]し送達したと發表した覺書の[illegible]フランスは本年十二月初め[illegible]新艦の建造を開始せざる[illegible]と條項は正にイギリスの壓迫[illegible]て發表されたもので且つフラン[illegible]がイギリスをしてフランス提案の歐洲聯邦案を快諾せしめんとする下心を以てなされたものなりといはれてゐる右につき有力方面では

右フランスの讓步は豫定の海軍計畫に影響を與へるものでないと見てゐる又フランス官邊では海軍々縮に關し目下停頓狀態にある佛伊關係は最早打開せられまいとの意見が有力である

小坂次官、記[illegible] 意見を交[illegible] 十三日ヤマトホテル

大連滯在中の小坂拓務次官は久し振りで小閑を得たので十三日午後一時半からヤマトホテルで新聞通信雜誌代表者と會見し意見を交換した、先づ新聞代表者等から

△西片氏(滿洲報) 在滿邦人經營漢字新聞を如何に見るか、對支文化事業を拓務省に移せ

△井口氏(大連商通) 滿洲に於ける電信料金の高きことは通信事業の發達を阻害す

△石村氏(大每) [illegible]移せ、滿鐵を[illegible]

△津上氏(日滿) [illegible]立、鬪爭的思想の[illegible]止

△吉田氏(極東) 商租[illegible]決、治外法權撤廢の不[illegible]

等について意見を述べ、小[illegible]は一々諸問題に就て意見を交[illegible]對支文化事業は同感である[illegible]信料金問題は極力値下げに努[illegible]する、關東廳移轉問題は最早[illegible]

反對議員が缺席し米特別議會開けず 大統領等對策に苦心

【ワシントン十二日發電通】ロンドン條約審議のアメリカ上院特別議會は條約反對議員が同日の出席を拒絕した爲め十二日は開會不能となりフーヴアー大統領は共和黨の上院議員ヘンリー・アーレン、ジョン・トーマス、アーサー・ヴアンデンバーグの三氏をラピダンの山莊に招致し條約批准對策につき協議した尙ほ條約反對派の巨頭モーゼス氏は二十三名の上院議員はノーリス氏の提議「上院は將來本條約の解釋を變更する如き秘密協約の存在なしとの條件の下にこれを批准す」との留保條件を附するにあらざれば批准反對の投票をなす事を承認したと言明してゐる、尙反對派中には十九日前に票決をなさんと希望する者もある同じ反對派の巨頭たるジョンソン氏は大統領が條約關係書類の提示を拒絕したのは右書類に依つてアメリカがイギリスの最初の提案をその儘承認せしめられたる事實を暴露するが爲めであるとなし大統領の拒絕を難詰してゐる

淺野翁[illegible]

【[illegible]京十四日發電通】[illegible]關のためシベリア經由[illegible]野總一郎翁はベル[illegible]痙症に罹り老體の[illegible]たが小康を得て[illegible]ユーヨークに[illegible]大したこと[illegible]

齋[illegible]

を附記[illegible]

滿日地方版

奉天

商議戰の經緯と期待される新陣容 野添書記長留任せん

今回の奉天商工會議所の役員選擧が未曾有の波瀾を捲き起した原因は衆望を負ふた前會頭庵谷忱氏の重任拒絶聲明が一般に徹底せず、去る一日の議員會で滿場一致庵谷氏の再任を推薦したに對し

庵谷氏 が飽くまで就任を拒絶したので十一日更に議員會を開き庵谷氏の眞意を確めた後決議投票までして藤田氏の當選を見るに至つたので二重三重の繁雜と十日間餘計な時間を延長し此の間種々の策動も行はれたのである庵谷氏が固辭すれば藤田、石田兩氏の一騎討ちは當初から豫想された所であり、庵谷氏としては最後まで衆望を繫ぎ惜まれつゝ引退の初一念を通したのであるから慰むるに足るものがあらう、最後の

一騎討 に惜敗した石田武亥氏は一般から大いに同情されてゐる

新正副會頭は商賣の孰れも實務家揃ひ、菅原、西尾兩副會頭とも支那側に關係深く菅原氏は主として支那側官憲筋との折衝に、西尾氏は輸入組合の幹部として實際の商賣を指導斡旋し、協力して藤田會頭を補佐すれば相當の

成績を 期待されてゐる、尚最後に一度辭意を表明した野添書記長はその才幹を惜まれて居り、殊に新役員は氏の留任を希望してゐるから結局留任することになる模樣である

『御後援を』 藤田商議會頭談

今回奉天商議の會頭に就任した藤田九一郎氏は語る

自分が會頭に就任したのはこれで二度目で前回以來十有二年經過せる今日果してこの重任を遂行し得るか否か、出來るだけ努力して見たい、各位の御指導と御援助を偏にお願ひする、商議の內部改善も相當叫ばれてゐるやうであるから何等かの方法で改善したいと思ふが、よく調査した上でなければ言明は出來ぬ

豪遊の揚句 警察に保護願

政友會特派員山本泰（四〇）と稱する岡山縣生の男が黨派擴張のため二ヶ月前奉天に來り大氣焰を揚る皆の處柳町料理店醉月の藝妓二名に一度足を運んだのがもとで一夜現をぬかす迄に通ひ詰めその揚句は黨派擴張の運動費もつかひ果し鄕里にも歸られなくなつたので遂に奉天署に保護願ひに出た、奉天署では旅費送金方鄕里に照會中でそれまでは留置場で保護を受けるといふ以前と變り果た姿となつてゐる

鐵道は大減收 新規事業などは以ての外だ 森下奉天驛長歸來談

滿鐵職制改正後における諸事務打合せのため赴連十一日歸奉せる森下奉天驛長は語る

職制改正後の現場における各機關は新制度により從來と面目を一新した監督を受ける譯で、この合理的新制度の結果如何は各機關の運用一つにある、滿鐵の最大收入たる鐵道收入が最近銀安、緊縮、不況等の影響を受けてか非常に減收最も重要地たる奉天において四、五、六の三ヶ月を通じ昨年の四月に比し旅客は廿五萬圓、貨物は廿萬圓合計四十五萬圓の激減である奉天驛も今後は旅客の吸收に最善の努力を拂はなければならぬから前途は多事多端である、尚今後の新事業は殆ど見込みなく昨年認可された事業でさへも削除されはしないかと心配してゐる

借金棒引の新案 自己で傷つけ罪を債權者に

八千圓の借金を棒引にせんがため自分の頭部を自分で打割り債權者に罪をヌリ附けんとして大騷ぎせした支那人の人妻がある、市內平安通四番地劉鍮章が元錢鈔業を經營してゐる際新民府に居住する特產商、油房劉萬榮から約八千圓を借り入れてゐたので劉萬榮は再三督促するも返濟する模樣なく一時姿さへ晦まして居たその後劉萬榮は劉鍮章が奉天にゐることを聞き込み態々新民府より來奉し劉鍮章の家を訪れ八千圓の拂戾方を迫つたが劉鍮章はそれは店の借金だから支拂ふ必要はないとはねつけたので劉萬榮は邦人を通じ辯護士に依賴して裁判すると賴み出たしかしその邦人はその裁判が果して原告の有利なら裁判にかけてもよいがその事情をよく調べた上でと十三日午前十時頃劉萬榮方の李番頭をつれ平安通りの劉鍮章方を訪れその話を持ち出したその中劉鍮章の妻李氏が下女にお茶を出すやうに命ずると劉鍮章はお茶を出す必要はないと云つたので李番頭はそれは餘りではないかといふ處から双方喧嘩となり之を見た李氏はその混雜中に紛れて附近にあつた湯飲み茶碗を取りあげ突然自分の右頭部を打ちつけ血みどろになりびつくりして逃げんとする李番頭を追つかけて之は李番頭が傷つけたのだと大騷ぎをなしたが結局八千圓の借金を棒引にせんがために自分の頭を傷け債務者側が負傷せしめたやうに裝はんとしたことが判明した目下關係者につき取調中であるが劉萬榮は裁判沙汰にすると敦圍いてゐる

奉天で見本市を 來年二月頃に開催？

滿洲見本市における奉天關係の取引は約五萬圓、その內支那側一萬三千圓で金額は尠いが銀安の折柄且つ將來の取引の楔子を造つた意味で寧ろ好成績と見られる、今後は大連と奉天と交互に開催することに關係者の意見が一致して居り殊に、大藏滿鐵理事が此の意見を支持してゐるから來年の開催地は必ず奉天が選ばれることになるべく主催者滿洲輸入組合聯合會の委員は大連の後始末完了次第來奉して會場、旅館の收容力等を調査する筈だ、たゞ問題は會場であるが多分學校を借る外は無かるべく時期は仕入關係及び舊正月の關係上二月頃と期待して間違ひ無からう

白河の涼味

【天津特信】白河の名稱は天津から太沽まで九十九曲り、百から一を除いたのだと古老は語つてゐる、昨今の熱風に喘ぐ租界人も夜は河岸に涼味を滿喫し、支那人は恰度季節の刀魚漁りに忙しい、海軍の兵隊さん達はこの頃橫須賀に白河會を組織して「航行轄警備」の手柄話にメートルを擧げるとの嬉しい便り、寫眞は（上）涼味溢るゝ白河（下）刀魚漁り

吾等の町を語る 奉天

設備に伴はぬ衛生 警備にも遺憾の點がある

奉天警察署長代理 立川俊三郎氏談

『**僕が** 奉天署に來たのは今から九年前第一回奉直戰爭の最中だつた、その時分は浪速通りの中央廣場から小西邊門外の日本總領事館の日章旗が空高く飜つてゐるのがよくも見えてゐたものだ、だが今では高層なヤマトホテルのルーフに上つてもその日章旗が見えるか見えぬか位、そして千代田通りは今でこそ大廈高樓が櫛比して國際都市の市街としても恥かしからぬ堂々たる街となつてゐるが、九年前は支那人苦力の飲食店の街であつて、しかもそれがペチヤンコの平家建の不潔な町であつた、九年と云へば一昔にもなるが、ホンのこの間位としか思はれない、その間において市街設備と云ひ社會的施設と云ひ、かうまで發展したかと思へば全く驚かされてしまふ……』と同氏獨特の親しみのある物語りは一昔前の奉天と今の奉天とを色々に比較される

◇

『**當時** の奉天の全人口は十九萬、管內日本人は三萬二千、鮮人六萬七千、派出所の數も八ヶ所今のやうに非常電鈴もなく、一旦事があつた場合は一軒一軒起しに廻つてゐた、自動車だつて支那側に一臺、日本側に五臺ある位のものであつた……それが今では人口は四十萬に達し、附屬地內だけの日本人だけでも二萬にも上り派出所も隅田町、平安通り、芳野通り、紅梅町、吳家屯、文官屯の六ヶ所を增し、一旦事件が突發すれば、ベル一つ押して一齊に繼まる自動車も日本側で二百臺を突破し、支那側では千五百臺にも達してゐるといふ現狀だ、此の進步發展振りはまるでお話にならぬ速やさだ、今は附屬地だけの道路の延長實に廿四里の長さに達し、人口家屋の增加其他何かにつけ時々刻々延びつゝある、それだけに奉天署としても多忙となり責任が重大となつて來る」

◇

試み に最近の犯罪事故の種類件數等を擧げて見ると强盜卅六件、竊盜千五百九十八件、詐欺八十八件、橫領廿九件合計千七百五十一件、その被害金高は實に十萬八千八百七十六圓の多額に上りその他自轉車、自動車、洋車、馬車等の交通事故も每日のやうにある奉天の市街施設は沿線でも良好の方で、地方事務所としても之が施設に最善の努力を拂つてゐるやうだ、ところが市街施設もよくなるし衞生施設も整ふし、市民の衞生思想も普及して來てゐるのに反して傳染病が逐年增加する傾向がある、過去においては前述の設備なく、糞尿なども町々たれ流しにしてゐたのに傳染病は少なかつた、これは何故か？結局は一般市民が今少し目覺めて保健に注意することが最も肝要だらう

◇

かう した街と人口を擁し、殊に國際都市として誇る奉天を安全に秩序を維持して行くには、現在奉天署としては物的には充分なりとは云へないが人員もこの程七名增し、今後漸次增加することだから名實共に完備したものにしたいものだ、尚奉天署としては高等政策以外に市民の治安維持に力を注ぎ、支那側公安局とも出來るだけ連絡を取つてゐるが、最近よく突發した自動車强盜のやうに、いざとなつて支那側に依賴しても公安局から一々公安分局に通知し始めて手配するやうな有樣なので、所謂スピード時代に適應する設備が十分整つてゐない、いざとなつてはまだ却々効果が上らぬのは遺憾である【寫眞は立川氏】

店員の無斷家出

十二日午前十時頃市內彌生町三番地松尾八百藏方店員吉村嚴（一[illegible]）は一通の遺書を殘して無斷家出したがその內部には複雜な事情があるらしく自殺の虞があると

失業青年保護願

內地における深刻な不況で失業し全く命がけの努力で職を求めても得られず遂に志して滿洲に出奔し入り込むものも多いが奉天にもその數を增し公園を棲家とする失業團が近頃降雨の多いのに野宿も出來ず奉天署に保護願ひに出た右は京都生れ商業校卒業長島（二七）慶林校卒業岡本（二二）鮮人金（二一）張（一七）張（二〇）金（二〇）と稱しこれまで江島町十一番地旭旅館に投宿する大島某（[illegible]）の同情を受けてゐたもので奉天署で保護中である

入奉

▲林總領事　十三日本溪湖往復
▲村田卅三聯隊長　十二日遼陽より歸奉
▲小倉奉天地方事務所長　十三日本溪湖往復
▲同志社大學々生廿二名　十三日哈爾賓へ
▲ベーニン氏（チェッコ公使）　十二日長春より來奉
▲拓大辯論部員一行六名　十三日朝撫順より來奉

鐵嶺

山內氏を失つて 大打擊の陸上競技軍 青年團も名團長に惜しい訣れ

山內敬二氏の轉任で最も大きな打擊を與へられたものは鐵嶺青年團と運動協會である、山內氏は本春青年團長に推されて以來其在任短期日であつたが功績少からず各團長として內外の信望を集めてゐたが氏は運動家殊に砲丸投げでは鐵嶺唯一の選手で、來るべき鐵開四公對抗競技にも鐵嶺軍のピカ一として力を添てゐたがこの轉任で鐵嶺軍の陣容に一大蹉跌を生じ只でさへ影薄き鐵嶺軍に一抹の悲雲を與へてゐる

山內庶務係長 營口に榮轉

鐵嶺地方事務所庶務係長山內敬二氏は十二日附營口地方事務所地方係長に榮轉に決定した、氏は在任二ヶ年精勵恪勤內外の信望非常によく今回の轉任は社員初め市民一般から非常に惜まれてゐる、後任は長春より久元氏が來任の筈

鈴木社會主事 安東に榮轉

當地方事務所社會主事鈴木善作氏は在任五ヶ年鐵嶺公私のために頗る努力した人であるが十二日夜突然安東に轉任の旨發表され山內氏と共に其離鐵を惜まれてゐる

鳳凰城

菱刈軍司令官 十二日通過

初巡視中の菱刈關東軍司令官は十二日十九時五十七分急行列車で當驛通過南行した、驛頭には守備隊臼井隊長以下全員、在住官民、中國側姜縣長、佟縣長、白商務會長其他有力者多數迎送、軍司令官は下車して隊軍に答禮した

撫順

斷然長軍を壓し撫軍雪辱す 7―2 安打十一本

撫順對長春第二回戰は十三日午後三時より望月（球）吉野（壘）二氏審判の下に撫順先攻で開始されたが撫順軍にとつては雪辱戰とて頗る緊張し觀衆亦三千を越へる、撫軍まづメムバーを替へ渡邊を外野に岡田を三壘に入れ、森本、森川のバッテリーで戰つたが森內の得意のコントロール長春の打擊を完全に封じたるに反し、長春は最初の淺野が亂打され二回より老將高橋に替へたが是亦淺多打にされ安打十一を許し結局7對2で撫軍の大勝で五時二十分閉戰した

兩軍メムバー

撫順　崎京田邊川田內原田　尾野岡渡森高森出岩　745826193

長春　香幡川田野保原上野橋戶田　淺小中久小川淺高藤杉　9627433 1158

試合經過

撫順は一回表二死後渡邊、森川高田相次で素張らしい當りを見せ早くも二點を得二回又二死後野原四球に出で岡田渡邊の好打に三者生還早くも五點を先取、五回森川の二壘打につぎ出原岩田亦絕好のヒットを飛ばし森內生還計七點を得たるに反し長春は四回裏原始めて中堅越二壘打に漸く氣を吐き三盜後高橋右飛失に生き藤戶のバントが內野安打となり原、高橋還り辛くも二點を得その他の各回とも物にならず

來月慶應軍を邀へる 州外聯合軍の陣容 各種目選手の顏觸決定す

既報來る八月十三日撫順永安臺競技場に東都陸上競技界の花形慶應軍を迎へる撫順、奉天、長春、鞍山の州外聯合軍の出場選手は左の如く決定した

△百米　三好壽、今井利武、田中盛一、光野定衛、松崎勇、廣瀨久郞、田中末、渡邊喜
△四百米　今井利武、末永繁正、宮田誠作
△千五百米　瀨戶貞次、西川乙市、佐藤勇、多田敏夫
△百十米高障害　柴田義敏、淺阪正一、掛城武三郎、晴山昌邦、川野達世
△走巾跳　柴田義敏、田中末、田中盛一
△走高跳　山崎滿夫、川野達世、澤田三雄
△棒高跳　淺阪正一、伊藤清八郎、宮田誠作
△砲丸投　俵水無一、仲摩勝、須藤直章、川野達世、西村政平
△圓盤投　和田實、川野達世、中西榮八
△槍投　岡田勝義、川野達世、鐘ケ江勇、宗情安
△四百米リレー　柴田義敏、三好壽、廣瀨久郞、田中末、松崎勇、光野定衛、田中盛一、今井利武

尚慶應軍のメムバーは既報の通りである

柔劍道の凄い練習 永安臺道場で

撫順武道部では既報の如く永安臺道場で八日から向ふ二十一日間柔劍道部とも熱夏九十八度の暑さにもめげず猛烈な土用稽古に餘念がない、まづ劍道部は幸師範、以下猛者連の指導で連日八十名乃至六十名の劍士連が火の出るやうな稽古、柔道部は土居、佐々木の兩五段、花出四段等の指導で是亦連日七、八十名の連中が新道場の床がぬけるやうな猛稽古を續けてゐる本年は早大、同志社大學等の來征を控えて兩部の稽古振は全く凄い位である

炭坑の―豫算會議 二十日頃終了

滿鐵大地震の餘波を受けそのまゝになつてゐた炭礦部六年度事業費豫算會議は築島次長歸任後中央事務所において目下連日行はれてゐるが二十日頃終了の筈、炭礦重大懸案たる製油工場第二期計畫案、龍鳳大竪坑、老虎臺大斜坑、石炭液化事業等々が如何に片付けられるか頗る矚目されてゐる

四人組强盜の一味か 一名を逮捕

十三日午前十一時老虎臺停留場南方の廟前において折柄盂蘭盆の群集中に混入せる一怪漢を大格鬪の上逮捕したが右は山東省萊州府即墨縣生れ現住所不定何慶武（三二）と云ひ既報十一日午前二時すぎ警戒隊を巧にまいて三ヶ所を矢つぎ早に襲ふた四人組强盜の有力なる被疑者で同人の供述に依り撫順署は頗る緊張し十三日の日曜にも拘らず殘類打盡のため同日午後某方面に出動した

未教育補充兵の軍隊教育

既報未教育補充兵の軍隊教育觀察は十二日午前八時六十名（缺席九名）參集、營庭において山口鄕軍分會長並びに寺田署長の訓辭、角田中尉の挨拶あり直ちに軍服に着替へ、十三日正午まで現役兵同樣の教育を受け同日午後一時解散した

同志社大學柔道選手 八月中旬試合 奉撫聯合軍と

八月中旬同志社大學柔道部の滿鮮遠征團來撫、永安臺道場において奉撫聯合軍と肉彈相搏つ大試合を行ふと

哈爾賓

歐亞連絡乘客激增

東鐵經濟週報の所報によると歐亞直通連絡の列車で東鐵を經由した旅客は本年は時局平靜のため一月を除き上半期間には相當多數に上り激增の傾向がある、本年は二月より直通連絡を開始したが、昨年の同期より僅に四百名の減少で五年前に比し約五倍である、歐洲から東洋に來た旅客は本年は昨年に比し正味四ヶ月で既に百餘名を增してゐる、卽ち二八年の六月歐亞往復歐洲に向つた者と歐洲から東洋に來た者は八百名だが、本年四月には八百六十五名となり五月八百六十九名、六月は一千百名の記錄を作つた尚歐亞連絡で滿洲里國境を通過した各國人の過去三ヶ年間に於ける統計は [illegible]

庭球[illegible] 瓦軍優勝す 不戰二組を殘す

庭球のオール大連選たる中央試驗所庭球部員一行を迎へたる瓦房軍は十三日午前十時より當地運動場において對抗戰を開始したが不戰二組を殘して瓦房店軍優勝した

保險局の暑中見舞

簡易保險局にては暑中見舞として官廳側其他に扇子一對づゝを寄贈した

營口

通過貨物の徵稅 今後は斷じて行はぬ 荒川領事の抗議に支那側言明

近海郵船の淡路丸は既報天津で日本向棉花と瓦を積み正規の輸出稅を納入して出帆當地へ入港したが當地の稅關では該通過貨物に對し更に輸出稅の納入を命じたので出帆遲延を虞れ納入したが此の二重徵稅に關し荒川領事は直に其不法を稅關に嚴重交涉した處稅關でも其非を覺とつて今後通過貨物に對しては徵稅せぬ旨を告示した

三家子給水中繼所落成

營口水道電氣會社では去三月十五日より三家子に給水中繼所を新築中のところ七日竣工したので、十一日午後五時荒川領事林警視を始め二十餘名を請じ落成式を擧げて今井主任の工事報告福島神官の修祓玉串奉奠あり終つて立食の宴を開き加賀社長は新施設の概要を說明し一同舢舨に搭じ七時半歸營した

鞍山

五三―三八 若葉捷つ 陸上競技戰

鞍山陸上競技部では十三日午後零時三十分より大連若葉軍を招き井井寮裏のトラックにおいて陸上競技開催したが若葉軍に十三點、鞍山軍三十八點にて若葉の勝利に歸し午後二時五十分閉戰した

鞍山軍慘敗 八幡との野球戰

鞍山野球部では既報の如く八幡製鐵所野球軍を迎へ十三日午後三時より滿鐵球場において角田氏審判の下に野球試合を擧行したが力及ばず八幡十對鞍山四のスコアを以て鞍山軍慘敗――午後四時十分閉戰した

施餓鬼施行

鞍山地方事務所では十二日午後一時より朝日山麓の共同墓地において施餓鬼を營んだが佛教團の讀經等あり參詣者多數で盛會であつた

素人演藝會盛況

鞍山有志發起の地藏堂建立基金募集素人演藝會は十二日午後七時より演藝館において開催、頗る盛況裡に午後十時閉會した

郵便局業績 ―六月中―

鞍山郵便局六月中の取扱郵便物の統計左の如し

◇通常郵便◇

	引受	配達
普通	六八、四[illegible]通	一三三、六[illegible]通
書留	一、六七七	一、四[illegible]
價格表記	三	四〇
計	[illegible]	一三五、一[illegible]

◇小包◇

	引受	配達
書留	三九八通	一、六[illegible]通
代引換	一四	七五
計	四一三	[illegible]

◇爲替貯金◇

	口數	金額
振出 爲替	[illegible]	[illegible]
振出 貯金	[illegible]	[illegible]
振出 振替貯金	[illegible]	[illegible]
振出 計	[illegible]	[illegible]
拂渡 爲替	[illegible]	[illegible]
拂渡 貯金	[illegible]	[illegible]
拂渡 振替貯金	[illegible]	[illegible]
拂渡 計	[illegible]	[illegible]

開原

武道土用稽古 二十一日から

武德會開原支所並びに滿鐵運動會支部主催の柔劍道土用稽古は來る二十一日より向ふ三週間每日午後四時より滿鐵俱樂部道場にて擧行一般の參加を歡迎すと

郵便局成績 ―六月中―

開原郵便局六月中事業成績左の如し

◇郵便◇

通常	引受	六一、九五四通
通常	配達	五四、九五三通
小包	引受	一、二五九個
小包	配達	一、二六三個

◇爲替貯金◇

		件	圓
爲替	取組	[illegible]	[illegible]
爲替	拂渡	[illegible]	[illegible]
貯金	預入	[illegible]	[illegible]
貯金	拂戾	[illegible]	[illegible]
振替	振込	[illegible]	[illegible]
振替	拂渡	[illegible]	[illegible]

◇保險年金◇

保險年金	一件	二二二圓

久富氏奉天へ

今回教育界より勇退した前開原公學堂長久富一二三氏は奉天に於て太陽光線治療院を開設する事となり十四日十一時五十五分發列車にて奉天に向ふと

遠藤氏離開挨拶

前地方係長遠藤憲治郞氏夫妻は十二日各方面に挨拶廻訪したが來る十六日十一時五十五分發列車で出發大連經由歸鄕すると

共同墓地で施餓鬼供養

開原地方事務所にては盂蘭盆會に際し例年の通り十六日午前九時三十分共同墓地において佛教團を招き有緣無緣の精靈の施餓鬼供養を懇ろに營むにつき多數の參詣を望むと、尚當日雨天の際は葬儀場に於て執行すると

人事

▲行德警部補（開原署警務主任）は十五、十六、十七の三日間關東廳にて開催の國勢調査事務打合會議に出席のため十三日出張
▲池田憲兵伍長　大連憲兵分隊へ轉任のため十五日二十時二十六分發列車にて出發

長春

學生惡化の珍な取締令 思想研究とペン先使用禁止 頭腦を捻つた省當局

既報吉林省當局において各主要都市の公安局長を召集して共產黨取締會議にて王警務處長は同省教育廳長と諮り、學生の思想研究を禁止すると共に宣傳文又は黨員等の連絡に殆どペンサキを用ひるため筆蹟による檢擧が困難であるとしペン先使用を禁ずる旨を中等學校以上の各校に通達した

プール開き 來月上旬か

西公園のプールは水不足のため消防隊のホースで入船町の撒水用井戶から井水を引いてゐるが何しろ八百八十米突の長距離をホース五十一本で繫いでの仕事なので水勢極めて緩慢で社會係の久永主事は「此分だと月末までには開場は覺束ない半分位までも水が入ればと思つてゐます、まあ來月の上旬までにはどうかなるでせう」と

警察署執務時間

長春警察署では來る二十一日から八月卅一日まで執務時間を午前八時から正午までに變更すると

取引信託定時總會

長春取引所信託會社では來る二十七日午後二時から同所樓上で第十七回定時株主總會を催すと

けふ施餓鬼

地方事務所では十五日午前十時から例年の如く共同墓地で盂蘭盆法會並びに施餓鬼を執行する筈で、當日雨天の際は祝町太子堂に變更すると

教聯映畫會 今夜室町校で

十五日午後八時から教化聯盟主催の教育映畫が室町小學校々庭で公開されプログラム左記の如し

一、聖上御巡幸復興の帝都
二、聖上御臨幸帝都復興式
三、秩父宮殿下御渡滿記念
四、日出づる國
五、覺めよ國民
六、二つの世界

運賃割引請願協議

長春取引所取引人組合では十二日午後一時から取引所樓上で役員會を開催し滿鐵に運賃割引請願の件に關し協議した

市場會社六月賣上

長春市場會社六月中の小賣店賣上高は二十九軒の三萬四千十圓で委託販賣取扱高は一萬一千百五十九貫の一萬二千四百二貫であつたと

人事

▲滿洲中學校教員廿一名は十三日八時卅五分吉林教化方面へ視察に赴き十五日二十時歸長の豫定
▲同志社大學生一行廿二名は十三日十三時十分來長二十三時三十八分發東支列車で哈爾賓に赴いた

遼陽

更生役員會 報告と協議

遼陽市民更生會では生田會長外數名が關東廳及び滿鐵本社に出頭、社團及び財團法人設立の件につき打合せ十一日歸遼したので、十二日午後一時から公會堂において役員會を開催、見坊地方所長も列席し經過報告と委任狀徵收其の他の件につき協議し午後四時散會した

消組理事會 見坊所長出席

滿鐵消費組合理事會議は十九日本部において開催につき遼陽支部からは見坊理事が出席すると

本社庶務課へ 石岡氏榮轉

遼陽地方事務所地方係長石岡武氏は十三日附本社地方部庶務課勤務に榮轉、後任は地方課中村俊夫氏である

四平街

上旬市況

四平街取引所に於ける七月一日より同十日に至る特產取引狀況左の如し

▲高粱　銀價の硬勢と輸出向其他大手筋の買物出現に軟調、落步調を辿つたが再び銀價の弱氣配と歐洲方面大豆の買氣を傳へて地場亦昂騰を氣構へたが場內も頗る寥々既に夏枯氣分を漲はして居る

▲錢鈔　は大洋票現物は從來現大洋より上鞘であつたが逆に轉して來た、銀價浮動の震源地は近來倫敦から上海に移動して來たから各地の銀相場は全く大連の相場に牽制せられてゐる觀がある、上海在銀も最近餘程減少し海外よりの流入も尠く兹許銀價の强材料となつて居るが、矢張り仕手關係もあつて小市上下の大保合に終始した、前記十日間の狀況左の如し

一、大豆　七月十五日限（最高）二、四七〇（最低）二、四〇〇〇（出來高）三車
一、高粱　七月十五日限（最高）二、五五二、（最低）一、四八〇〇（出來高）一三三車
　八月十五日限（最高）一、六三二（最低）一、五五七五（出來高）四九車
一、金票對大洋票　七月十三日限（最高）一九〇元（最低）一八〇、〇〇（出來高）一八八千圓
　十月二十日限（最高）一八八、一〇（最低）一八七、〇〇（出來高）五五千圓

外蒙の現狀（12）

Y X 生

九、各王族と喇嘛の政治的勢力（下）

以上の現情は王公派勢力の徹底的失墜を物語るものにあらずや、而して喇嘛も亦略之と同樣の境遇に陷りつゝあり、活佛在世當時に祭政一致を以て絶對的神權を振ひ革命政府成立後も中央執行委員會及國民議會の威力は及ばざりしが其寂するや、一般喇嘛も忽ち其政治的生命を失ふに至れり、從來喇嘛に對しては如何なる犯罪と雖も絶對に法律の適用を許さず、更に彼等は納税と兵役の義務を負はず、曾て前清代支那勢力の盛なる時に於て時の庫倫辦事大臣三多に對する喇嘛の投石事件あり、是に對し支那側は即時犯人の引渡し及謝罪等の嚴重なる抗議と要求を提出せるも、活佛以下喇嘛の長老等は斷乎として其全部を拒絶し、武力に訴へんとせしも活佛側の態度鞏固なりし爲何等の解決を見るに至らずして終熄せり、而も現在は庫倫の街上到る處念經を誦して行人の喜捨を乞ひつゝあり、尤も今尚地方的には各旗内に於ては依然勢力を揮ひつゝあり、荒漠たる平野牧草の間に向醱せる氣を融和するもの一道の宗教的渇仰心にして、喇嘛教は彼等が精神生活における唯一の要素たり、從つて喇嘛の政治的勢力は消滅せるもその社會的の潜勢力は容易に拔くべからざる所以なり、

十、教育方針と其施設

外蒙政府の對内政策中其主眼たるもの三あり、一は兵備の充實、二は經濟的發展、三は外蒙の教育化なり、先づ教育に就いて叙説せん、

外蒙が獨立して共和制度を實行するに當り痛感したるものは人材の缺乏なり、彼等は人材の養成を以て國家當面の最大急務と爲し、豫算の大部を教育費に充當して教育設備の完成を計ると同時に、モスクワ其他シベリア各地に留學生を派して子弟の教養に全力を傾注せり、而して義務教育制により青少年を強制的に入學せしめ中年以上一般無智の旗民男女に對しては宣傳隊を派して活動寫眞、演劇、新聞、ポスターに依りて教化覺醒せんと努め、時に觀光團を組織してはモスクワに赴かしめ直接其文化に接觸せしめつゝあり、殊にコーペラテイーブの如きは宣傳部を特設して社會的教育の宣傳に從事すモスクワ及シベリア各地の留學生は官私共に約百名、内現在モスクワの留學生約四十餘名あり、本年五月ドイツに留學せるもの官費生三十五名、私費生四名あり官費生一名に對し毎月百五十圓を支出し期間三年なりと、現在庫倫にある學校及在學生左の如し

一、國民小學校二（合計二百五十餘名）
一、中學校一（約八十名）
一、大學校一（單科大學にして法文科のみ天文の一科を特設しあり學生約三十五名）
一、補習學校（約六十名）
一、士官學校（中學卒業生或は軍隊よりの選拔生を收容す期間三年、在學生約百五十名）
一、宣傳學校（在學生約三百名男女及其結婚者たると未婚者たるとを問はず入學せしむ、十四、五歳より四十歳前後のものあり速成三年本科五年制度にして全部寄宿舍に收容し食費、被服其の他學用品等全部官給、日曜と雖も隨意外出を禁じ校規最も嚴）
一、飛行學校（目下開校の準備中）舊活佛宮殿跡を校舍に充つ

其他文化局、圖書館あり、又教育部翻譯課に於ては各國の圖書新聞を譯し印刷に附し、販賣或は無代配付しつゝあり、以上はクーロンに於けるものゝみなるも小學、中學、補習學校、宣傳學校は之を各地に設置せりと云ふ

―新刊批評―

▲村と町と（井上吉次郎著）　「右やひだり」以後の著者の人生旅日記が大著である、第一圖文化史眼、第二圖住めば都の二圖に分ち、第一圖はストリンドベリイではないが自己の子を信じ得ぬ父の惱みから論を起し、各國野蠻人の風俗習慣や面白い性生活、性知識、結婚制度、または彼等のみやびた春の歸、ボーボー或は處女性について興味深い紹介を試みまた「岡場生論」「貞操破産時代」「祇園會」等については著者の研究になる獨特の持論を吐いてゐる、第二圖では「都市―村落―氏族」の關係から筆を起し「都市の姿」「峽の都平取へ」等で特異な比の都市觀を述べ「斯く觀たアイヌ社會」では珍らしいアイヌ族の生活狀態を興味深く叙述し、「祖谷山新記」また未知の面白い世界を展開してゐる、全篇を通じて知ることの出來るものは素晴らしい著者の博學と文才とであり時に日本現代の世相を論じ或は古代世相を紹介批判して著者の蘊蓄を傾けてゐる（四六版三百十五頁定價一圓五十錢東京神田駿河臺刀江書院發行）

赤露に君臨する鐵腕書記長ス氏

◇右翼反幹部派潰ゆ◇

（下）

トムスキー氏に續きアーイ・ルイコフ氏登壇、反幹部的策動の誤謬を容認し、幹部謳歌の長演説をなした、

最近に於ける黨大會の諸決議及び今次大會出席各代議員の痛烈な攻撃に依つて判斷するに、我々の黨に對する誠意が疑はれてゐることが明瞭である、代議員諸君は余に對し、余の近時の同志と鬪爭することを求めてゐるが余は此の要求の眞意を解し兼ねる、同じ誤謬を犯し、而も現在この誤謬を容認して從前の主張を撤回してゐるものに如何して余がブハーリン、トムスキー兩氏と抗爭し得よう、余の立場が、社會主義の攻勢に對するブルジョア及びプチー・ブルジョア陣營の反撃に力を假したことを認める、獨り國内のみならず國外に在る

我々の敵 も、余及びブハーリン氏の聲明を利用し、共産黨及び勞農聯邦に對する敵對的攻撃の具に供した

茲で聽衆の中から「右翼反對派のクラーク階級的基礎を表明せよ」と叫んだものがあつたがルイコフ氏は此の問題に觸れるのを避けて更に語を繼ぎ

農業社會化は余等と黨幹部との間の爭論の當初既に着々進捗中であつたにも拘らず、此の農業社會化の可能性を低く評價してゐたのが實に余の根本的誤謬であつた、此の

一大誤謬 は決定的意義を有し、惹いて現在農法の役目を過大視する等の多數の誤謬の原因となつた、黨と我々との間に見解の相違があつたが此の點で黨は完全に正しかつたことが實證された、今や既に成功の第一歩が成就された以上最後の勝利は、今後斷乎として黨の政策を遂行することに依つて贏ち得られよう、此の點を充分諒得し得ない者に對しては飽く迄鬪爭を續けることを要する、今日、社會主義の進出を阻止しようとするならば、獨り共産黨及び勞働階級の徹底的反抗に遭ふのみならず、固い決意を以て農業共同化の道を歩みつゝある數百萬の農民の反抗を受けることを覺悟せねばならぬ、余は此機會に黨の最高幹部の政策に關し數言を費し度い、此の

最高幹部 は一定の政治的目的の實現を希求して居ると、一般に非難されたのであるが黨の政策に滿幅の支持を與へた以上、黨幹部に對する余の從前の聲明は一切撤回するものである黨は頗る困難な條件の下に決定的勝利を確保することを得た、見よクラークの反抗は鎭壓されて了つたではないか、現に我々の直面する難問題は農業の根本的政策の過渡期に伴ふ必然的な困難である、此の困難を超克するに當つては、テムポの問題が決定的重要性を有する、困難の解決策は黨の現在の政策以外に存しない、黨中央委員會及び黨の最大の功績は勞働大衆の働かんとする熱意を著しく增進した事に存する、黨が我々を社會主義の攻勢に對するプチー・ブルジョア分子の抗爭を支持した者と看做して居るのは正當である我々の見解はプチー・ブルジョアの抗爭に力を假した、

余の名は 反革命分子の敵手に惡用された、（「惡用されて何故默つて居るんだ」と叫ぶ者あり）余の個人的問題は余自身の誤謬を容認した去る十一月の聲明書に依つて解決されたものと信ずるが故に、茲には余一身上の辯明は避けよう、余は中央委員會に依つて代表される黨の一般政策に反抗したとの責任を解除されたと信ずるものではない、余の國内及び黨内に於ける重要地位は余の誤謬を益々重大なものとした、その結果反黨農者流は余の地位を黨及びソヴエート權力に對する抗爭に利用した、余は何事にもあれ黨が余の犯した重大過失に對して要求する償ひを果たす用意を有するものである

歐洲大戰同望（11）

兩軍の戰術的清算

K、O、生

（三）毒ガスとタンク（三）

毒ガスが甚だしく人の恐怖心を起さしむるに引かへ、寧ろ多少の滑稽味すら感ぜらるゝ裝甲軍は、その實戰鬪上より決定的な威力を有する新兵器である。それは陸上の鐵鬪艦であり、動く要塞であり小なる裝甲方陣である。さうしてそれが最後には塹壕戰の戰鬪を[illegible]決する使命を帶びて居たのであつた。

裝甲車は一九一四年の秋、殆ど同時に英佛兩國において創意せられた。佛軍はそれを突撃車と呼び英軍は秘密を保つための製作中の假稱をそのまゝ油槽と呼んだ。

英軍が始めて使用したのは一九一六年九月、ソンム會戰に於けるバポーム南方に對する小攻撃の際であつた。その時四十九臺を集合せしめ、三十二臺だけ出發點に到着し、九臺だけ相當距離まで前進する事が出來たに過ぎなかつたが、可なり敵軍を當惑狼狽せしめた。佛軍は一九一六年二月シュナイダア型四百臺の製作命令を發し九月工廠より搬出したが、翌一七年四月エーヌの會戰に始めて百二十臺を使用した。この時、猛烈なる準備砲撃の爲、前進地帶は[illegible]たる彈痕を印しタンクの運轉に妨害を與へた事と、タンクの機能尚不十分で故障が多かつた事の爲に約三分の二は損傷した。

斯くしてタンクも他の新兵器と同樣―幾多の經驗と改良とによつて漸次その威力を高めて行かねばならなかつた。一九一七年春アラスの戰ひにおけるビュルクール附近で十一臺中二臺が鐵條網を突破した「歩兵はタンクとは戰ふことが出來ぬ、從來殆ど不可能であつた鐵條網と機關銃によつて護らるゝ塹壕線の突破はタンクによれば可能である」と言ふ事實が茲に明示されたのである。鐵條網の威力と恐怖とがこれより完全に消滅すべくして、然も尚未だ能く且十分に理解さるゝに至らなかつた。

タンクは歩兵突撃の先驅となるべく、而して歩兵の完全なる協同作戰を待つて始めて效力を示すと言ふが如き餘りにも明白なる原則すら容易に理解されず一九一七年六月メッシネで、同七月フランダアースで英軍のタンク隊は共に歩兵の背後から進んだのであつた。

是の如くタンクの適當なる利用法は未だ理解されず、機械には故障多く、且速力遲くして砲兵の恰好なる標的となつた等の爲に、一九一六年一時タンクの出現に驚いて此れが研究に着手した獨軍も、一九一七年秋に入りては、各軍よりの報告悉く之を輕蔑し來れるにより、その研究を中止したほどであつたが、聯合軍側は其間に着々その用法と構造機能に改善を加へ、一九一七年十一月ノール運河とサンカンタン運河の間約八百碼の正面に於て最も嚴重なる塹壕線に對し何等の準備無くタンクによる急襲戰を行ひ一萬碼を突入し、嘗てイプルスで十二萬の砲兵により二十萬の損傷を出して尚達成し得なかつたものを四千のタンク兵が成功し、死傷五千を出せるのみ、八千の捕虜と砲百門を獲た。茲に至つて獨軍は一時中止せる其研究を再開せざるを得なかつた。

家庭

聾と唖その教育（上）

大連醫院耳鼻咽喉科醫長　醫學博士　塚本寛

吾々が音を 聽く時には先づ音波（一秒間十六乃至二萬八千回振動の）が外聽道を通つて鼓膜にあたり、鼓膜を振動させます。鼓膜の内側には中耳と云ふ小さな部屋が有つて、其處には小さな三つの骨が鎖の樣に列り、外の方は鼓膜、内の方は内耳に接續して居り、之によつて鼓膜の動きを一層強くして傳導する。内耳の中は淋巴液が充滿して居り、其中に複雜な裝置をして居る、そして聽神經の終末器官が順序より無數に列して浮んで居る。其故鼓膜が振動すると、中耳内の小さな骨の連鎖を介して

内耳の淋巴 液に波動を起し、同時に神經の終つて居る部分を刺戟する事になる。此刺戟の爲に聽神經が興奮を起し、それが大腦中樞に傳はつて音を感ずるに至るので有る。其故によく聞へる爲には外聽道から鼓膜、中耳、内耳、大腦といふ各要素が健全でなければならぬ。其中でも聽神經の終つて居る内耳は必要缺ぐべからざるもので、假令耳の孔が塞がつて居ても、又鼓膜に損傷が有つても、

内耳が健康 であるならば概して談話に支障を起さないが之に反して外聽道、鼓膜、中耳等が正常であつても、内耳及びそれより奧の腦髓に故障があれば其の程度に從つて聽力は或は全部或は大部分損失する樣になる。聾者の耳は後者に屬するもので、其病的變化は胎生時代或は生後幼少の時期に起るが故に、聽力が缺損して言葉を習ひ覺えることが出來なくなり遂に生涯聾唖の不幸を見るに至るのである。

聾唖者の數 は國々によつて大變違ひがあり、統計に表はれた所では、世界第一位を占めてゐるのはスヰツツルで人口一萬に對し廿五人の聾唖者が有る。スヱーデン、ノールウエー、ハンガリー等にては十一人の割、米國では七人弱、イギリス、フランスでは六人弱、スペイン、ベルギー、オランダでは五人内である。我國では可成り多く一萬人につき約十九人弱有りスヰツツルの次で有る併し我國の學齡兒童には案外少なく兒童一萬人に對して五、九八即ち六人弱となり、逐年聾唖者の數は漸減しつゝ有る樣に考へられる。

聾唖は其成 立から先天性と後天性の二つに分ける。先天性聾唖の成立には遺傳的關係が餘程濃厚に現はれて居るが、親の血族結婚、結核、黴毒、飲酒、精神病等も影響が有る。後天性聾唖は腦膜炎の如く腦側より起る場合と黴毒、腸チブス等の樣に毒が血液に這入つて内耳を破壞する場合と化膿性中耳炎より炎症が内耳に波及して之を侵す場合とがある。以上三つの中何れの途を經て内耳が破壞せらるゝにしても、内耳全部が隈なく破壞せらるゝ場合と一部が辛うじて障りなく殘さるゝ場合とが有る。

其故に聾者 を專門的に詳しく調べて見ると、全く何音をも聽き得ないもの即ち全聾と稱するものと、話は出來ぬが一部の音を聞き得る所の部分聾と名づけらるゝものとの二種類が有る。この部分聾で聞き得る音を殘聽と名付けるので有るが、聾全の大部分は之を持つて居る。この殘聽は聾唖教育上非常に有利に應用さるゝもので有るから、聾者では全聾で有るか、部分聾で有るかを專門的檢査によつて確定する必要が有る。

童謠　夾竹桃

春木和夫

氣盡の雨に
ふるへてる
夾竹桃は
淋しいな

ほろ〳〵と
散つてゆく
薄紅色の
花びらに

どこか遠くの
花蔭で
泣いてる人が
見えてくる

夾竹桃よ
雨の日は
お前の花は
淋しいな。

—五、七、四—

キャンプのシーズン　便利な用具のいろ〳〵

夏だ、夏だ、夏は人々を踊躍の生活から原始の赤裸に開放する、今こそ我等が自然の子に歸へるキャンプのシーズンである、さん〳〵と降り注ぐ灼熱の陽光の下、紺碧の水を湛へる白砂の瀨邊、溪流ほとばしる峽谷の林間、行くところ我等の家ならざるはない、滿洲も一般民衆のキャンプ熱は年を追ふて盛んになり、既に夏家河子の海岸などはキャンプ村が現出してゐるが此のキャンプのシーズンに入つて運動具屋の店頭にはキャンプ用具が山と積まれ素晴らしい賣行きを見せてゐる、次に便利なキャンプ用具を紹介しやう

◇アメリカ製コツフエル（組合せ携帶炊事具）

これは水筒より少しばかり大きい位のズック入りになつてゐて中を開くと折疊式のフライパン汁鍋、水のみ、などが入つて居りそれにスプーンや、フオークまで入つてゐる

◇キャンプコンロ

國産品でいゝものが出來てゐる燃料はアルコールを用ふるもので便利なものがあるがメタを使用すれば最も簡單である

◇メタ

これは燃料の得られない場合に使用するもので五十個入一箱になつてゐる、一個はチヨークの大さにも足りぬ小さなものであるが之が一個あれば優に一人分の湯を得ることが出來る、價は五十個入りで一圓二十錢

◇折疊式ランターン

四周が雲母張りになつてゐて小さく折り疊むことの出來る頗る輕便なものである寫眞は各種の便利なキャンプ用具（山本運動具店調べ）

テント生活【4】

撫順中學校教諭　早水巖

…共同自炊の方法… テント生活の難關と何といつても食事の世話である、多人數になればなる程困難が加はつて來る、食料品の買出しから調理分配後始末に至るまで並大抵の苦勞ではない、萬事が短期間の不備な施設で行ふのであるから最初慣れるまでは容易な仕事でなくテント生活即ち炊き出しといふ澤次から〳〵と追はれ通しである。

…食料品の買出… 最初は大連から買ひ出す計畫を立て二三度生徒が交代して運んだが無經驗の際とて手が廻り兼ね土地の商人に依頼して買出して貰ふことにした、野菜や魚類など支那人が賣りに來るものを購入することにしてゐる、今後は米を當地から持ち行き其の他も大連市場にて買ひ出し度い。

……毎日の献立…… 一菜主義で大體左の如きものである

◇朝　味噌汁
葱、胡瓜、わかめ、蜆又は小貝茄子、南瓜

◇晝晩　煮付
南瓜ジヤガイモ、南瓜茄子莢豆玉葱、莢豆馬鈴薯、玉葱馬鈴薯魚、牛肉牢葱の煮込

◇汁
ウドン、肉汁、蜆又はハマグリ汁、薩摩汁

◇加藥飯
牛蒡人參・かしわの味つけ、牛蒡人參罐其他

◇其他
茄子の丸煮、鑵詰外に間食として飴湯、クズ湯を給し、漬物は毎食添へる

僕の奥さん？……1……

次郎

トン吉が奉天へ行つて歸る時である、急行二等車の中で偶然一人の紳士と向ひ合つて座つた、紳士は手荷物を澤山持つてゐて其の一部はトン吉の座席の上にも置いてあつた。その男は身成り持物容貌凡てが紳士の條件に適つた紳士であつたが、たゞ一つ、トン吉と同じやうに婦人客と見ると妙に注意深く見る癖があつた。或る驛で若い美しい婦人が乘込んだ、紳士はしげ〳〵とその婦人を見てゐたがつか〳〵と其の方へ歩いて行つた。

趣味の令孃を訪ねて……五……

お跳ねさんからしとやかなお孃さんに　茶道の禪味に浸る　古川春枝さん

薩摩町八十九番地の古川春枝さんの宅を訪ねる。春枝さんは彌生高女の三年生に在學で、御留守中だつた。お母さんが出て來て代つて話される。

「春枝は五人兄弟の內長女でございますが小さい時からどうもお跳ねつ返りだつたものですからお茶でも習はしたらおとなしくなるだらうと思ひまして女學校一年の時からやらせました、最初は餘り本人も進まなかつた樣ですが此頃は大分自分でも面白さうですし、お蔭樣で人間がおちついて來た樣です」

春枝さんの茶道は修養的な動機である。

……◆……

お話最中に「只今」と玄關に聲がして授業を終つた春枝さんが歸つて來たが未だ十五歲の無邪氣なお孃さんだ。

「お茶はお好きですか」と聞くと「此頃は好きになりました、習つてゐますと氣がおちつきますし、一週間に一度學校で習ふんですけど物足りない位です」と仲々に熱心である。

……◆……

傍からお母さんが「私共は頭が古いものですからこんなものを習はしてゐますが其代りこの子はスポーツは一切駄目でございます」と御兩親は何處までもH本趣味らしい。

管を見ても列車區に勤めてゐられるお父さん鮫造氏の趣味がうひ棚に置いてある煙草盆と長煙かゞはれる。

……◆……

流儀は表千家で日曜每に春枝さんのお手前で一服の澁い味に閑寂の一日を樂しまれるのもお父さんの喜びらしい。

「次女は小學校の五年生でございますがこれはおとなしい方ですから今からさう心配しなくても良いと思つてゐます」とお母さんはお稽古のお茶が一番といふところ。

けふのラヂオ　初等科支那語　第六課

滿鐵學務課　秩父固太郎

（一）1他是誰　2他是甚麼人　3你是甚麼人　4我是學生
（二）1先生來了麼　2先生來了　3學生都來了麼　4學生都來了
（三）1有人麼　2沒有人　3都走了麼　4他們都走了

譯文

（一）1彼人は誰ですか　2あれは先生です　3貴方は誰ですか　4私は生徒です
（二）1先生は來ましたか　2先生は來ました　3生徒は皆來ましたか　4生徒は皆來ました
（三）1誰か居ますか　2誰も居ません　3皆往つて仕舞ひましたか　4彼人等は皆出掛けました

新刊教育兒童書紹介

◆教育（七月號）回想十年、須らく獨逸語を學べ、其の他（十錢　大連語學校）

探偵小説 **女妖**（141）

江戸川亂歩作　横溝正史
伊藤幾久造畫

黒い棘（六）

「あれ！」
由良子に手を握られた花子は、思はずから叫び聲を上げて逃げ出しさうになつた。
「ど、どうなすつたの？」
由良子は不思議さうに花子の顏を見る。
「でも――でも、あまり氣味が惡いんですもの」
「どうして？何も氣味の惡い事なんかありやしませんよ。あたしがついてりや大丈夫ですよ」
「でも……」
花子が躊躇をしてゐるところを由良子はぐいッと手を引ッ張つた。
花子は急に全身がガタ／＼と顫へ出した。由良子の樣子が何となく無氣味で、物凄かつた。いつものしとやかな樣子はどこかに飛んで了つて。氷のやうな表情がそこにあるばかりである。
「本當に……本當に浪子樣は此のお邸にゐらつしやるんですか」
「何を馬鹿々々言つてるんです。さア行きませう」
由良子は邪慳に花子の手をとると、丈なす雜草を掻分けて、ずん／＼と黒い建物の方へ歩いて行く。
それはもうすつかり荒廢しきつた建物の廢で、所々に大きな穴があつたりした。由良子は然し慣れてゐると見えて、戸惑ひもせずに步いて行く。花子にはそれが一層うす氣味惡かつた。
やがて、古びた所々土の落ちた建物の側迄やつて來た。由良子はなんの躊躇もなく玄關の扉をギイと押した。と、かび臭い匂ひがプンと鼻をつく。人が住んでゐさうな氣配は何處にも感じられなかつた。
――こんな所に果して浪子がゐるのだらうか。病人だといふのにこんな薄暗い、濕れつぽいところにゐていゝのだらうか――、由良子は然し何んの躊躇もなく、花子の手をとつたまゝ、ぐん／＼と暗い廊下を歩いて行つた。兩側に並んでゐる建物はどれもこれもピッタリと扉を閉して、所々蜘蛛の巣が張つてゐるのさへ見られた。廊下を歩く度に、白い細い埃さへ立昇るのだつた。
由良子はその廊下を何處迄も何處迄も曲りくねつて歩いて行く。花子はもう半失神したやうな氣持で、どうにでもなれといふ氣持だつた。
やがて、とある部屋の表までくると、由良子はピッタリと足を止めた。
「この――、この部屋の中にゐらつしやるのですか」
花子は慄え聲で訊ねる。
「えゝ、さう」
由良子は簡單にさう答へると、又もやポケットから鍵の鍵を取出した。然し、耳を澄まして聞いてみたところ、その部屋の中にも人の氣配は少しもしなかつた。
「さア、いらつしやい。いよ／＼やつて來ましたよ」
扉が開くと、由良子はさう言つて、花子の身體を押しやるやうに部屋の中へ突き入れた。それがあまりふいだつたので、思はず轉びさうになつたところを、やつと踏み耐へて、部屋の中を見廻した時花子は思はず、
「あつ！」
と恐怖の叫びをあげた。
誰もゐない、がらんとした部屋の一隅には、白い祭壇が拵へてあつた。そして其處には數十本の蠟燭が、靜かに音もなく燃えてゐる
「まア――、これはどうしたことですの、浪子さんは一體何處にゐるんです」
花子はもう殆ど絶望的な氣持でさう問ひかけた。その時、由良子は低い呻くやうな聲で、靜かに／＼笑つたのだつた。最早彼女は完全に常の由良子ではなかつた。ぞつとするやうな無氣味な妖氣が彼女の全身から立昇つてゐた。

必死の奮闘奏功 實業見事雪辱す
十三日の對法政第二回戰

7A―6

法政對實業第二回戰は十三日午後三時二十分より實業球場にて井上（球）上條（壘）兩氏審判法政先攻で開始實業ナイン雪辱の意氣背に見え必死に攻防の結果遂に七A對六の接戰で實業の復讐成る閉戰五時五十分

緊張せる試合

觀衆の興趣も散漫だつた第一回戰に比べ實に大向をうならせる試合が展開された、法政軍一昨年渡米した神港商業のバッテリー西垣倉を起用し實業木下をプレートに送り岩瀬一壘に安藤弟を二壘に入れ右翼には源川を配置すただし源川の右翼は彼の投球法がアンダースロー、オンリーなる點を考慮に入れその起用をあやぶまれて居たが率ひにしてプレーもなく事なきを得た

實業リードす

第二回の一點は安打に出でし渡邊二盗し、源川の三飛を久保三進の渡邊を刺さんとし野選にした結果で渡邊三哭ライン以外を走つたとて決軍より抗議があつたが遂にこれが因して最初の一點をものにし實業氣をよくす、第三回津田高目の球をたゝいて右翼線寄り三壘打とした後援續かず三壘立ち往生となる、續く第四回源川安打に出で二盗をくわだて遊これを刺さんとして二壘に走らんとした時中島の單打遊左を拔いて遂に一點を得、この回中島の二盗をたすけるべく安藤第一球猛烈に高い球を空振捕手ためにまごつき二壘に悪投危機と見えたが二者凡退す、かくして實前半幸運に惠まれながらリードす、第六回實渡邊一死後ストレートをたゝいて二壘打し木下野選に生き（此時若林立つ）源川渡邊の スクイズ成り一點を得續いて中島の中前單打に木下本壘を衝いて還るこの際中堅より二壘、捕手へとボールをリレーさしたがさほど深いところで捕つた球ぢやなかつたのだから思ひ切つて中堅が本壘に投げた方があの得點を許さなかつたと思ふ

下劣な彌次飛ぶ

第七回久保三個トンネルに出で遊前單打に出でた藤井と一二壘により無死の好機をつかんだ其上ボーク問題で暫くごたごたしたが結局宣告通りボークとなるこの時スタンドより飛ぶ彌次の下劣さには些かあきれた、熱狂することも甚だ結構なことだが相手方を彌次つたり審判官を彌次つたりすることはファンとして一番排斥すべきものである

宮武の三壘打 大勢遂に決す

同裏實一死後津田二壘打を放ち續く宮武インコーナーのボール眞中に流れ込んだのをたゝいて三壘打として一點を得、すでに大勢決せりと思はせた

法政急追空し

然るに第九回法の追撃急をつけ風雲の動きを見せた左前單打に出でし藤井、久保の遊僻で二進したがスライディングせなかつたために生くべき壘を死せしめたが矢野のさほど難球でなかつた捕邪飛を渡邊ポロリと落せしをきつかけに遂に矢野の安打で久保還りPH田坂の二壘打で矢野、若林と還つて一點をリードした結果より論ずるとき矢野の安打で久保一擧生還にかへらず彼がホーム前でベンチに向つて入つて好いのかと質問した如く（ファンがこれを聞いて彌次を飛ばしたが）三壘に居つた方が或は一層實業をして苦戰に陷いれたと思はれる同裏實もまた奮起し二死後連續安打三木を見舞ひ續く木下の三囘を坂根失して遂に破れたこのH木下の好投に對時して津田渡邊、中島、宮武の當りは正に榮ある復讐戰へと導きしものである

回數	一	二	三	四	五	六	七	八	九	計
(法)得點	0	0	0	0	1	0	2	0	3	6
(實)得點	0	1	0	1	0	2	1	0	2A	7A

試合經過

▲第一回　法政武田、刈田共に遊飛、島一飛△實業中川三飛、津田投飛、宮武三振

▲第二回　法政藤井投飛、久保三振、矢野中飛△實業（法政島退き長澤左翼に入る）渡邊二越單打に出で二盗、木下三振、源川の三飛、野手渡邊にタッチを誤り渡邊三進し源川一壘に生く、中島遊擊左をゴロに拔き渡邊還り源川二進、安藤弟投飛、岩瀬投飛に止んだが實業一點を先取

▲第三回　法政西垣左飛、倉四球に出たが大瀧の遊直で併殺△實業中川右飛、津田右翼線に三壘打したが宮武遊飛、渡邊投飛して空し

▲第四回　法政武田四球に出で刈田のバントに二進し投手の暴投に三進したが投手牽制球に死し長澤中飛△實業木下三個後源川遊越單打に出で二盗、中島も遊越單打して源川三進す、中島二盗の時捕手二壘に高投し源川生還、中島は三壘に進む中島三壘を出すぎて捕手の好投に三壘に刺され安藤弟一邪飛に死んだが實業更に一點

▲第五回　法政藤井投飛單打久保投飛失で藤井二進、矢野投前バントし走者二三進、西垣三遊間を緩くゴロで拔き藤井還り久保三進す、倉捕邪飛後西垣二盗したが大瀧も捕邪飛法政一點を返す△實業岩瀬投直、中川三飛、津田三振

▲第六回　法政武田三振、刈田四球に出たが二盗に死し長澤三飛△實業宮武中飛、渡邊左中間二壘打、木下の遊強襲野手三壘に投じたが一瞬の差でセーフ（法政西垣、倉退き若林投手、田坂捕手となる）源川、渡邊のスクイズ見事に成り源川の死ぬ間に渡還生還、木下二進、中島二壘右に單打して木下生還、安藤弟の中飛に止んだが實業また二點

▲第七回　法政藤井遊擊右をゴロで拔き久保の三個トンネルに二進し更に投手ボークで走者二三進、矢野投僻で藤井本壘に死に久保三進す矢野二盗、若林左中間に痛烈な二壘打して久保、矢野生還、田坂、大瀧共に左飛、法政二點を返して差一點△實業岩瀬投飛、中川二個後津田右中間二壘打し（代走安藤弟）宮武亦中堅右に三壘打して安藤弟生還渡邊二個

▲第八回　法政（實業岩瀬投手木下一壘に更代）武田二邪飛、刈田一個、長澤三振△實業木下三振、源川、中島共に遊僻

▲第九回　法政藤井左前單打したが久保の遊僻で封殺岩瀬の牽制球を一壘手逸して久保三進、矢野の一個、野手後逸して久保生還（PH坂根矢野に代る）若林中前單打して坂根二進PH成田（田坂に代る）右翼左に絕好の二壘打して坂根、若林生還、大瀧の遊僻で成田三進武田の捕前僻に漸く止んだが法政一點を勝越す△實業（法政矢野、田坂、久保退き成田捕手鈴木投手若林一壘坂根三壘となる）安藤弟四球を利し（PR武井安藤に代る）武井二盗、岩瀬二個トンネルに生きる間に武井生還（法政若林投手鈴木一壘に更代）中川の投手バント岩瀬を封殺、中川二盗に倒れ二死となつたが津田一二間單打、宮武三遊間個單打、渡邊三個内野單打と安打續出して滿壘となり滿場騷然、木下二―〇後の三個野手失して實業遂に決勝の一點を揚げ法政恨を呑む

（實業）

	打數	得點	安打	犠打	盗壘	三振	四球	刺殺	補殺	過失
7中川	5	0	0	0	0	0	0	3	0	0
5津田	5	2	3	0	0	0	1	2	1	0
6宮武	5	0	2	0	0	1	0	2	5	0
2渡邊	5	2	3	0	1	0	0	6	2	0
13木下	4	1	0	0	0	2	0	2	6	1
9源川	2	1	1	1	0	0	0	0	0	1
8中島	4	0	3	0	1	0	0	2	0	0
4安藤弟	0	3	0	0	0	0	0	1	1	0
PR武居	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0
31岩瀬	4	0	0	0	0	0	0	9	0	0
計	37	7	12	1	4	4	1	27	14	1

（法政）

	打數	得點	安打	犠打	盗壘	三振	四球	刺殺	補殺	過失
8武田	4	0	0	0	0	1	1	2	0	0
6刈田	2	0	0	0	1	0	0	1	3	0
7島	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0
7長澤	3	0	0	0	0	1	0	0	0	0
9藤井	4	1	3	0	0	0	0	0	0	0
5久保	4	2	0	0	0	1	0	1	4	0
5坂根	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
3矢野	3	1	0	1	1	0	0	15	0	0
PR坂根	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
13鈴木	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
1西垣	2	0	1	0	1	0	0	0	0	0
131若林	2	1	2	0	0	0	0	0	0	0
2倉	1	0	0	0	0	0	1	2	1	0
2田坂	1	0	1	0	0	0	0	1	0	0
2成田	1	0	1	0	0	0	0	1	0	0
4大瀧	4	0	0	0	0	0	0	2	1	1
計	32	6	7	2	2	3	3	26	11	2

△三壘打津田、宮武（一）△二壘打若林、成田、渡邊、津田（一）△併殺實一―宮武、岩瀬△暴投木下一△ボーク木下一△殘壘法（四）實（八）△時間二時間三十分

全滿クレー射撃大會豫選（きのふ春日國畔で）

間島の支那警官 愈よ增員を實行
主權擁護の目的で

【間島特電十四日發】過般間島地方を視察して歸吉した吉林省政府章民政廳長ら一行のうち某要人が日本警察に對抗すべく延邊一帶における支那警察の增員を行ひ實力を以て主權擁護に努めることの必要を語つたことは既報したがその實行方法として

一、龍井、局子街、頭道溝、琿春百草溝五ケ所の商埠公安局長に行政、外交に相當手腕ある人材を選んで据えること

二、日本警察分署所在地（商埠地を除き十三個所に優秀な巡官、巡警及び日鮮語通譯員を以てする「外事警察員」を配置し主として涉外事項に膺らしめること

に決定しこれが實現に向つて進行中の模樣で、そのうち延吉縣にては愈々之が實行に着手し、管下日本警察分署所在地に配置すべき外事警察員（一等巡官五名、一等巡警十名、日鮮語通譯員五名計二十名）の採用試驗を十五日局子街で施行の上採用人員を入道溝、天寶山、二道溝、依蘭溝、銅佛寺の五ケ所に各巡官一名、巡警一名、通譯員一名づゝ配置することになつた

岩手醫專の盟休
無試驗開業資格の問題で 文部省の態度に不滿

【盛岡十三日發電通】無試驗開業資格を得べく學校當局に要求すると共に文部省に陳情してゐた岩手醫專では學校當局の煮え切らぬ態度に憤慨し遂に同盟休校に入つたが盟休本部を市内に設け極力學校側の切り崩しに備へ五百名の全生徒は氣勢を擧げてゐるが學校側は十四日より三日間臨時休校を發表し學科試驗は追つて發表する迄延期された

英兩大學軍 米チームに敗る

【スタンフオードフリッヂ（イギリス）十二日發電通】ケンブリッヂ、オックスフオード兩大學の聯合チームはアメリカのコーネル、プリンストン兩大學の聯合チームとの對抗陸上競技にて七對五でアメリカチームに敗れた

（デ杯戰記事）

れた後第三セットで日本はストレートで敗れるかと見えたが、必死の奮闘によりジュースを繰返し第三セットを奪つたときは息詰まる接戰に滿場咳一つする者もなく、五千の觀衆は一度に萬雷の拍手を送つた、これに力を得た日本は第四セットを奪つたが第五セット簡單にイタリーの勝となり遂に日本はダブルに敗退した、もし日本が第二セットで四對一とリードした時一氣に敵を倒し得たら日本が勝つたかも知れぬと言はれてゐるが、いづれにしてもダブルに敗れて十三日シングルに原田がステファアに勝としても太田がモルプルゴを破るは困難とされ、結局日本の歐洲ゾーンの覇權を握る可能性は尠くなつた

佛蘭西風の 朝香宮新御殿
芝白金の御料地跡に 今秋九月御着工遊ばさる

【東京十四日發電通】朝香宮鳩彦王殿下には現在芝高輪南町の御殿に居らせらるゝが、右は宮中の御所有に係るので先年畏き邊より新殿工費として五十萬圓御下賜あらせられたので今回芝白金御料地跡千七百餘坪に新殿を御造營申し上ぐる事になつた新殿は建坪五百餘坪皇族御殿が多く古典的なイギリス風を採られてゐるに對し極めて明るいフランス風のモダーンな樣式を採られ九月着工七年春完成の筈

不漁で振はぬ 大連魚市場
內地の出漁船制限も影響 六月中に十五萬圓

大連魚市場の六月中に於ける取引高は數量三十三萬七千九百八貫でこの金額十五萬四千六百四十二圓であるが前年同期に比較すると著るしく減少し終始不振狀態であつた、入荷激減の原因は近年稀に見る不漁と內地より臨時出漁船に對する許可制限に伴ふ從業船の減少による結果でなほ本年出操業の發動機底曳網漁船は總數六十九隻、この延航海數百六十六回にして前年同月に比し隻數に於て三十一隻延航海數に於て八十二回の減少を示し每一航海の水揚高も相當多額の減少を來してゐる、その他の延繩、打瀨漁業等にありても成績不良で何れも著るしき減少を示してゐる、需給關係は供給激減と一般消費能力減退と相殺の態で著るしき入荷の減少も何等需要に支障を來さず僅に需給の均衡を保つても に過ぎず魚價は品種により高低區々の商狀を呈せるも總括せる平均價格は一貫匁に付き金四十五錢八厘にして前年同月に比し僅に金二錢六厘の昂騰を示した、六月中の產地別取引率は左の通りである

產地別	數量	金額
日本人	二四六、三〇一貫	一〇三、六五四圓
支那人	七〇、四一五	三四、八二七
內地物	一、〇二〇	一、六六二
朝鮮物	三、五九四	七、一二八
支那物	九、三四〇	五、七九四
製造物	二六九	二二五
合計	三三七、九〇八	一五四、六四一

小學校で お盆
學友を追悼

朝日小學校のお盆追悼會は十四日午後十一時より講堂において擧行された齋壇には十二名の物故した學友の寫眞や作品を祀り眞心をこめた數々の手向ものを供へて、まづ櫻井校長のお盆に關するお話しがあつた後昨年物故した新佛である學友の親かつたお友達がありし友の思出を語つて正午散會した

新潟市の火事

【新潟十四日發電通】今曉午前零時二十分頃新潟市西堀町新潟市第一流の西洋料理店イタリア軒調理室より發火し四百坪に餘る本館を全燒し隣接の新館をも燒失し二時鎭火した

北一輝に判決
四年執行猶豫

【東京十四日發電通】宮內省怪文書事件に連座した北一輝等四名に係る控訴公判は東京控訴院赤羽裁判長係り十四日午前十一時左の判決言渡しがあつた

懲役四月（四年執行猶豫）

死者百名に上り 全鮮の水害甚大
十數日來尚ほ降續く

【京城十四日發電通】十數日に亘る降雨尚歇まず全鮮的に被害續出の有樣であるが、十四日午前十時迄に判明せる被害は左の如くである

死者百三名、負傷者九十三名、行方不明三十四名、家屋流失六百十戶、同倒潰四千三百七十八戶、同浸水二萬八千四百六十九戶、救助人員二萬七千百六十五名、田畑流失四千四百四十三町步、同埋沒八千四百九十四町步、同浸水八萬四千九百七十町步、道路缺潰破損七萬六千百七十七間、橋梁流失破損二千三百二十間、堤防缺潰破損四萬六千二百四十三間

景品の總額壹萬圓
＝當籤總數五千本＝ 發表は九月五日本紙上で

讀者優待 大福引券進呈

抽籤 八月三十日午前十時より本社樓上會議室に於て

景品引替 九月十日より末日までとす

滿洲日報社

本紙創刊廿五周年 社屋新築落成記念

炎暑に喘ぐ人―道路で假睡

醉拂ひ藝妓
朋輩から袋叩

十四日午前四時半ごろ沙河口署へ髮ふり亂した女が細帶一本持つて飛び込み當直の係員を驚かしたがこの女は沙河口元町九六料理店萬游亭抱へ藝妓梅千代こと紅露ウメ（二五）にて十三日夜出花し醉つて歸宅後就寢中の朋輩をごくつぶしと片つ端から蹴飛ばした後朋輩七人より散々袋叩きにされて保護を願出たものであるが、間もなく同署より突然姿を晦ましたので一時は大騷ぎを演じたが同十一時ごろ發見された

蓬萊無盡の寄贈

大連春日町蓬萊無盡會社事務竹中照藏氏は十四日午前十一時大連市役所に出頭し過般民政署で調査した貧困兒童に對し學藝用品代として無盡會社よりの金三百圓寄贈かたを申出た

妻に罵られて 支那人の自殺

十一日午後十時三十分大連灣會家屯五〇號宋正存（三一）は自宅裏林の松の木に兵古帶をかけ縊死を遂げた、原因は妻の吳氏（二五）に對し常に性的不滿を感じ家庭不和であつたが、自殺當日さゝいのことで夫婦喧嘩を初め勝氣な妻に口汚く罵倒されたのに世をはかなみ自殺を遂げたものである

日活現代劇臺本より この母を見よ（六二）

崎面座同人構成

映畫キャスト

原作　エリイザ、オルゼシュコ「寡婦マルタ」より
脚色　八木保太郎
監督　田坂具隆
撮影　伊佐山三郎
父　桑木元　南部章三
母　倭子　瀧花久子
子　中子　松平千鶴子
街の女　靜子　英百合子
花氏夫人　入江たか子
おみつ　佐久間妙子
臼田夫人　津島ルイ子
娘翔子　小西節子
婦人用品店主　常盤操子
よね　島村靜子
湯村等　大原仁美
大村書店主　村田宏壽

木賃宿の一室——中子は熱に苦みながら、母を呼びつゞけてゐる。

母ちやん……中ちやんは苦しいのよ母ちやん

母ちやん……では……

その聲、倭子は狂氣のやうに髪を振り亂したまゝ夜の街を走つてゐた。

薬だ！薬だ！私は中子の薬を求めなければならない

悲嘆と混亂と焦燥の中に倭子は、ふと、あの繁昌な店を持つてゐる主人を想ひ起して、そこに一縷の望みをつないだのだつた。

大村書店主——さうだ、私が行つて今の悲慘な境遇に一臂の同情を求める所は、もうそこより外にありはしない。

行こう！行つて見やう、そして中子の藥代を縋らなければならないのだ。

大村書店の前——倭子はさすがにすぐ店に這入ることが躊躇された。店内から絶えず聞える嬉し氣な笑ひ聲に、幾度か倭子の勇氣はくじかれてゐた。

書店の前をうろうろする倭子の姿を逸早くも目にした書店の主人は店員に何事かを囁くと、急いで奥に姿を消してしまつた。

思ひ切つた倭子は、髪の亂れを直すと、書店の扉をあけて、つかつかと這入つて行つた。

恐れ入りますが御主人に少しお願ひがあつてあがつた者でございます

恥かしさにこだわつていられない倭子ではあつたが、それでも語尾は消え入るやうに縺く力なかつた。

主人は只今旅行中でございます

店員の倭子への返事は冷たかつた。

駄目だ——倭子の絶望は、次第に倭子を落付かせて來た。さうした倭子の目前に立つてゐる店員の態度は、なぜか狼狽の色に包まれていつた。

謀られてゐる。さう思つた倭子は、鋭い憤りの眼が知らず〳〵店員の顔へするどく光つた。

お歸りになりましたら亡き桑木教授の妻が宜しくとお傳へ願ひます

あゝ——當店の基礎をつくつたあの有名な書籍の著者——桑木先生の未亡人か——店員は一齊に出て行く倭子の後姿に目を瞠つた。

もういよ〳〵の時が來た——倭子は、肩をすべつて落ちかゝるショールをとつて、左手に堅く卷き付けながら、灯の街の雜沓をあてもなくふら〳〵と歩いた。

飢えと疲勞と寒さは、すべての望みをなくした倭子の全身に迫つてきた。

それに、中子の泣き叫ぶ聲、罵詈に浮かされてゐる聲、同宿の人々の呟き——それらにさいなまれてもう一足も運べない倭子だつた。

何もかもが薄暗く、すべてが遠い〳〵國の音のやうに聞えたり聞える倭子の前に、先夜、亡夫の形見を賣つた貴金屬商の店が幻のやうにあらはれて來た。

私の大事な結婚指輪を買つた店——内には寶石が光り輝き誇り顔に——大硝子に顔をくつつけるやうにして立つてゐた倭子は、泥によごれたやせ犬の餓えたやうに、ふら〳〵とその店の入口をふさいで佇……れた。

困るじやありませんか私の店じやパンは賣つてませんよ起きて早くあちらへ行つて下さい

貴金屬店の數名の店員は、倒れた倭子を邪慳に起して、早くも倭子をとりかこむ彌次馬の中に突き入れた。

誰かの腕のあたりに突きあつた倭子はハツと氣がついて叫んだ。

（寫眞は瀧花久子）

徳富蘇峰氏の近業『時代と女性』

川崎紫山

蘇峰學人が修史の余暇を以て、政治に、生活に、人物に、思想に、藝術に關する幾多の述作を讀めば著者の興趣が如何に廣汎的であり如何に多角的であるかが窺はるゝ。但だ著者の女性に關する述作は「時代と女性」を以て最初のとする。

婦人解放論として男女平等主義、男女差別主義の撤廢「昭和時代帝國の女性に關する考察」「現今我邦婦人の地位」「婦人の職業」と「婦人の自覺心」「大正婦人解決の兩面」と「婦人參政權問題」「婦人禁賣の説」と「日本婦人の貢獻に就て」「政治家と女性」と「グラッドストーン夫人」等一句一字、色々描畫、筆尖の觸るゝ處、滿紙春を生ぜざるなく、直聞に鏡花水月の文（定價一圓五十錢送料八錢東京市京橋區銀座西八丁目民友社發行）

國産品愛護大宣傳

化粧品界に著名なレートキデー化粧料本舗では目下全國レートデーを催して國産品愛護の大宣傳をなしてゐる、同店製造のクレーム、白粉、水白粉、化粧水、ポマード、香油頬紅、練歯磨等は外國品を凌駕する優秀なる品で其賣行きは逐年非常な高率を示してゐると

二百萬の同胞が蝿に殺さる

學者の調査では、蝿の爲に人間の不壽命が、二年間短縮されこれを延人員にすれば、二百卅萬人の本邦人が蝿の爲に殺されてゐる。この命取りの惡魔である蝿を退治するには蝿研究の大家今津佛國理學博士が心血をソヽいで發明した、專賣特許イマヅ蝿取粉が一番手輕で有効で、宮内省始め諸官省でも專ら使用されてゐるから、之で我等の仇敵、蝿を是非全滅せられたい。蝿だけではない南京虫、油虫、蚤、虱其他どんな虫にも不思議によく効く。到る處の商店にありますが、品切の節は大阪京町堀通二、今津化學研究所へ申込。